

平成 25 年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業

# 相談支援に係る業務実態調査 報告書

平成 26 年 3 月





## はじめに

障害者自立支援法は、平成 18 年 4 月に施行された。当法律は、地域生活と就労を進めるために、三障害の統合という共通の制度の下で一元的にサービスを提供するものであった。相談支援についても、市町村に一元化するとともに、サービス利用計画の作成が、初めて個別給付として制度化された。障害者自立支援法については、附則の法施行後 3 年の見直しが規定されていた。社会保障審議会障害者部会により、平成 20 年 12 月「障害者自立支援法 3 年後の見直し報告書」が提出され、審議会等の検討を踏まえ、平成 22 年 12 月、「障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえて 障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律」として成立した。改正法は平成 24 年 4 月から施行され、相談支援に関しては、支援体制の強化として基幹相談支援センターや地域自立支援協議会が法定化された。また、支給決定プロセスの見直し（サービス等利用計画案を勘案すること）やサービス等利用計画作成の対象者の大幅な拡大が図られた。

平成 24 年 6 月、「地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律」が成立し、平成 25 年 4 月から障害者自立支援法は障害者総合支援法となった。その検討過程においては、本人を中心とした支援計画などにも言及された。相談支援と大きく関係する障害程度区分が障害支援区分と名称を変え、支援の度合いを測るものとされ、新たな仕組みが動き出そうとしている。

このように相談支援が大きく変化するなか、日本相談支援専門員協会は、

- ・平成 22 年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業において「相談支援ガイドライン」
- ・平成 23 年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業において「サービス等利用計画作成サポートブック」
- ・平成 24 年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業において「サービス等利用計画の評価マニュアル」

等を作成してきた。これらは、新たな相談支援の実施に直接的に必要とされるものであった。今回の「相談支援に係る業務実態調査」は、これら相談支援の基盤となっている相談支援専門員の仕事の内容、相談支援事業所の運営そのものに関わる研究調査事業であり、今後の相談支援の在り方を検討していく上で不可欠なものであると考えている。特に、利用者本位のサービス提供としての相談支援と効果的な相談支援を結合していくことは喫緊の課題であると考えからである。

この業務実態調査の結果が、相談支援専門員の仕事や相談支援事業所の運営に活かされて、多くの相談支援事業所において、質の高い効率的な相談支援が提供されることを願うものである。

日本相談支援専門員協会代表

玉 木 幸 則





## 目 次

|                         |     |
|-------------------------|-----|
| I. 相談支援に係る業務実態調査について    | 1   |
| II. 調査概要                | 9   |
| III. アンケート調査結果          | 13  |
| 1. 事業所、機関、団体実態調査結果      | 15  |
| 2. 相談支援専門員 個人業務実施状況調査結果 | 39  |
| 3. 個別事例【計画相談】に関する調査結果   | 59  |
| 4. 個別事例【地域移行支援】に関する調査結果 | 90  |
| 5. 個別事例【地域定着支援】に関する調査結果 | 121 |
| 6. アンケート調査結果まとめ         | 149 |
| IV. ヒアリング調査結果           | 179 |
| 1. 個別調査結果               | 181 |
| 2. ヒアリング調査結果まとめ         | 212 |
| V. まとめと考察               | 215 |
| 1. 人材の養成や資質向上に関する考察     | 217 |
| 2. 計画相談に関する考察           | 219 |
| 3. 地域移行支援に関する考察         | 224 |
| 4. 地域定着支援に関する考察         | 229 |
| 5. 相談支援の課題と展望～まとめ～      | 232 |
| 6. 今後の相談支援に関する具体的提言     | 235 |
| VI. 資料                  | 239 |
| 1. 自由記述欄 記載内容一覧         | 241 |
| 2. 調査票                  | 262 |



## I . 相談支援に係る業務実態調査について



## 1. 制度改革と相談支援

### (1) 制度改革における相談支援の変遷

障害者自立支援法は、障害者の地域生活と就労を進め、自立を支援する観点から、これまで障害種別ごとに異なる障害者及び障害児がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障害者及び障害児の福祉の増進を図るとともに、障害の有無にかかわらず国民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的として、平成 17 年 10 月に成立し 18 年 4 月に施行された。障害者自立支援法は、ノーマライゼーションの理念に基づき、障害のある人が普通に暮らせる地域づくりを目指したもので、新たなサービス体系とともに相談支援に力点が置かれた。

相談支援については、三障害を統合して市町村に一元化されるとともに、サービス利用計画を個別給付化したことによりケアマネジメントが制度化され、本人のニーズに即したサービス提供の仕組みが始まった。しかし、サービス利用計画作成費の利用状況は、全国で年間 2000 人にとどまっていた。

障害者自立支援法については、附則の法施行後 3 年の見直しの規定されていた。平成 20 年 12 月には、「障害者自立支援法 3 年後の見直し報告書」が提出され、政府は審議会等の検討を踏まえ、平成 21 年 3 月 31 日に、「障害者自立支援法等の一部を改正する法律案」を国会に提出した。平成 22 年 12 月、同法案は、「障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえて 障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律」として成立した。相談支援体制の強化として基幹相談支援センターや地域自立支援協議会が法定化され、支給決定プロセスの見直し（サービス等利用計画案を勘案すること）やサービス等利用計画作成の対象者の大幅な拡大が図られた。また、同時に地域相談支援（地域移行支援及び地域定着支援）が制度化された。

### (2) 相談支援と対象の拡大

従来のサービス利用計画の対象者は以下のように制限されていたが、改正法においては、計画相談支援・障害児相談支援について、原則、サービスを利用するすべての障害者 64.8 万人にその対象が拡大された。平成 24 年度以降三年の間に、障害福祉サービスを利用しているすべての障害者にサービス等利用計画を作成することが義務付けられた。

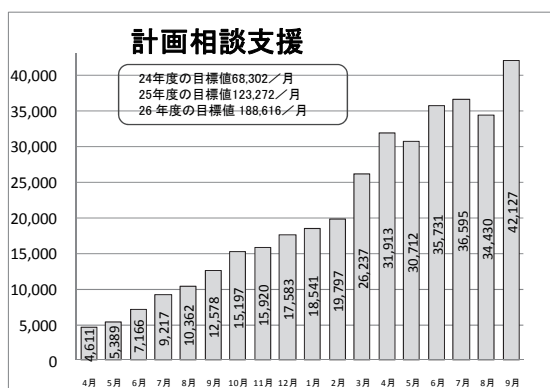
従来のサービス利用計画の対象者

- |                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>①障害者施設からの退所に伴い、一定期間、集中的に支援を行うことが必要である者。</li><li>②単身世帯の者等、自ら指定障害者福祉サービス事業等との連絡調整を行うことが困難にある者。</li><li>③重度障害者等包括支援に係る支給決定を受けることができる者。</li></ul> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

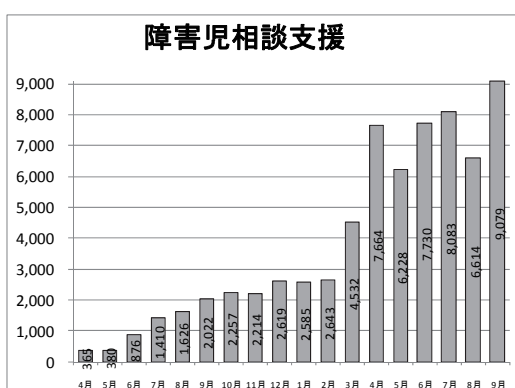
拡大の具体的なスケジュールとしては、平成24年度から段階的に拡大し、平成26年度までに全ての対象者について実施するとされている。拡大された対象者に適切なサービス等利用計画を作成するためには、都道府県及び市町村行政と相談支援事業者等が連携して計画的に相談支援専門員の確保等それぞれの役割を果たしていくことが重要である。また、以下のように、サービス等利用計画が適切に作られるための体制づくりが求められている。

### 計画作成件数の見込みと実際の推移

- 平成27年度から利用者全員について計画が適切に作られるための体制づくりが必要。
  - 障害福祉サービス利用者 68.1万人、障害児支援利用者 13.3万人(H25.9月)
  - 障害福祉計画(H24～H26)では、支給決定の更新及びモニタリングも合わせて平成27年度から全例に対応するためには、平成26年度は平均して毎月18.9万件に対応できるような体制になっている必要があると見込んでいる。
- 一方、平成25年9月を見ても月4.2万件にとどまっており、平成27年度から全例に対応できるような体制を作るためにはさらに取組を進める必要がある。



※新規作成のほか、支給決定の更新時及びモニタリングを合わせた件数



厚生労働省資料より

相談支援事業者は、相談支援専門員が利用者のニーズに応じた適切なサービス等利用計画を効率的に作成することができるような事業所の運営管理が求められている。そのためには事業所全体の業務の見直しが必要である。また、計画を受け取る市町村行政においては、提出されたサービス等利用計画が適切なものであるか判断するなど、事業所の適切な運営管理の観点を指導していくことが重要である。このような地域の相談支援の実態と課題を相談支援事業者や地域の関係者が共有していく仕組みが構築されることが大切である。こうした仕組みは、地域全体の相談支援の量的及び質的拡大を図っていくためには不可欠なものである。

### (3) 相談支援事業における地域移行・定着支援

障害者自立支援法(平成18年)は、障害者の地域生活への移行を積極的に推し進めるものである。都道府県や市町村が作成する障害福祉計画においては、地域生活移行や就労支援等の課題に対応したサービス基盤の整備を基本理念として、障害者の自立支援の観点から、地域生活移行や就労支援といった新たな課題に対応したサービス提供基盤を整えとともに、障害者の生活を地域全体で支えるシステムを

実現するため、身近な地域におけるサービス拠点づくり、NPO等によるインフォーマルサービスの提供など、地域の社会資源を最大限に活用し、基盤整備を進めることとされている。

このような観点から、障害者自立支援法の相談支援に関しては、市町村に基本相談と計画相談2つの支援を規定するとともに、都道府県に地域移行支援と地域定着支援を法律に規定した。

#### ①地域移行支援

障害者支援施設、施設に入所している障害者又は精神科病院に入院している精神障害者につき、住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談を行う。（法第5条第19項）

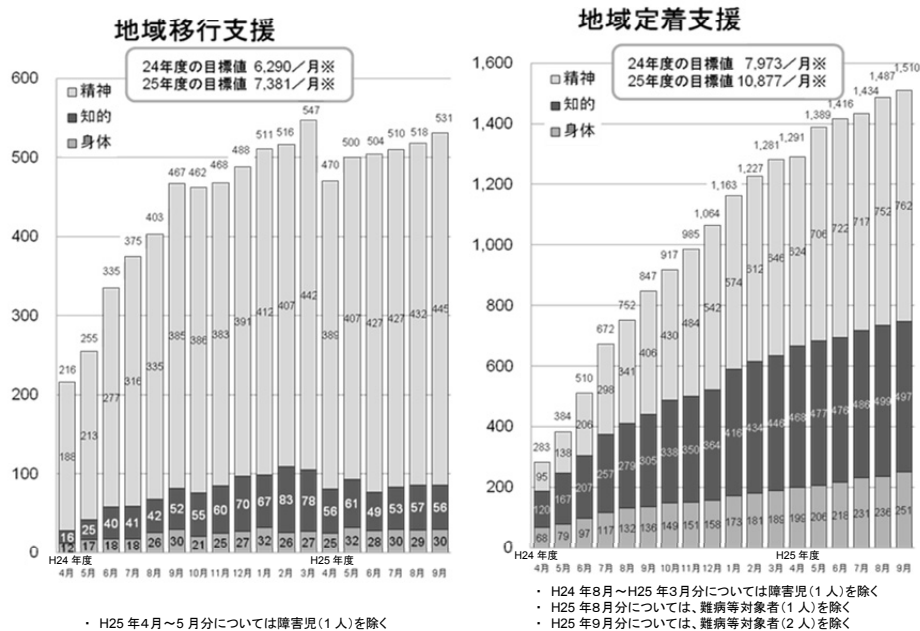
#### ②地域定着支援

居宅において単身その他の厚生労働省令で定める状況において生活する障害者につき、当該障害者との常時の連絡体制を確保し、当該障害者に対し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態その他の厚生労働省令で定める場合における相談等を行う。（法第5条第20項）

障害者総合支援法においても、病院や施設からの地域移行は大きなテーマとなっており、その実現のために地域移行支援や地域定着支援の一層の促進が期待されている。

### 相談支援の利用状況（平成24年4月～）

国保連集計



厚生労働省資料より

しかし、上図のように地域移行支援や地域定着支援はその目標値とは大きな乖離があるとともに、その支援形態についても標準化されたものにはなっておらず、それぞれの事業所や障害者相談支援専門員の努力や工夫に粹を出ていないのが実情である。

## 2. 相談支援に係る業務実態調査の必要性

障害福祉サービスを利用しているすべての障害者にサービス等利用計画を作成するにあたっては、その量的拡大のみならず、質的な向上が喫緊の課題となっている。そのためには計画を作成する相談支援専門員の人数が確保され、作成される計画の質的な担保とともに相談支援専門員の業務の標準化が必要であり、その業務が遂行できるような相談支援事業所の運営管理が重要となる。

業務実態調査の目的については、利用者に提供するサービスの質の向上、業務の効率化、コスト削減、法制度の改正などの観点から行うことが重要である。業務の効率化に関しては、業務の標準化とセットであり、相談支援に関しては相談受付→ニーズのアセスメント→支援計画の作成→支援の実施→モニタリング→集結・評価の一連の流れの手順の改善などが想定される。

また、相談支援の業務実態調査に関するポイントは、

- ①ケースそのものの異なりによる相違（障害特性、初めてのケース、すでに熟知したケース、ニーズの複雑性などさまざまなものが想定される）
- ②専門員の熟練度による相違（ベテランだから効率的にできることと、ベテランだから時間をかけるという両面がある）
- ③地域の相違（人口密度、利用者の支援の範囲、利用する交通手段など）の状況の異なりは異なりとして考慮しながら、標準的な相談支援のモデルを作成していくことが求められている。このような作業を通して、ケアマネジメントの専門性の確保とそれに応じたキャリアアップの道程が示されるであろう。

現在、相談支援専門員の業務が標準化の途上にあり、標準的な業務として確立し、相談支援事業所としての相談支援専門員の業務をバックアップし、適切な運営管理を行っていくためにも、相談支援に係る業務実態調査は不可欠なものである。また業務実態調査は、計画の提出を受けた市町村が支援計画をチェックすることにより、一定の水準に達しないものについては、提出した相談支援事業者・相談支援専門員にフィードバックし、相談支援事業者と市町村が協働して、より質の高いサービス等利用計画の作成の契機となるであろう。

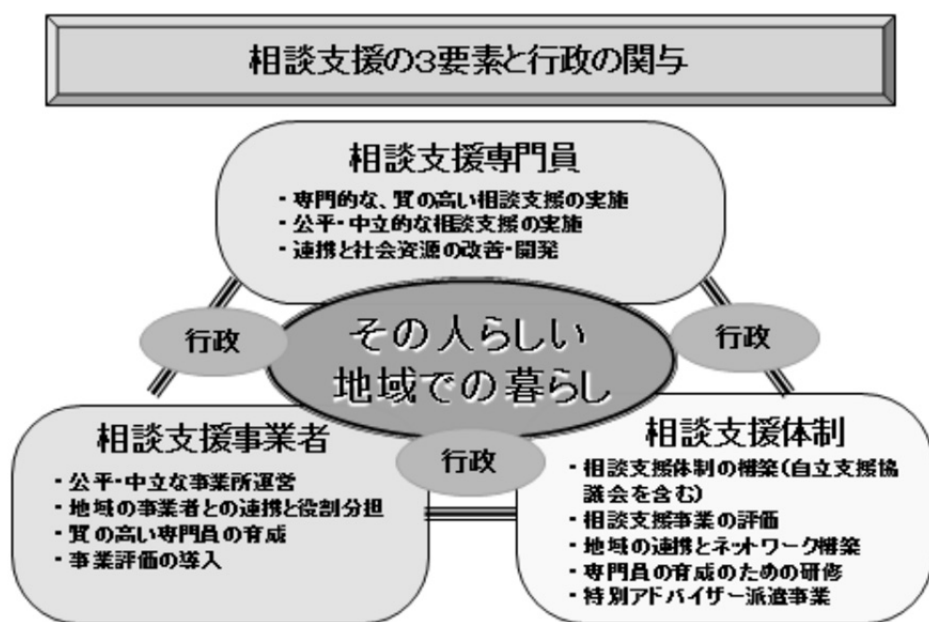
## 3. 相談支援を構成する3要素から業務実態を考える

相談支援は、相談支援専門員の活動だけで完結するものではなく、実際にはそれを支える相談支援事業者、地域の相談支援体制（地域自立支援協議会を含む）及び都道府県・市町村行政が大きく関係していることについては、平成22年度の厚生労働省障害者総合福祉推進事業の「相談支援ガイドライン」において明らかにした。

相談支援は、①相談支援専門員、②相談支援事業者、③相談支援体制、の3つの構成要素から成立しており、それぞれに行政が関与する必要がある。



図表 相談支援の３要素と行政の関与



### （１）相談支援専門員の観点から

障害者自立支援法においては、相談支援について、サービス等利用計画の作成の他に、「地域の障害者等の福祉に関する各般の問題につき、障害者等、障害児の保護者又は障害者等の介護を行う者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行い、併せてこれらの者と市町村及び（省略）指定障害福祉サービス事業者等との連絡調整その他の厚生労働省令で定める便宜を総合的に供与すること。」（法第 5 条第 17 項第 1 号）と内容が定義されている。業務実態調査をすることは、相談支援専門員の業務内容の吟味を含めてその在り方の再考を迫るのであり、それによって相談支援専門員の提供するサービスの質の向上及び専門性の向上を果たすことができるだろう。

### （２）相談支援事業者の立場から

サービス等利用計画等の作成の業務実態の調査は、サービス等利用計画書の評価のみならず、相談支援というサービス全体に関係するものである。このため、サービス等利用計画の業務実態の調査を通じて、相談支援というサービス全体の質の向上の契機とすることができる。その結果を踏まえ、より良い相談支援というサービスの提供に向けた取り組みを行い、その上で相談支援事業所の運営管理の観点から、再度事業を実施し、さらに新たな改善を行うといった継続的な取り組みを通していくことができる。また、相談支援事業者は、業務分析を通して、質の高い相談支援を可能とする相談支援専門員の人事管理およびその人材育成を行っていくことが求められている。

### （３）行政の立場から

サービス等利用計画作成等の業務を分析することは、今後の相談支援専門員の育成や委託等の考え方や相談支援事業者の育成につながるものである。実施主体である市町村の責任であり、サービス等利用

計画の作成そのものにも報酬が支払われていることから、一定の質のサービス等利用計画を確保することは行政の使命である。また、エビデンス（根拠）に基づいた相談支援事業所への公金の支出は、市民に対する説明責任を果たすであろう。

#### （４）地域全体の立場から

サービス等利用計画の業務の結果を蓄積することは、将来的には地域の相談支援体制の構築のために重要な事項である。それらの結果を、相談支援事業者や相談支援専門員にフィードバックし、自立支援協議会において検討し、事業者内外で研修や人材育成の取り組みに活用することが考えられる。また、業務の分析等の結果は、相談支援事業者、サービス提供事業者、市町村行政の連携・ネットワークの促進のために活用でき、それは地域全体の相談支援の質の向上につながるだろう。

## Ⅱ． 調査概要



## 1. 調査目的

制度導入から1年が経過した中、計画相談支援及び地域相談支援について支援の実態を調査・分析し明らかにすることにより相談支援事業所の組織、人員体制、連携方法など今後の運営方法に資する情報を提供すると共に、今後の事業展開を検討し効果的な人材養成や計画相談及び地域相談の質の向上の取り組みを提示し、相談支援の業務の標準化を図り、相談支援体制の構築に資することを目的とする。

## 2. 調査対象（発送数・回収数）

日本全国の相談支援事業所

### ●調査票発送数：相談支援事業所：421 件

うち、一般相談支援事業移行と定着も指定を受けており、少数でも地域相談事業の実施経験がある団体は95件

### ●調査票回収数：235 件（回収率：235/421＝55.8％）

うち、一般相談支援事業移行と定着も指定を受けており、少数でも地域相談事業の実施経験がある団体は60件（回収率：60/95＝63.2％）

回収数内訳：調査票①（事業所、機関、団体対象調査票）235 件

調査票②（相談支援専門員 個人業務実施状況調査票）112 件

調査票③（個別事例 【計画相談】に関する調査票）108 件

調査票④（個別事例 【地域移行支援】に関する調査票）52 件

調査票⑤（個別事例 【地域定着支援】に関する調査票）39 件

■障害種別回答数(複数回答)

|             | 全体  | 身体障害 | 重症心身障害 | 知的障害 | 精神障害 | 発達障害 | 難病等 | 無回答 |
|-------------|-----|------|--------|------|------|------|-----|-----|
| ③計画相談個別事例   | 108 | 19   | 2      | 25   | 59   | 7    | 1   | 5   |
|             | 100 | 17.6 | 1.9    | 23.1 | 54.6 | 6.5  | 0.9 | 4.6 |
| ④地域移行支援個別事例 | 52  | 9    | 0      | 8    | 41   | 1    | 1   | 0   |
|             | 100 | 17.3 | 0.0    | 15.4 | 78.8 | 1.9  | 1.9 | 0.0 |
| ⑤地域定着支援個別事例 | 39  | 2    | 0      | 17   | 22   | 0    | 0   | 1   |
|             | 100 | 5.1  | 0.0    | 43.6 | 56.4 | 0.0  | 0.0 | 2.6 |

## 3. 調査方法

都道府県の相談支援専門員を中心とする職能団体に対し、相談支援事業所を13件（うち3件は一般相談支援事業移行と定着も指定を受けており、少数でも地域相談事業の実施経験がある団体）の抽出を依頼。抽出された対象に対して郵送により調査票を送付し、郵送（料金受取人払）により回収した。

### ※サンプリング方法について

上述のとおり、調査対象は人口や事業所の分布に比例抽出したものではないため、回答事業所は市区町村の人口規模の分布を反映してはいない。

#### 4. 調査時期

平成 25 年 11 月 15 日～11 月 30 日（回収期限）

#### 5. 外れ値について

一部の回答においては、平均値ないし中央値から著しく乖離したものがあつた。平均値ないし中央値から著しく乖離した回答については、追跡調査により正しい数値かどうかの確認を行った。

追跡調査にて確認が取れなかった外れ値については、集計対象から除外した。一方、回答者の確認がとれ、正しい回答と判明したものについてはそのまま集計対象とした。

### Ⅲ. アンケート調査結果

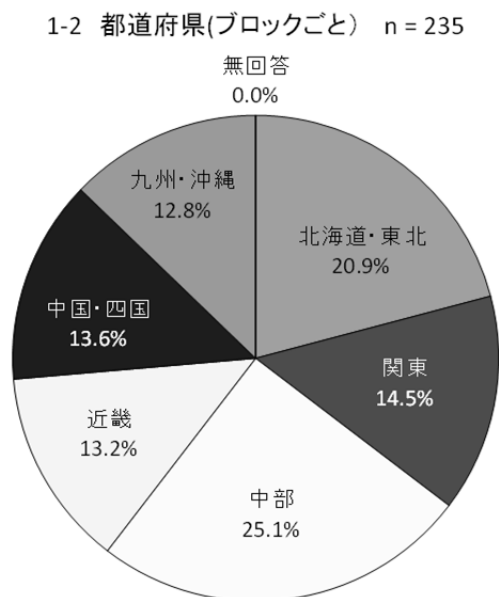




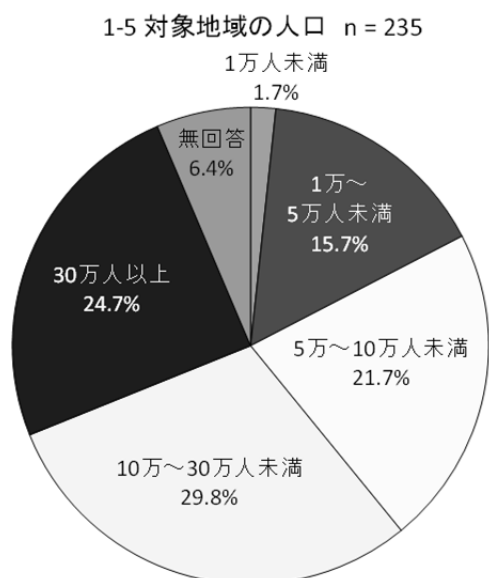
## 1. 事業所、期間、団体実態調査結果

### 【事業所の属性】

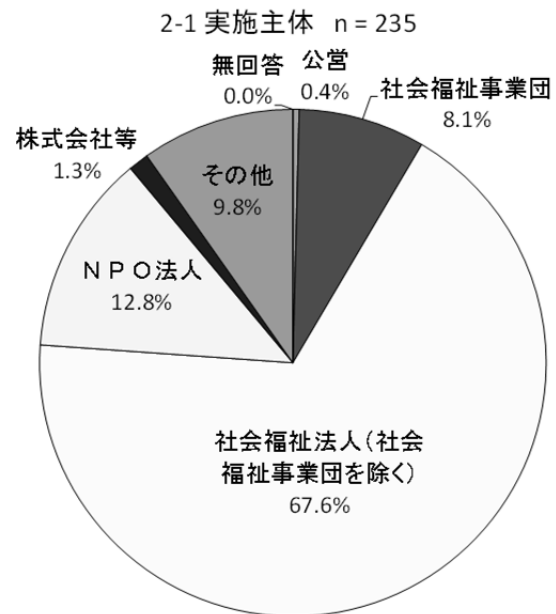
#### (1) 事業所の所在地



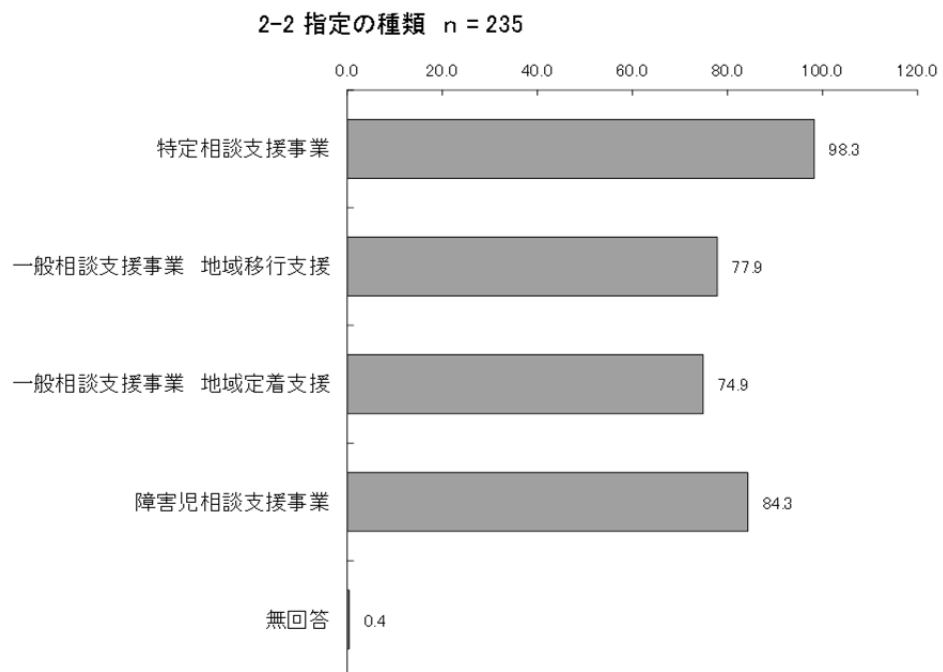
#### (2) 対象地域の人口



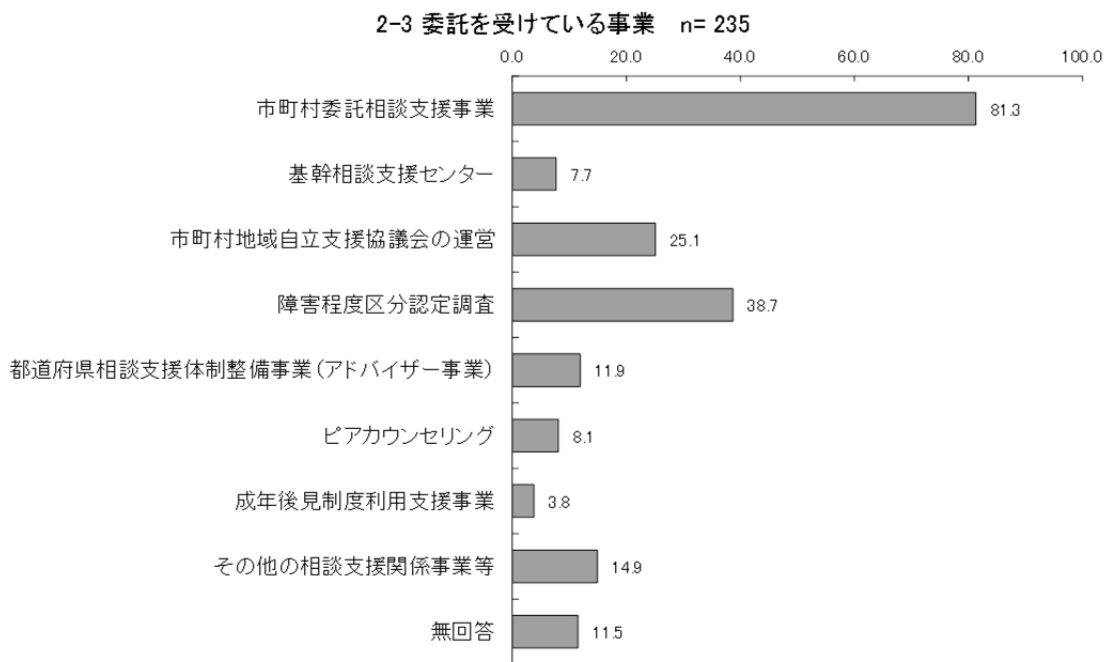
### (3) 実施主体



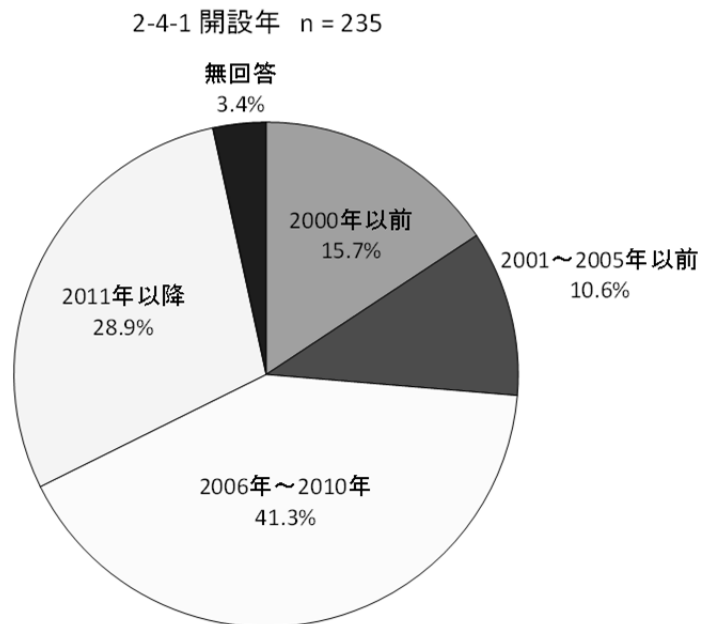
### (4) 指定の種類



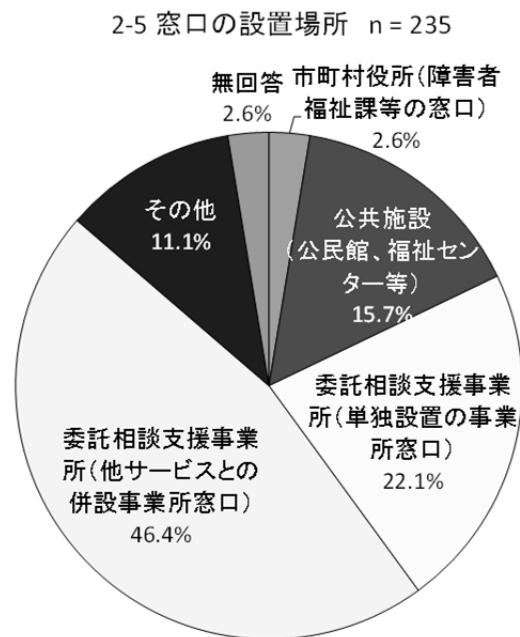
## (5) 委託を受けている事業



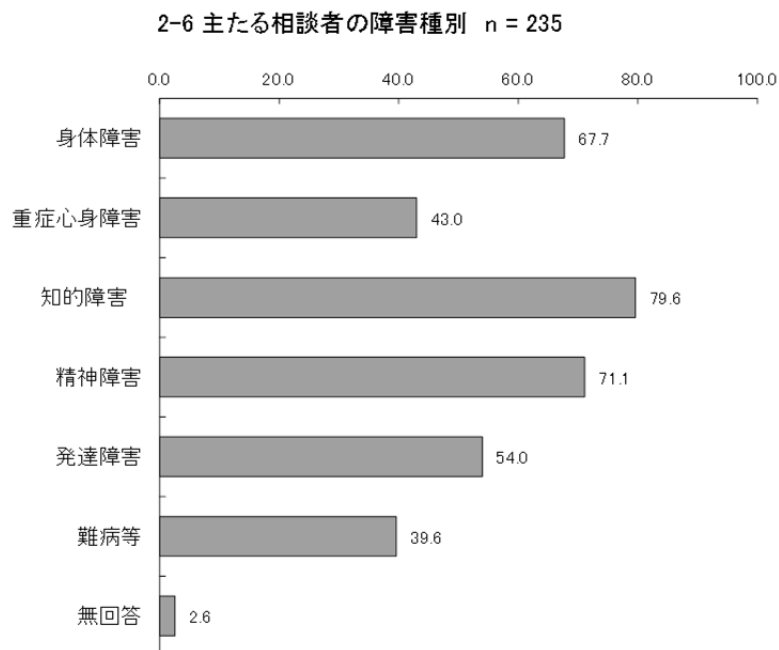
## (6) 開設年



(7) 窓口の設置場所

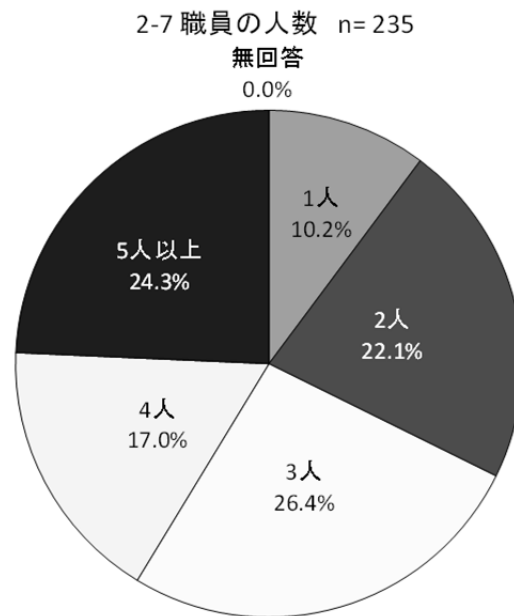


(8) 主たる相談者の障害種別

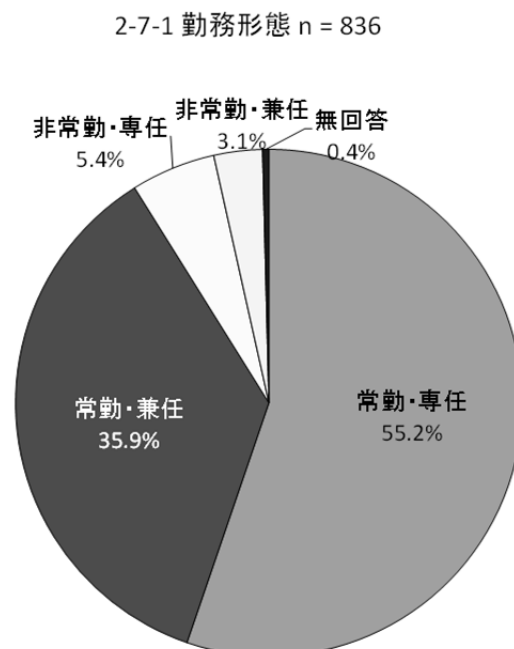


(9) 相談支援事業に従事する職員について

①職員の人数

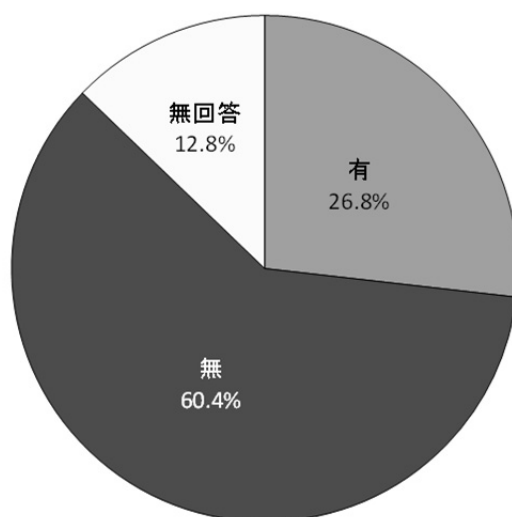


②勤務形態



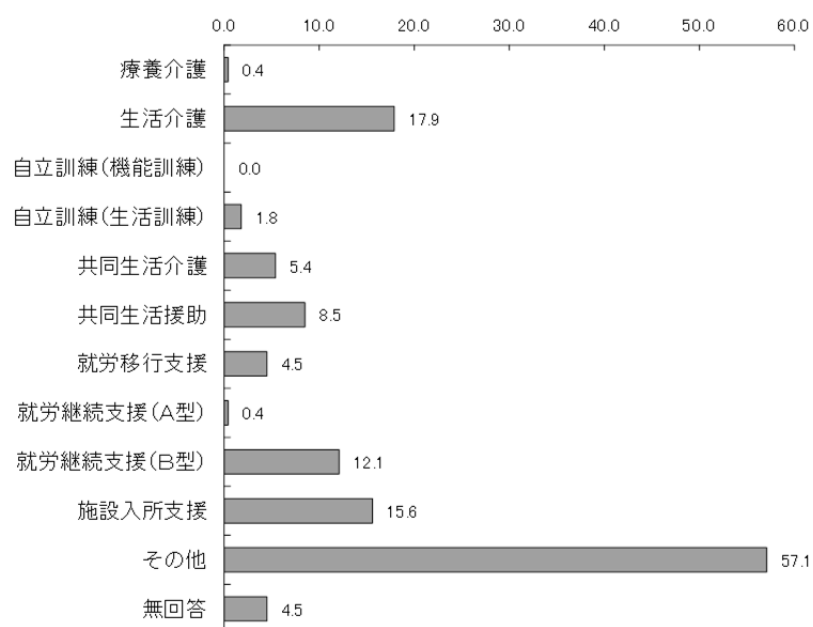
### ③兼務先の有無

2-7-2 兼務先の有無 n = 836



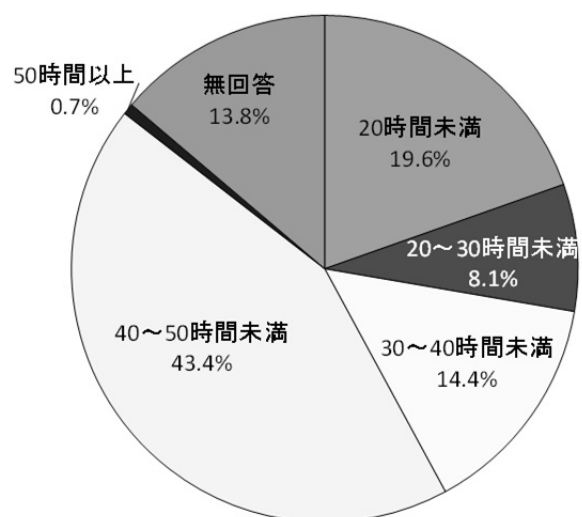
### ④兼務先

2-7-3 兼務先 n = 224



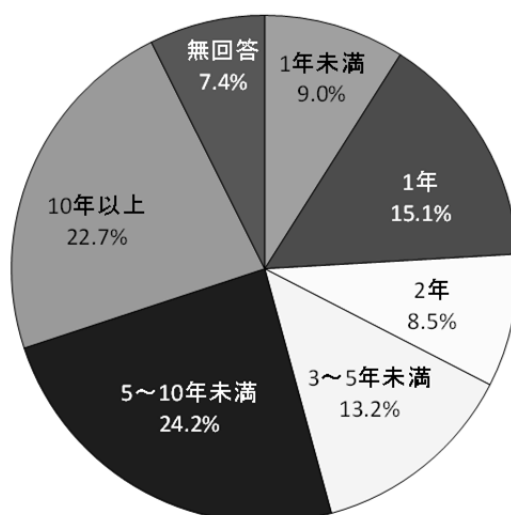
## ⑤1 週間の所定労働時間

2-7-4 1週間の所定労働時間 n = 836



## ⑥障害分野の相談員としての経験年数

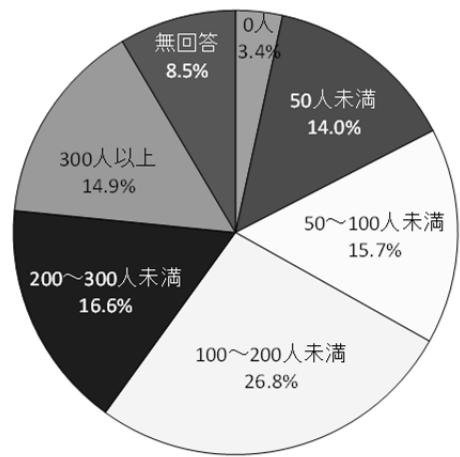
2-7-5 障害分野の相談員としての経験年数 n = 836



【平成 24 年 4 月～25 年 3 月の 1 年間の相談の状況】

( 1 0 ) 相談実人数

3-1-1 平成24年4月～25年3月の1年間の相談実人数  
n= 235

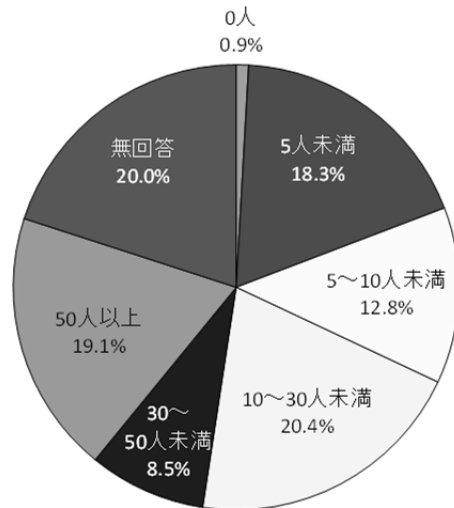




( 1 1 ) 障害種別 相談実人数の内訳

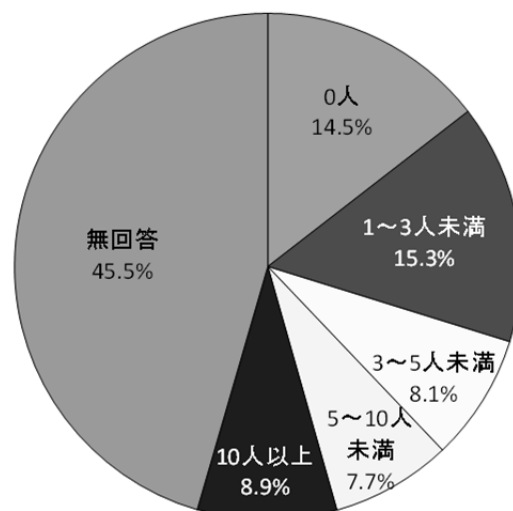
①身体障害者

3-1-2 身体障害(障害者相談実人数) n= 235



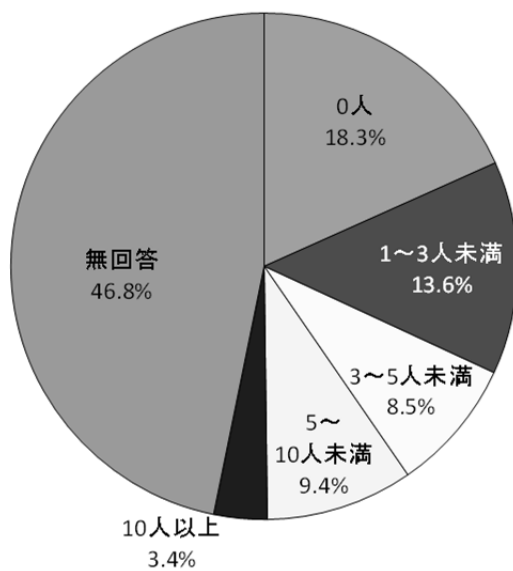
②身体障害児

3-1-9 身体障害(障害児相談実人数) n = 235



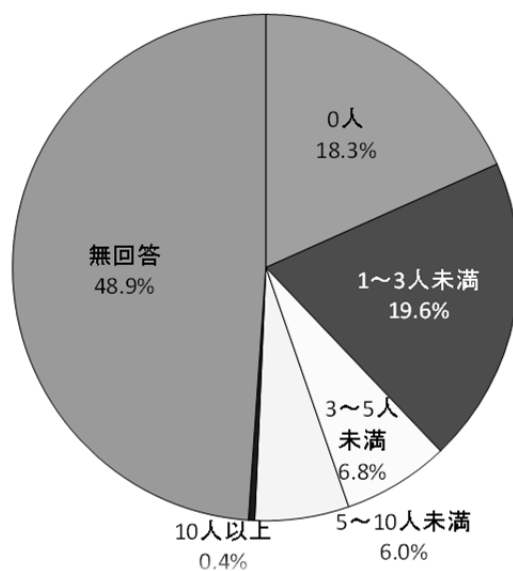
### ③重症心身障害者

3-1-3 重症心身障害(障害者相談実人数) n= 235



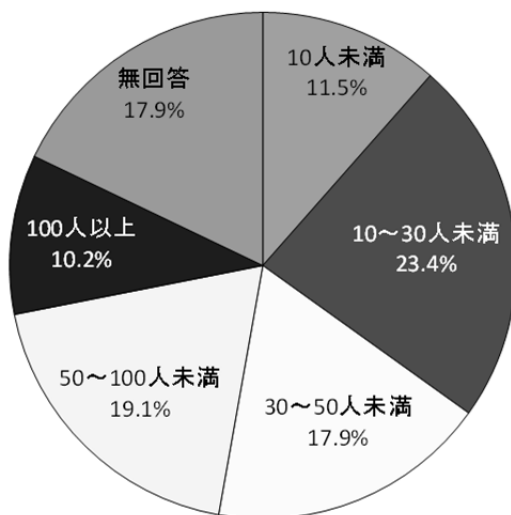
### ④重症心身障害児

3-1-10 重症心身障害(障害児相談実人数) n = 235



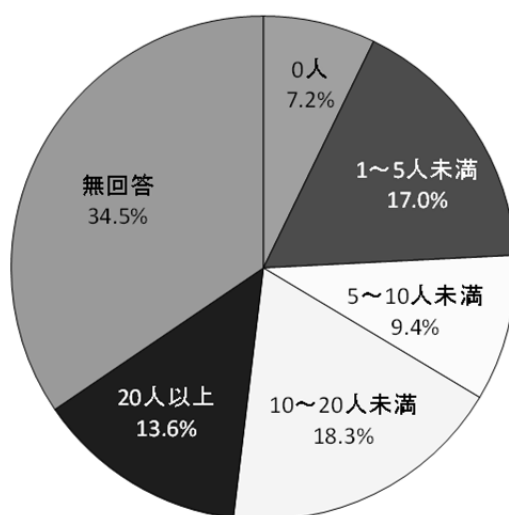
## ⑤ 知的障害者

3-1-4 知的障害(障害者相談実人数) n = 235



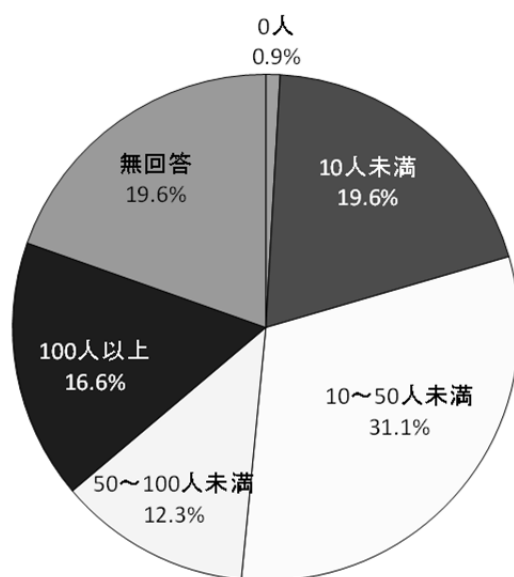
## ⑥ 知的障害児

3-1-11 知的障害(障害児相談実人数)  
n = 235



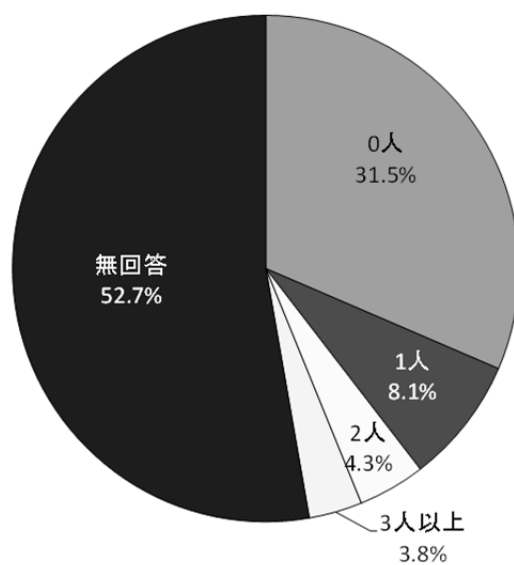
⑦精神障害者

3-1-5 精神障害(障害者相談実人数) n = 235



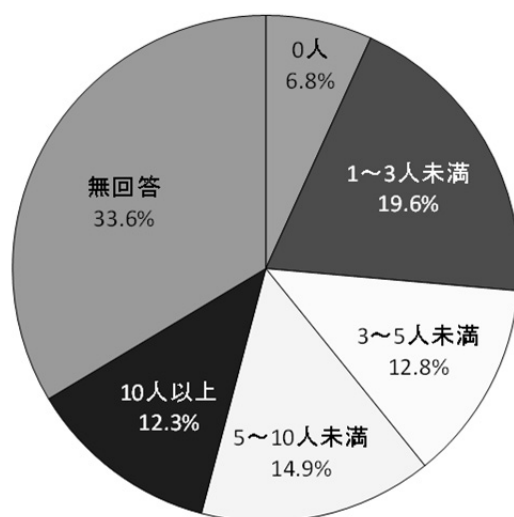
⑧精神障害児

3-1-12 精神障害(障害児相談実人数) n = 235



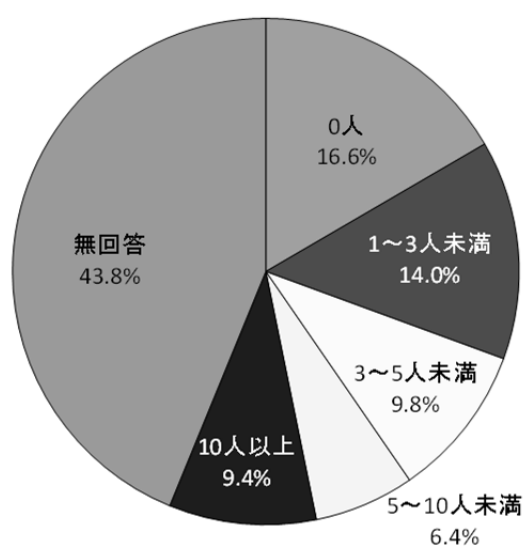
⑨発達障害者

3-1-6 発達障害(障害者相談実人数) n = 235



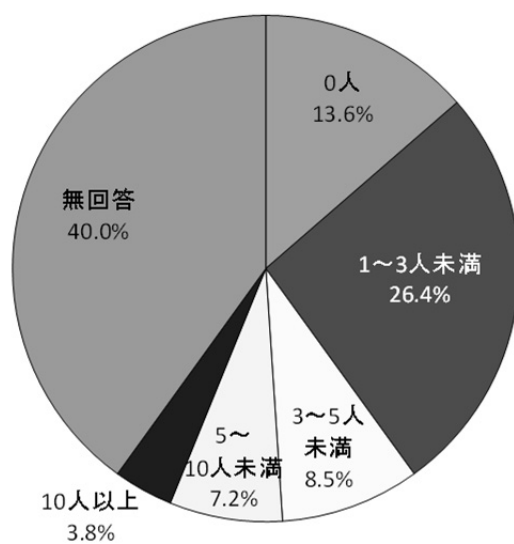
⑩発達障害児

3-1-13 発達障害(障害児相談実人数) n = 235



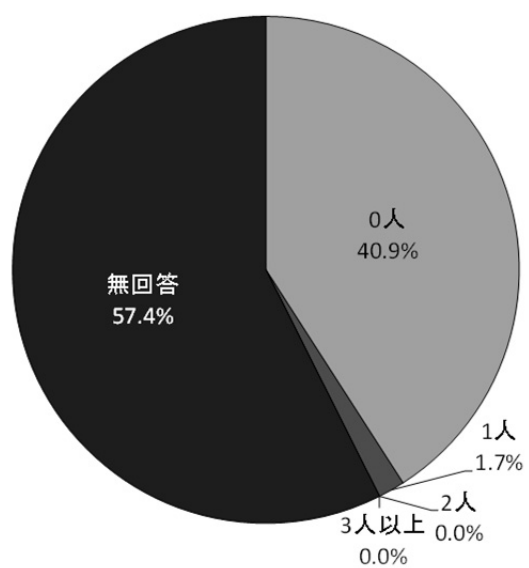
# ⑪高次脳機能障害者

3-1-7 高次脳機能障害(障害者相談実人数) n = 235



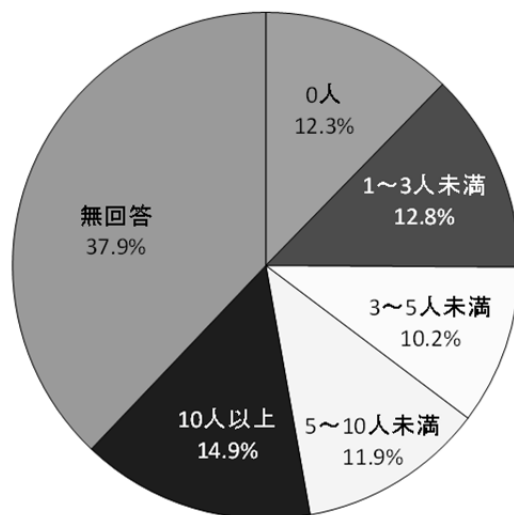
# ⑫高次脳機能障害児

3-1-14 高次脳機能障害(障害児相談実人数) n= 235



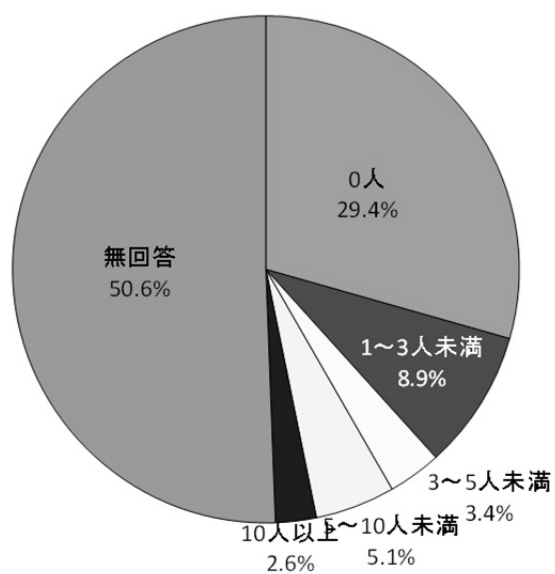
⑬その他の障害者

3-1-8 その他(障害者相談実人数) n = 235



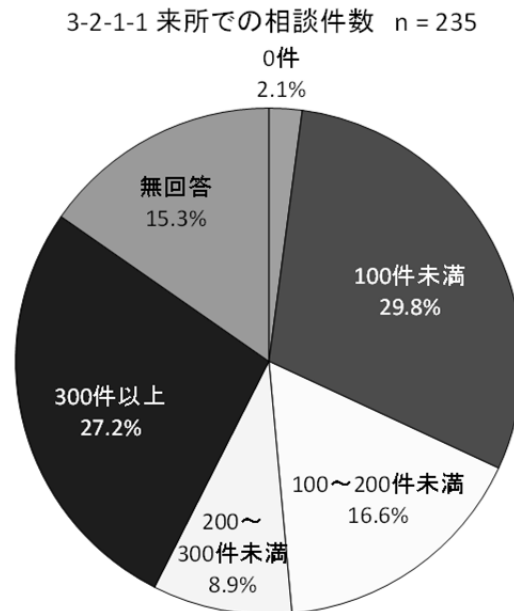
⑭その他の障害児

3-1-15 その他(障害児相談実人数) n = 235

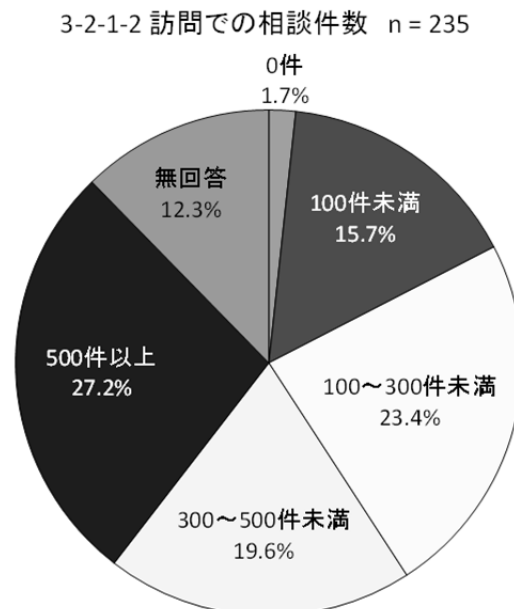


## ( 1 2 ) 相談件数の内訳

### ①来所での相談件数



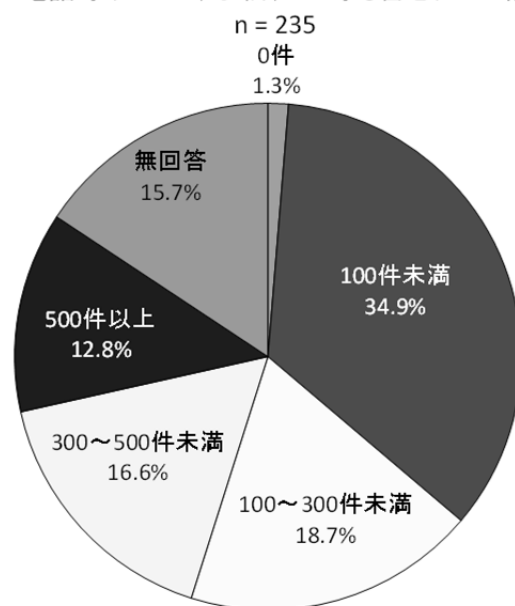
### ②訪問での相談件数





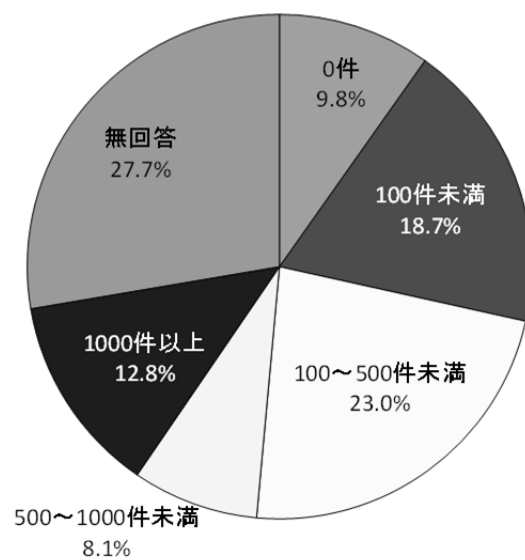
③電話等(メール、手紙、FAX 等も含む)での相談件数

3-2-1-3 電話等(メール、手紙、FAX等も含む)での相談件数



④その他での相談件数

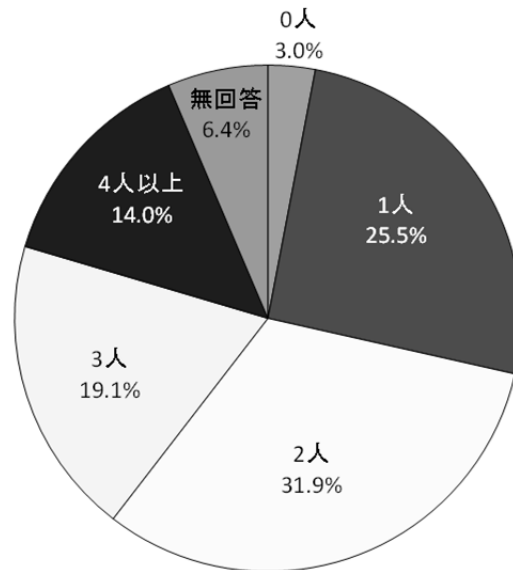
3-2-1-4 その他での相談件数 n = 235



( 1 3 ) サービス等利用計画作成に携わった相談支援専門員数・相談支援補助員数

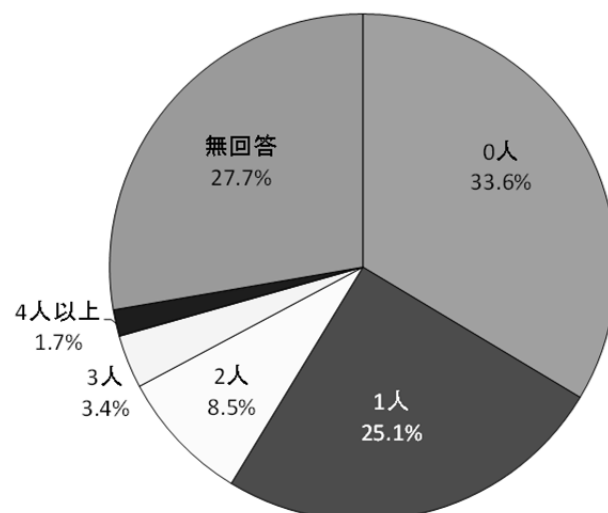
①相談支援専門員数

3-2-2-1 相談支援専門員数 n = 235



②相談支援補助職員数

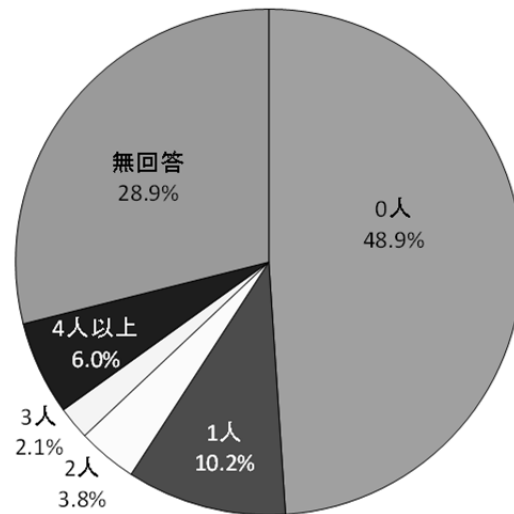
3-2-2-2 相談支援補助職員数 n = 235



(14) サービス等利用計画の対象実人数

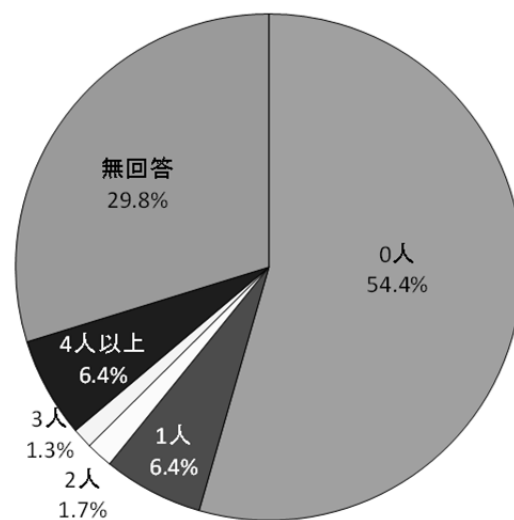
①一般相談支援事業(地域移行)

3-2-3-1 一般相談支援事業 (地域移行) n = 235



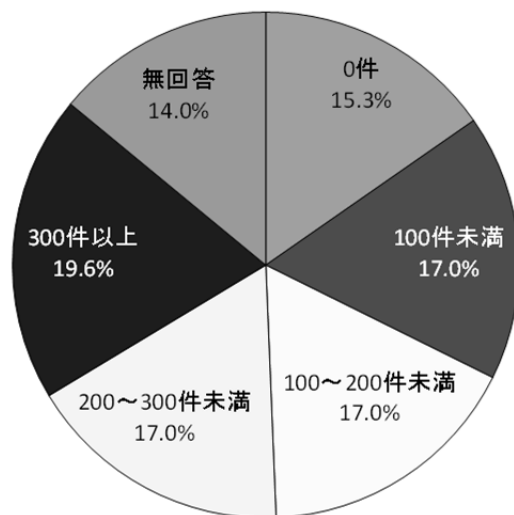
②一般相談支援事業(地域定着)

3-2-3-2 一般相談支援事業 (地域定着) n = 235



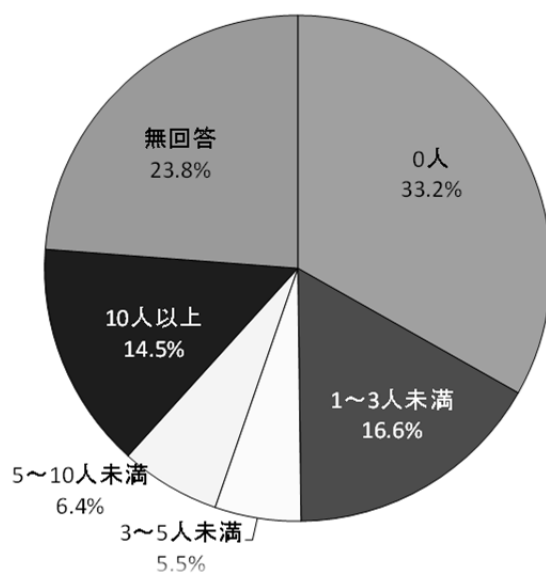
### ③特定相談支援事業

3-2-3-3 特定相談支援事業 n = 235



### ④障害児相談支援事業

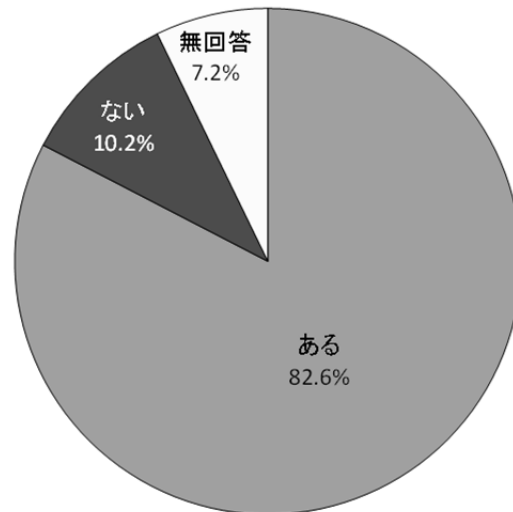
3-2-3-4 障害児相談支援事業 n = 235



( 1 5 ) 困難事例について

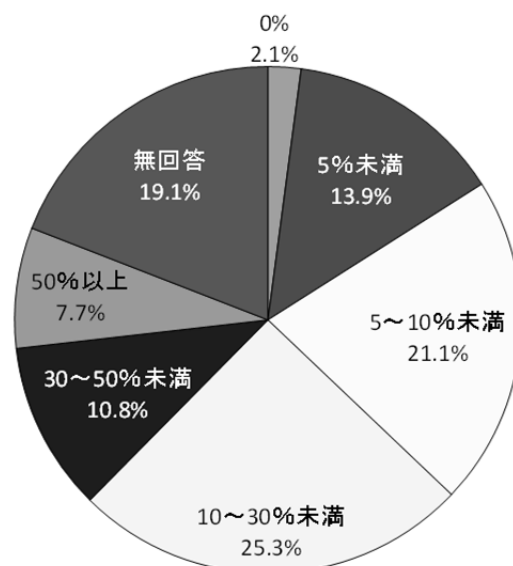
①平成 24 年 4 月～25 年 3 月の1年間の対応困難事例の有無

4 平成24年4月～25年3月の1年間の対応困難事例の有無  
n = 235



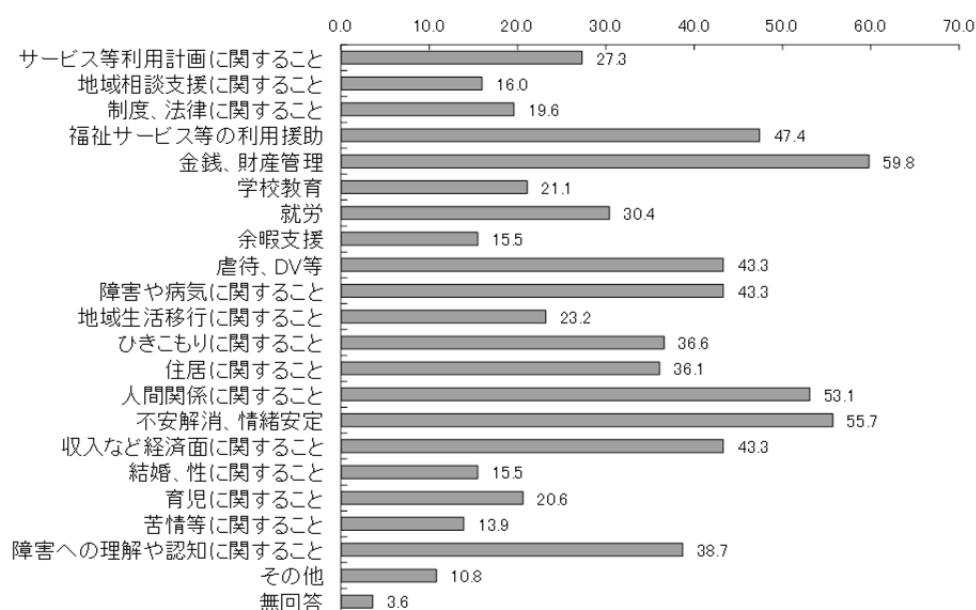
②相談実人数に占める困難事例の割合

4-1 相談実人数に占める困難事例の割合 n = 194



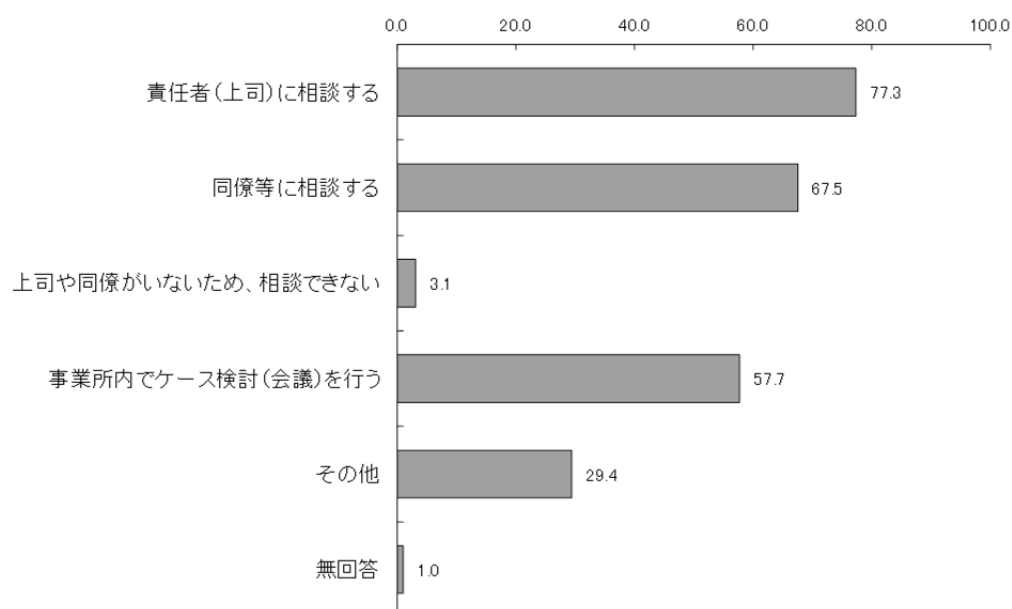
### ③困難事例の問題領域

4-2 困難事例の問題領域 n = 194



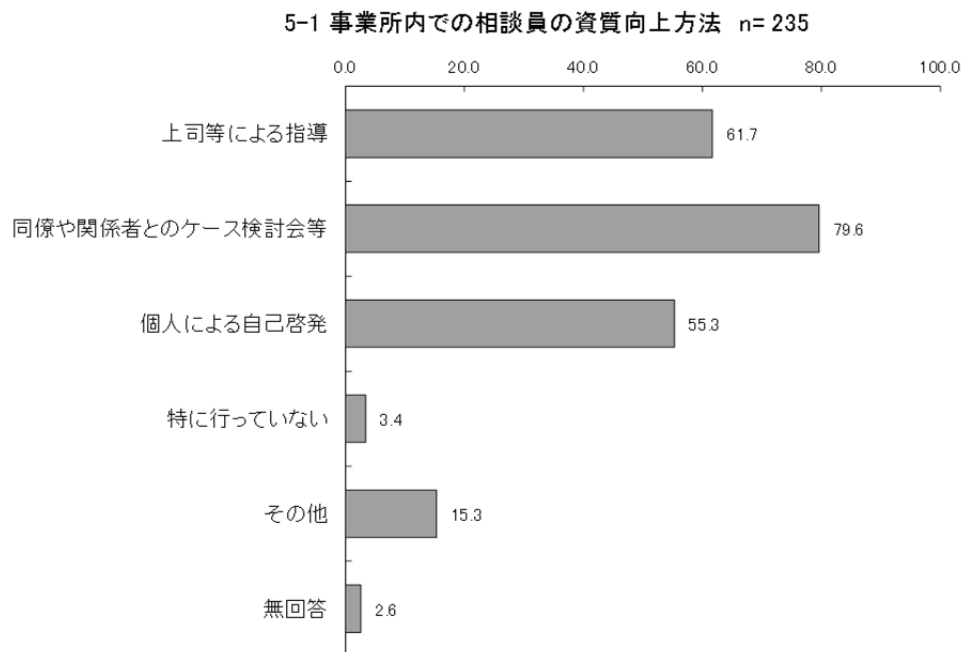
### ④対応困難事例に事業所内で行っている対応

4-3 対応困難事例に事業所内で行っている対応 n = 194

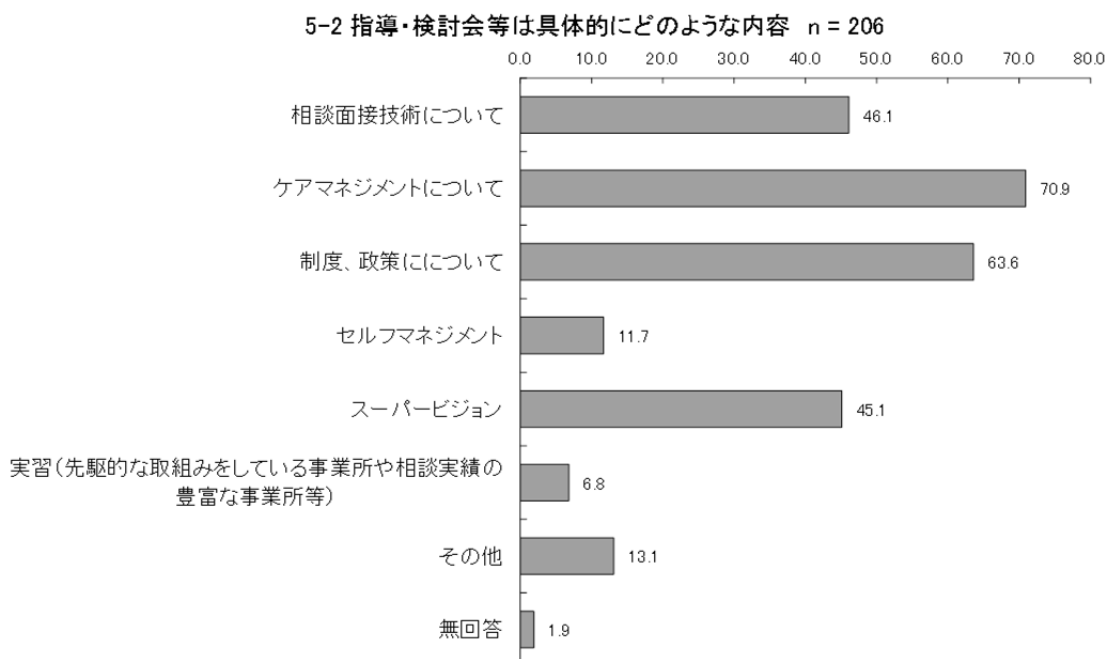


## (16) 相談員の資質向上について

### ①事業所内での相談員の資質向上方法

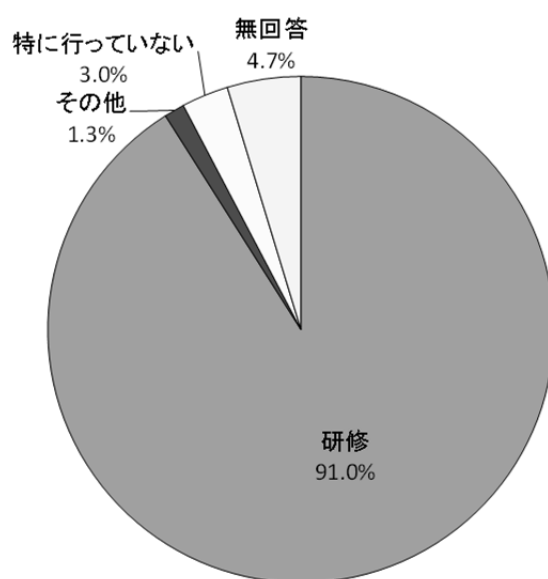


### ②指導・検討会等は具体的にどのような内容



### ③事業所外での相談員の資質向上方法

5-3 事業所外での相談員の資質向上方法 n = 235



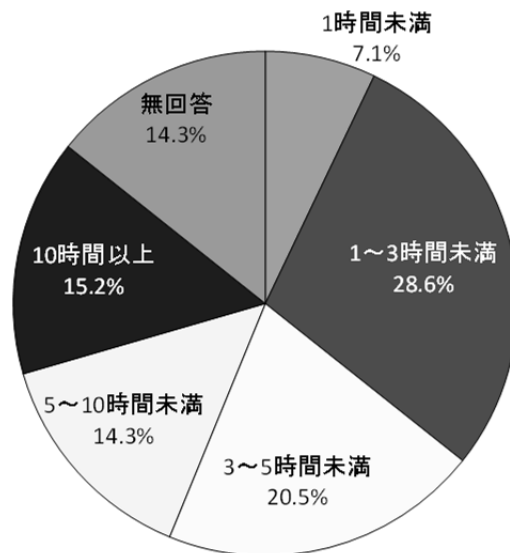


## 2. 相談支援専門員 個人業務実施状況調査結果

### (1) インテークから契約まで（基本相談）

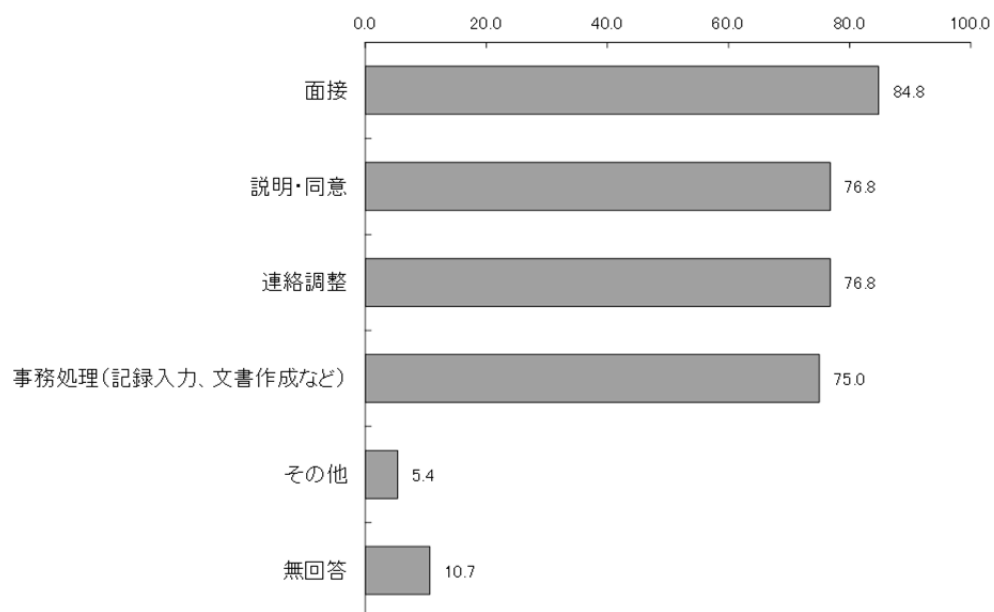
#### ① インテークから契約まで（基本相談）に要した時間

1-1 インテークから契約まで（基本相談）に要した時間  
n = 112



#### ② 基本相談に関して行った業務

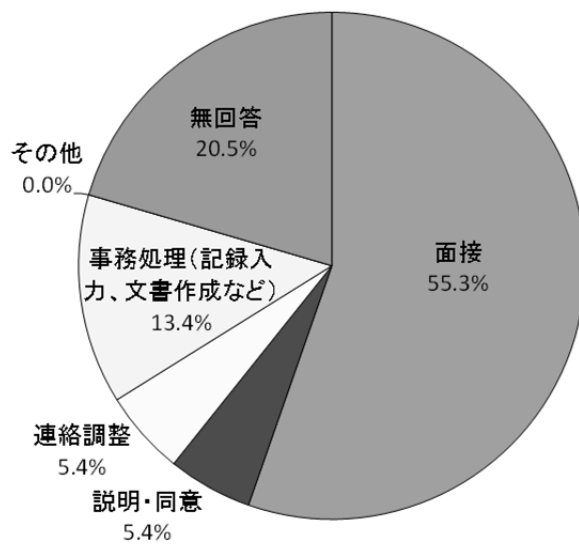
1-2 基本相談に関して行った業務 n = 112



### ③最も時間がかかったと思う業務(基本相談)

1-3 最も時間がかかったと思う業務(基本相談)

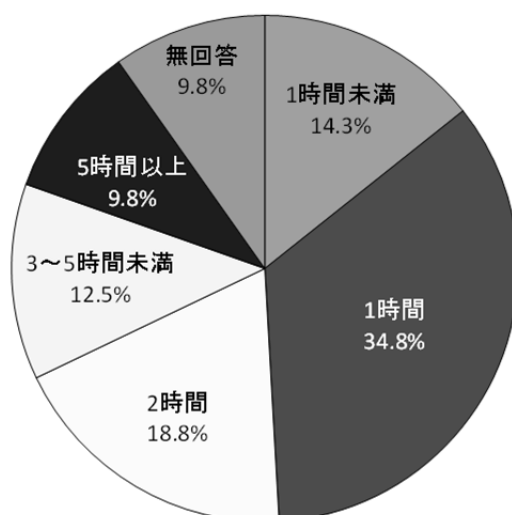
n = 112



## (2) 契約

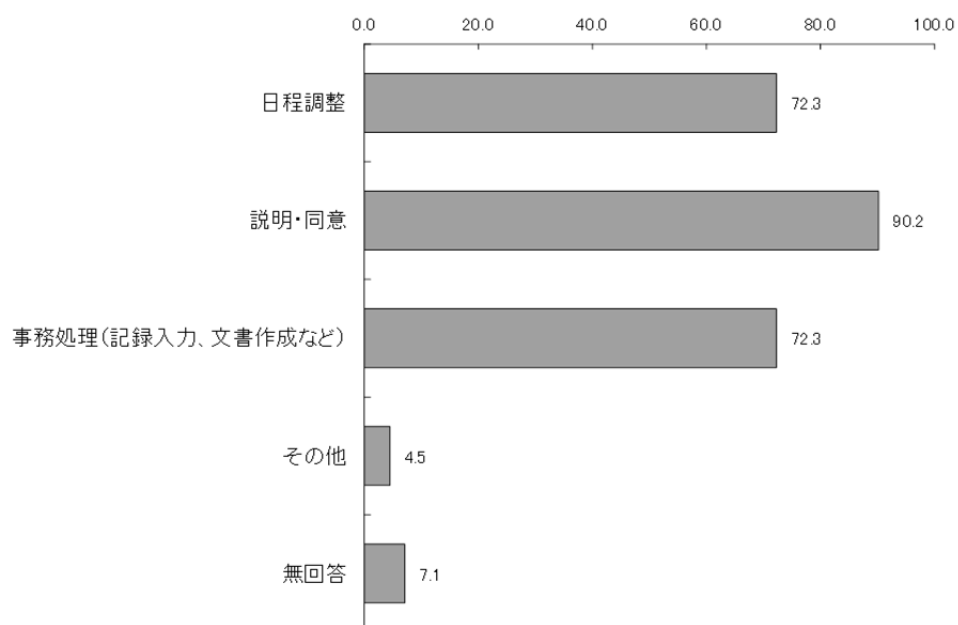
### ①契約に関して要した時間

2-1 契約に関して要した時間 n = 112



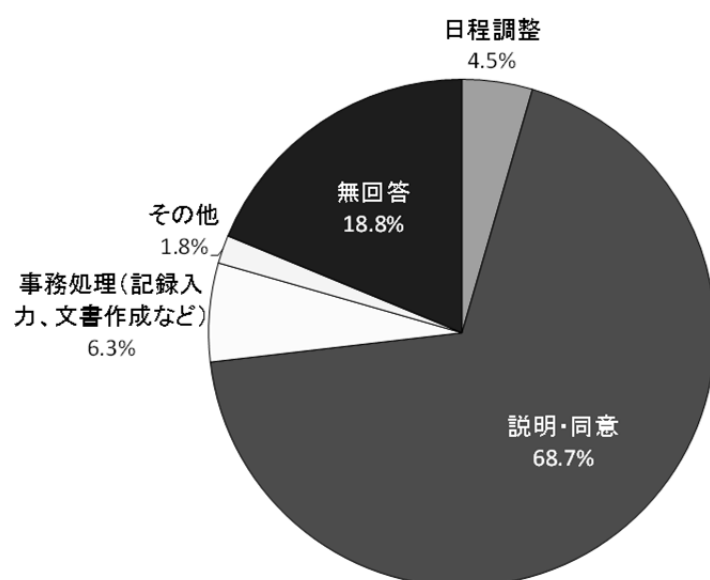
## ②契約に関して行った業務

2-2 契約に関して行った業務 n = 112



## ③最も時間がかかったと思う業務

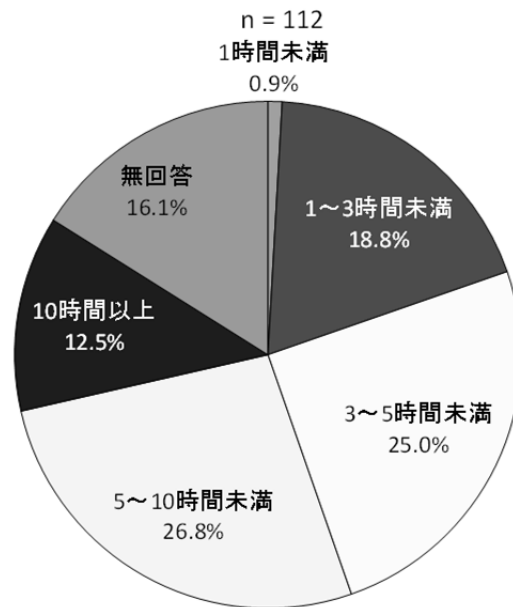
2-3 最も時間がかかったと思う業務(契約) n = 112



### (3) 計画作成のための情報収集（アセスメント）

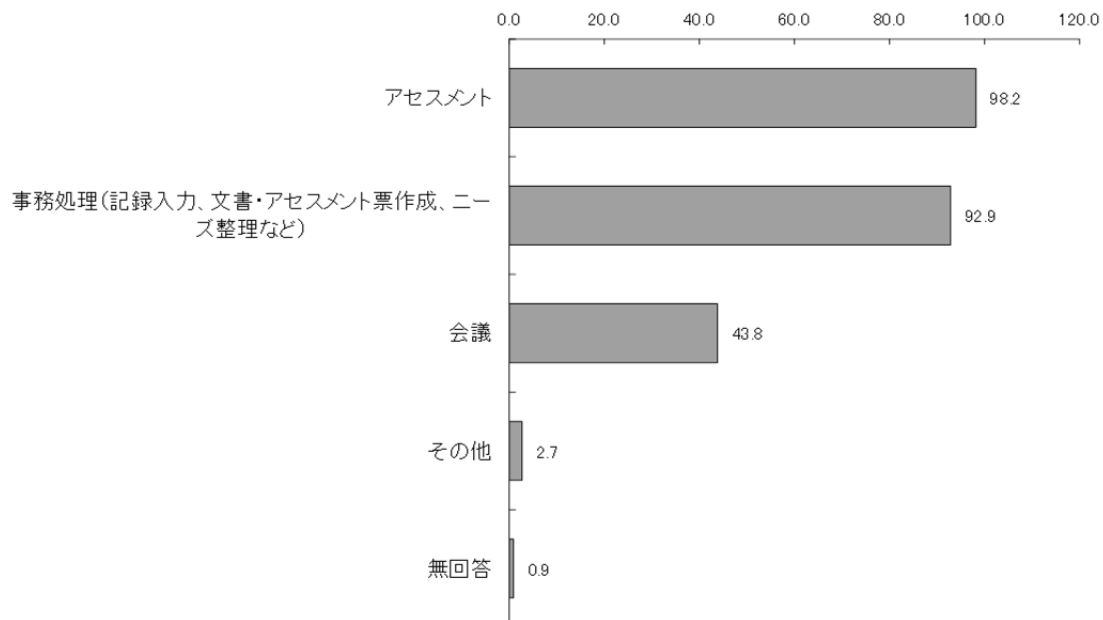
#### ① 計画作成のための情報収集（アセスメント）に要した時間

3-1 計画作成のための情報収集（アセスメント）に要した時間

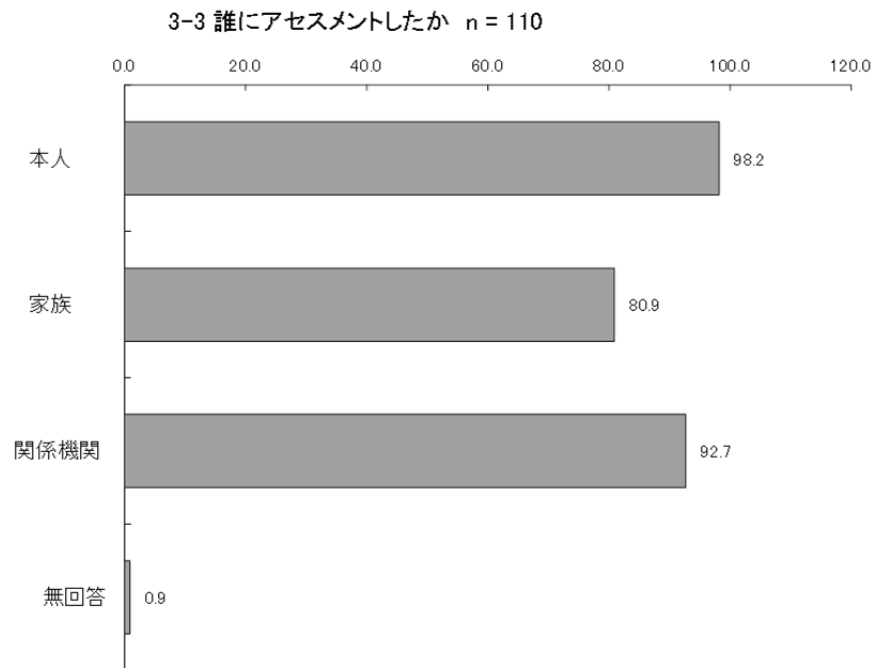


#### ② 計画作成のための情報収集（アセスメント）の際に行った業務

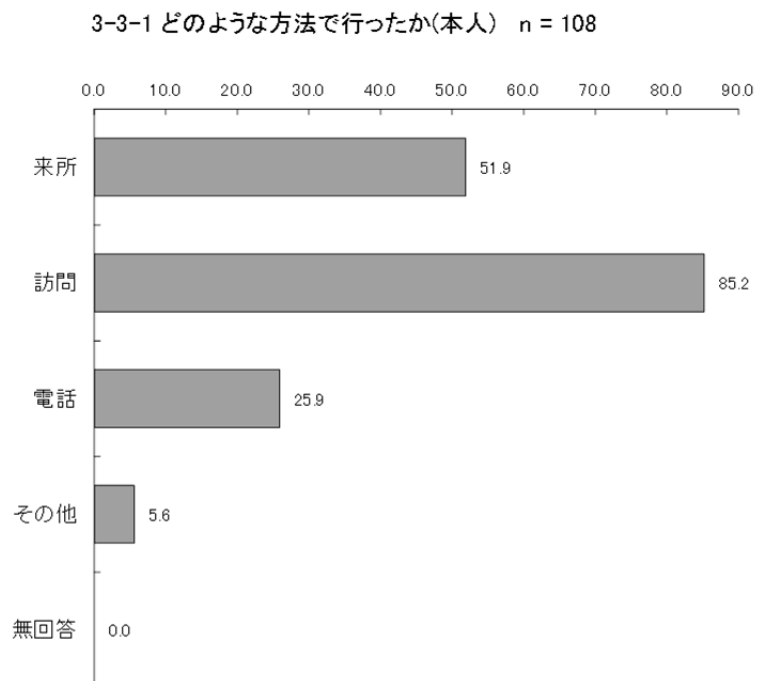
3-2 計画作成のための情報収集（アセスメント）の際に行った業務 n = 112



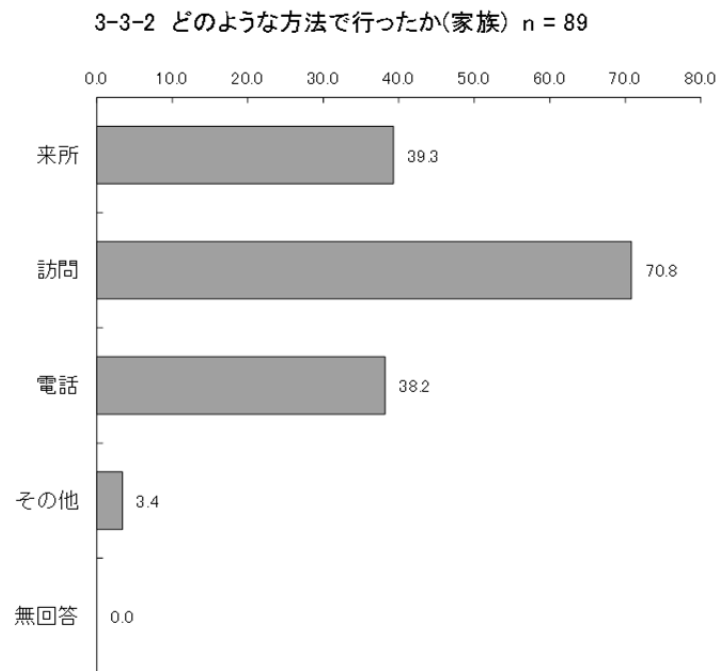
1) 誰にアセスメントしたか



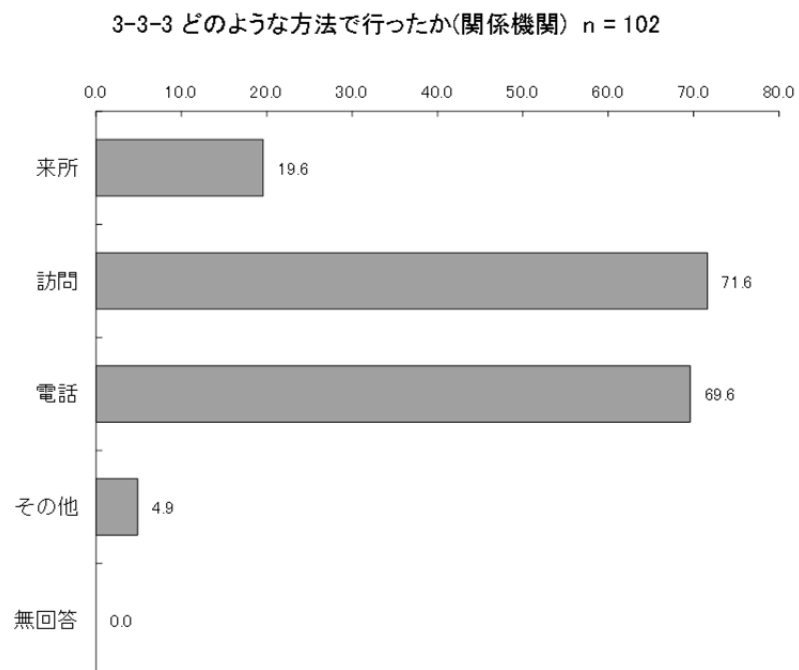
2) どのような方法で行ったか(本人)



3) どのような方法で行ったか(家族)

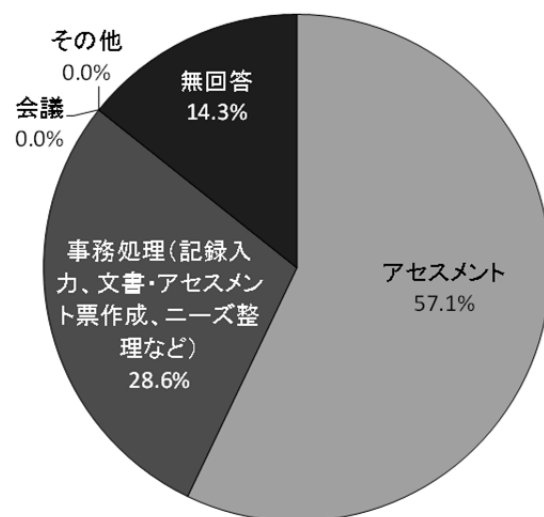


4) どのような方法で行ったか(関係機関)



### ③最も時間がかかったと思う業務(アセスメント)

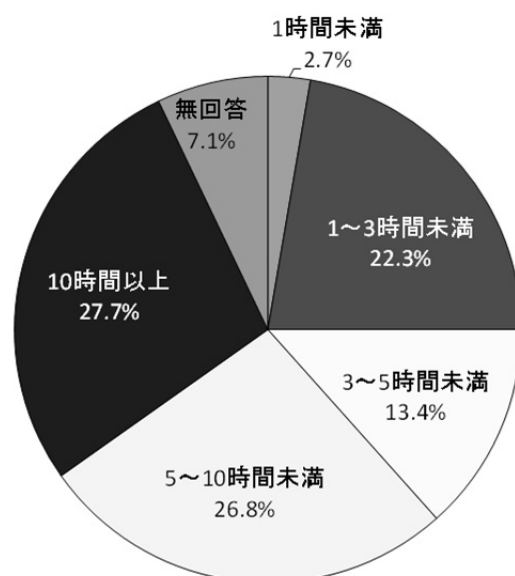
3-4 最も時間がかかったと思う業務(アセスメント) n = 112



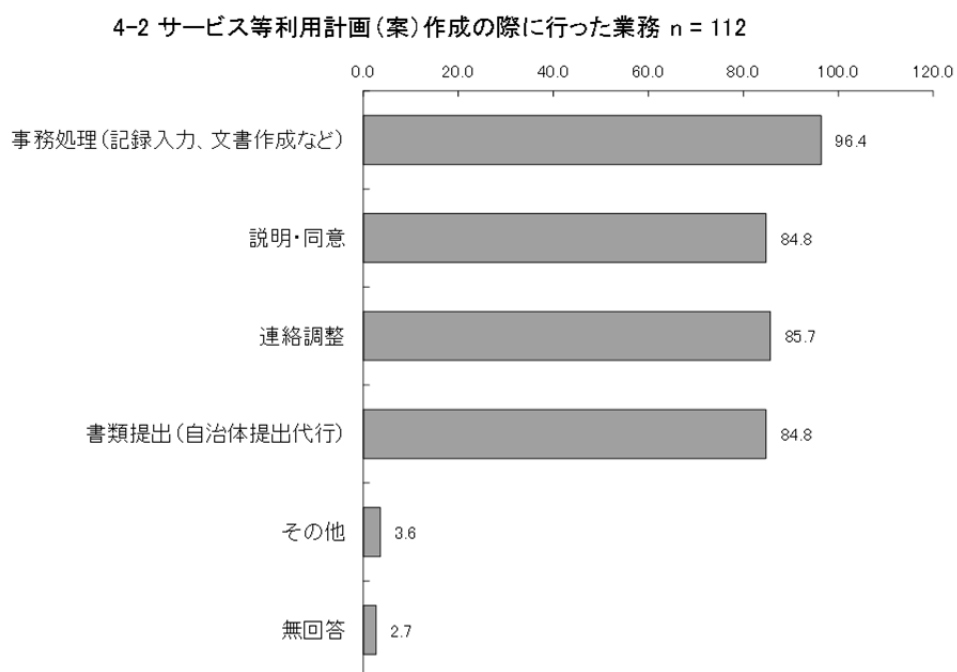
### (4) サービス等利用計画(案)作成

#### ①サービス等利用計画(案)作成に要した時間

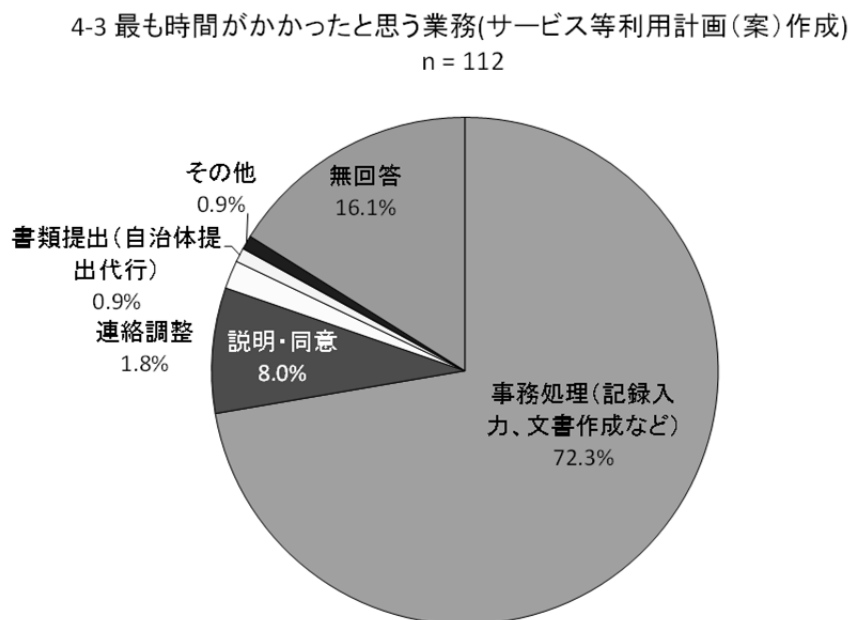
4-1 サービス等利用計画(案)作成に要した時間 n = 112



## ②サービス等利用計画(案)作成の際に行った業務



## ③最も時間がかかったと思う業務(サービス等利用計画(案)作成)



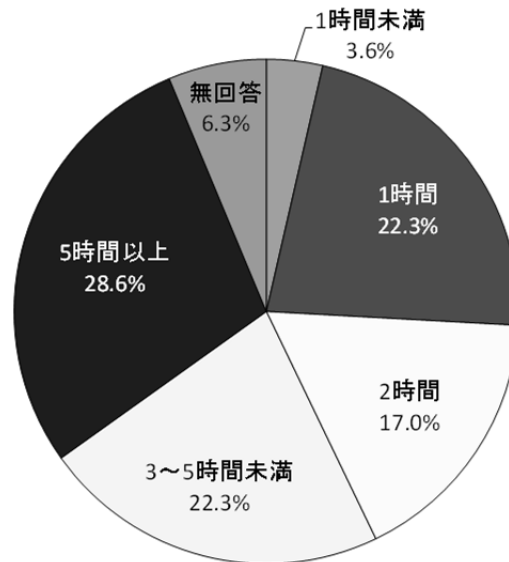


(5) サービス担当者会議及び開催準備

① サービス担当者会議及び開催準備に要した時間

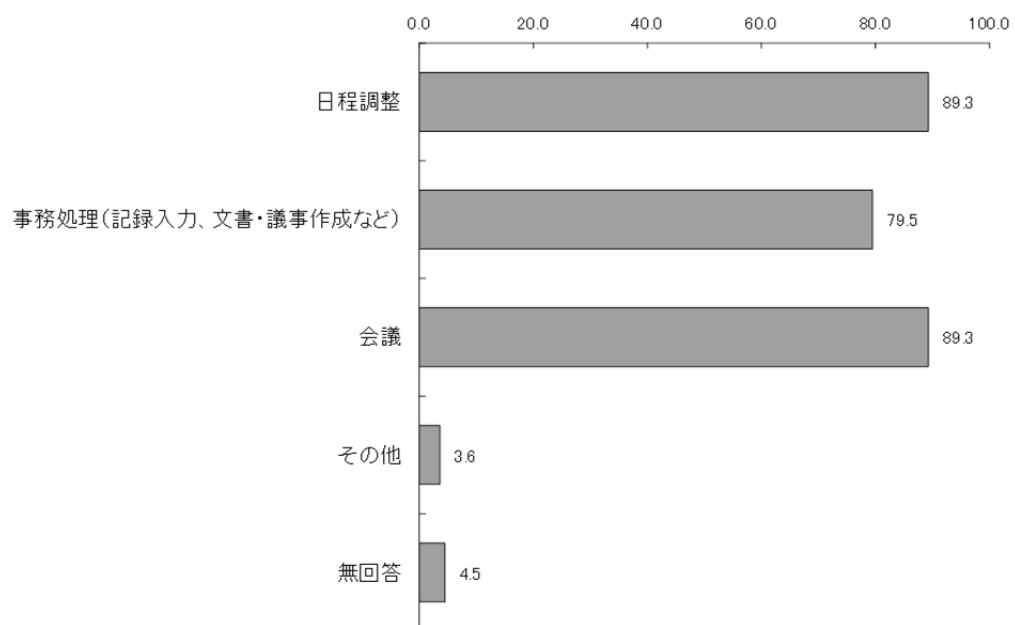
5-1 サービス担当者会議及び開催準備に要した時間

n = 112



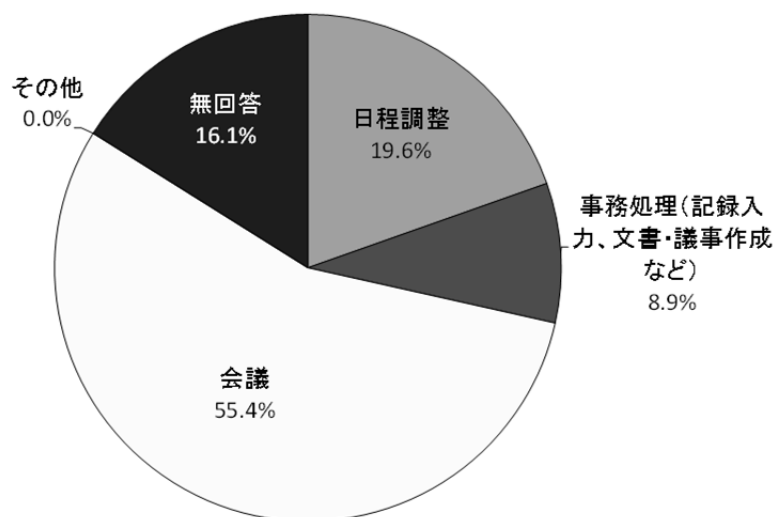
② サービス担当者会議及び開催準備の際に行った業務

5-2 サービス担当者会議及び開催準備の際に行った業務 n = 112



③最も時間がかかったと思う業務(サービス担当者会議及び開催準備)

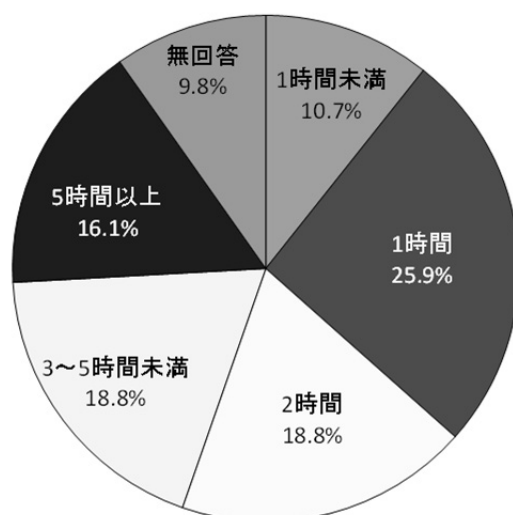
5-3 最も時間がかかったと思う業務(サービス担当者会議及び開催準備)  
n = 112



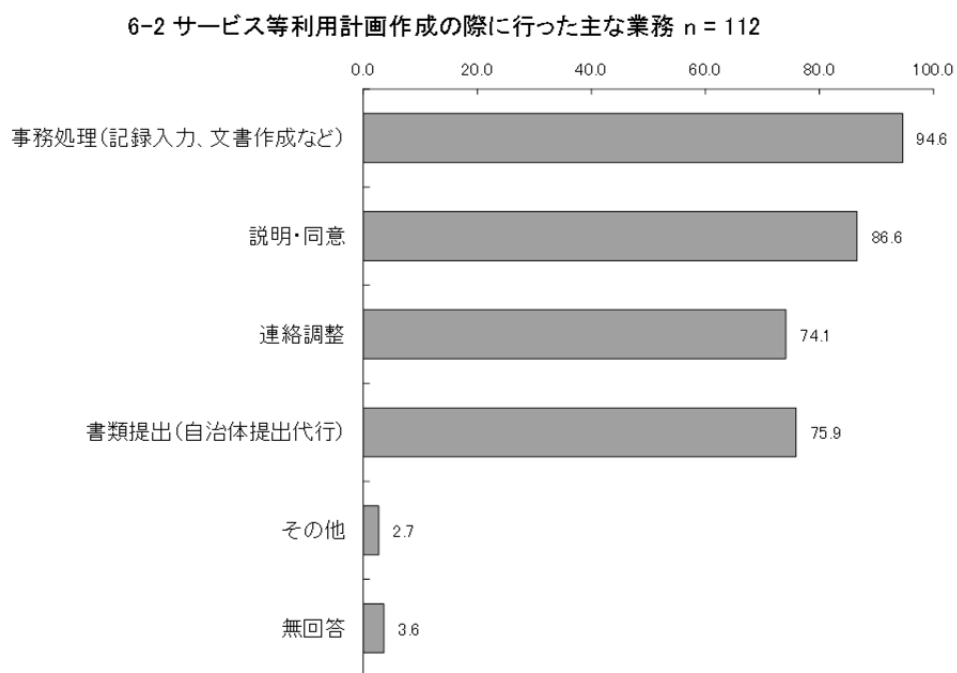
(6) サービス等利用計画作成

①サービス等利用計画作成に要した時間

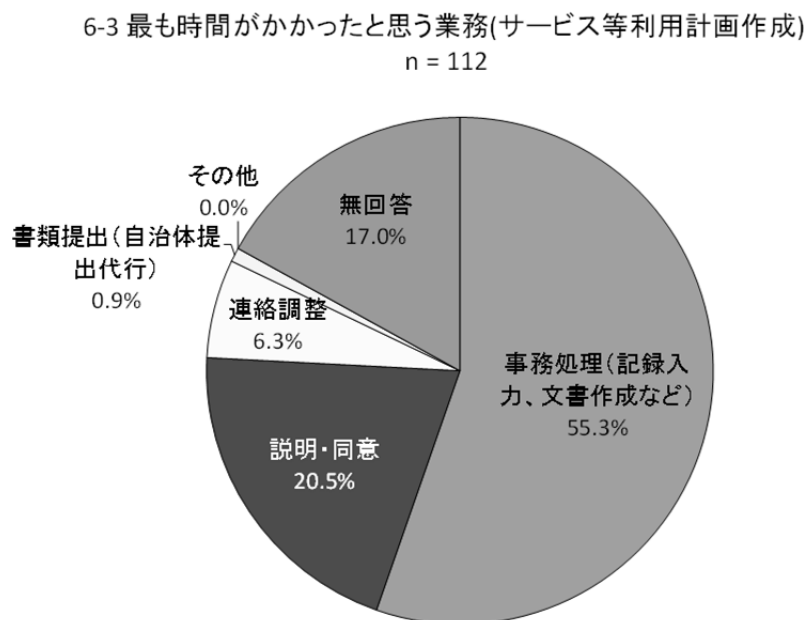
6-1 サービス等利用計画作成に要した時間  
n = 112



## ②サービス等利用計画作成の際に行った主な業務



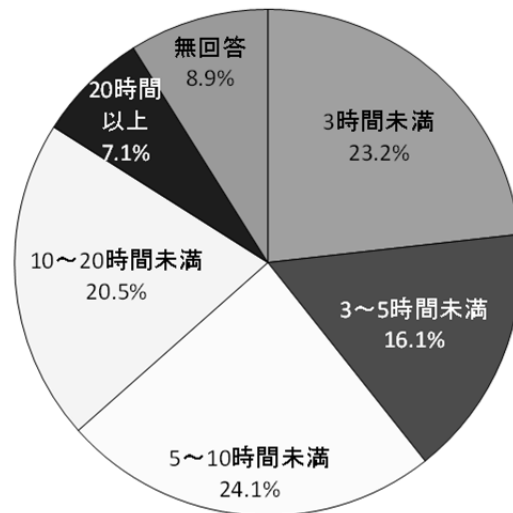
## ③最も時間がかかったと思う業務(サービス等利用計画作成)



## (7) 継続サービス利用支援（モニタリング）

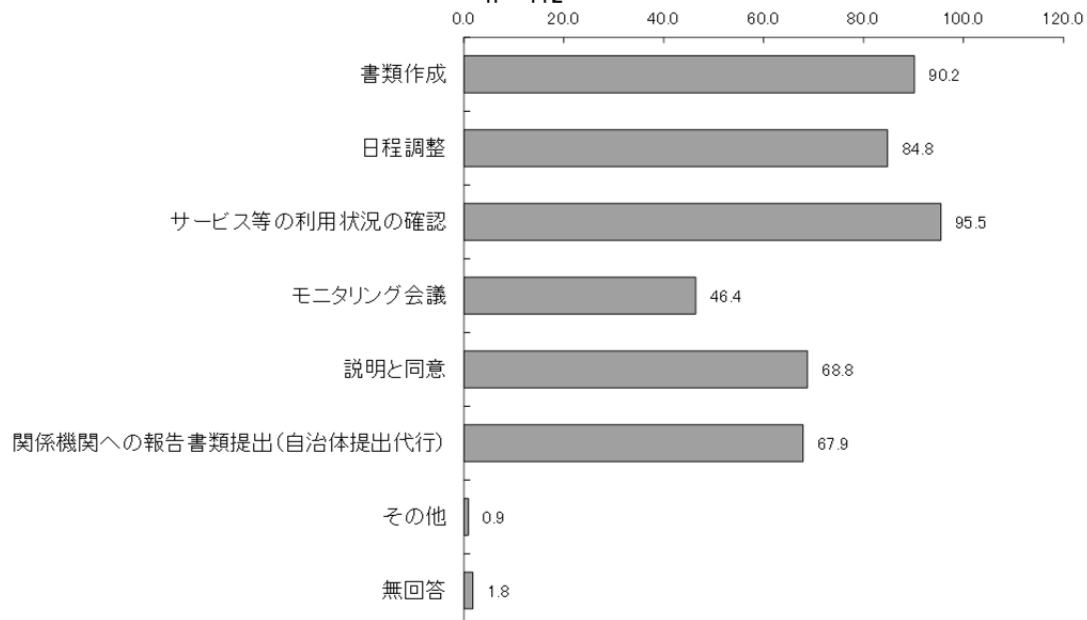
### ①継続サービス利用支援(モニタリング)に要した時間

7-1 継続サービス利用支援(モニタリング)に要した時間  
n = 112

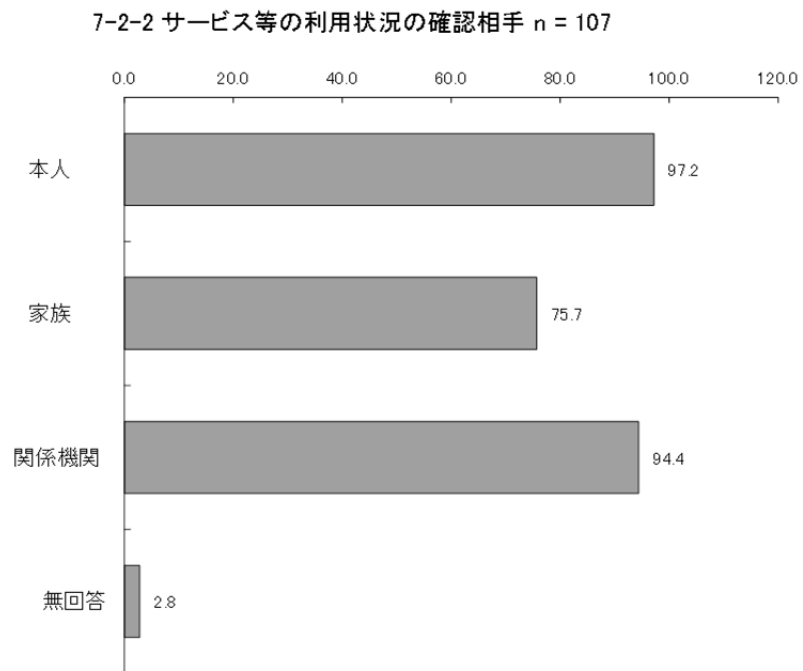


### ②継続サービス利用支援(モニタリング)の際に行った主な業務

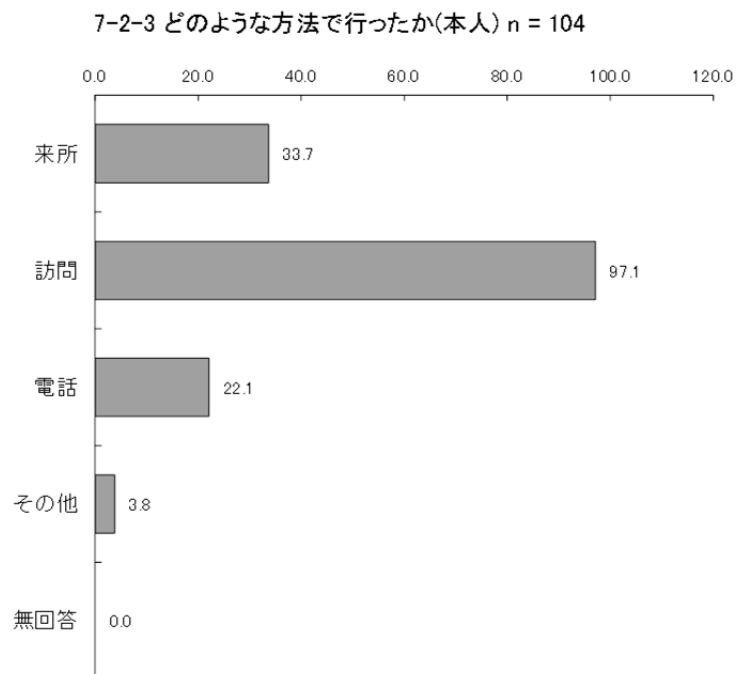
7-2 継続サービス利用支援(モニタリング)の際に行った主な業務  
n = 112



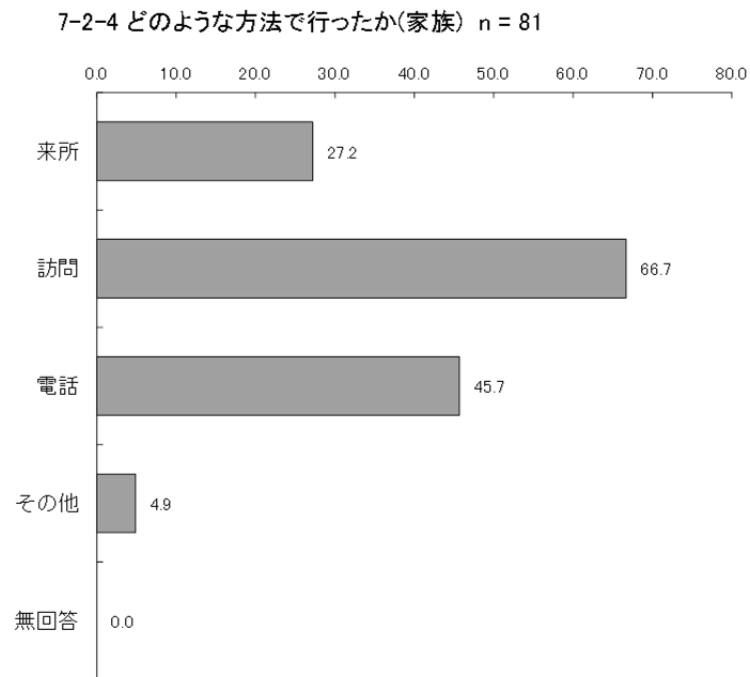
1) サービス等の利用状況の確認相手



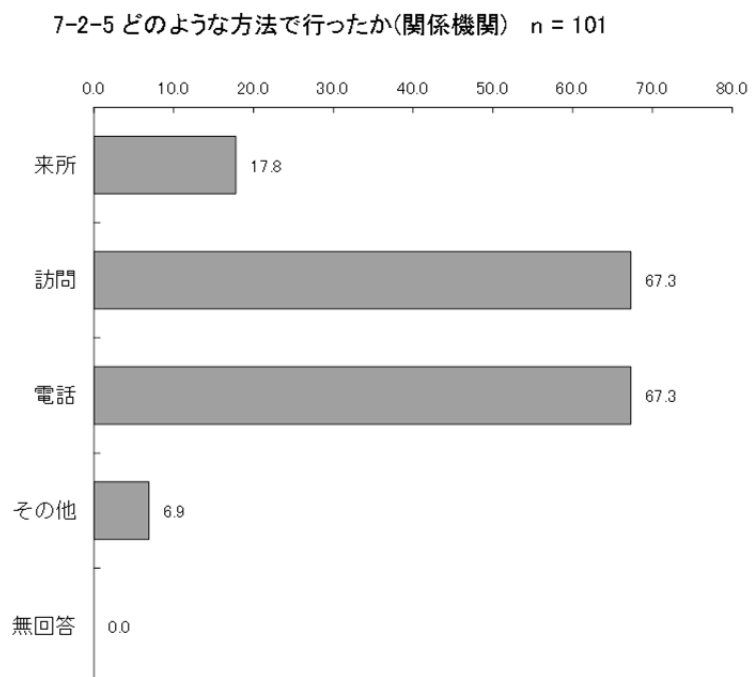
2) どのような方法で行ったか(本人)



3) どのような方法で行ったか(家族)

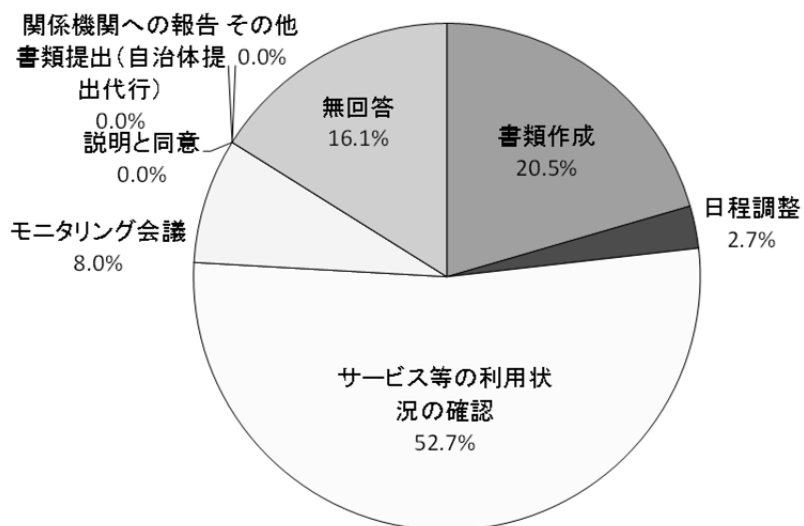


4) どのような方法で行ったか(関係機関)



③最も時間がかかったと思う業務(継続サービス利用支援(モニタリング))

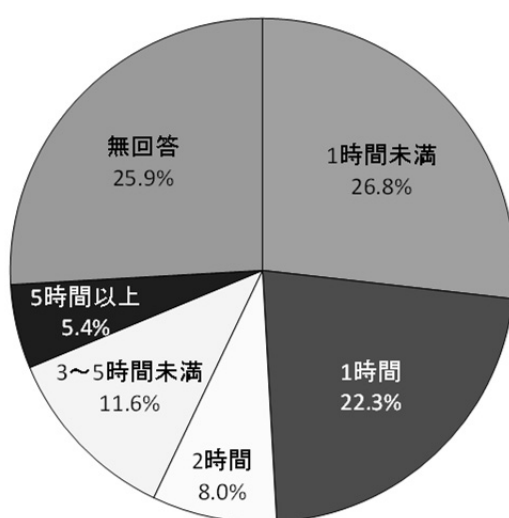
7-3 最も時間がかかったと思う業務(継続サービス利用支援(モニタリング))  
n = 112



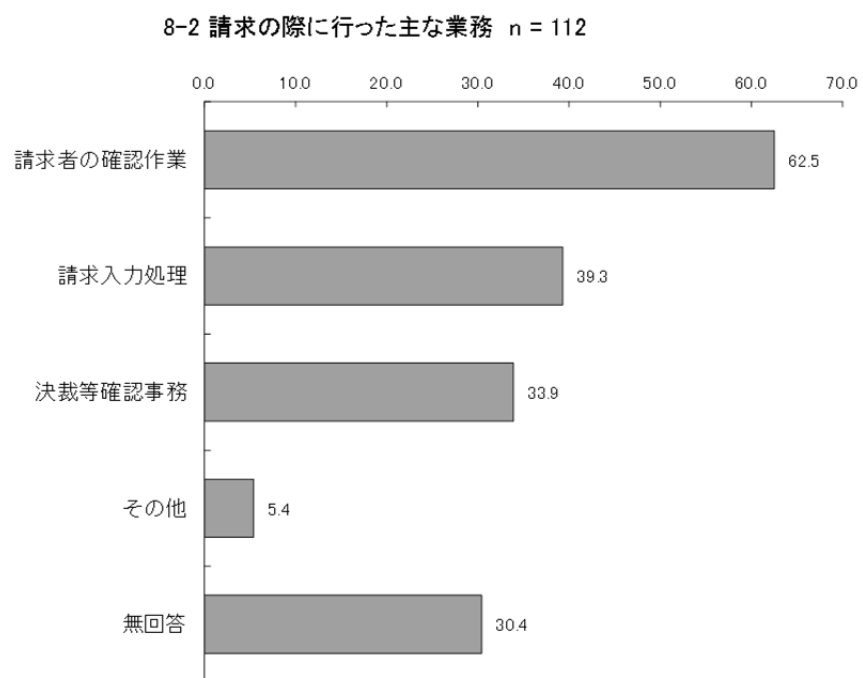
(8) 請求

①請求に要した時間

8-1 請求に要した時間 n = 112

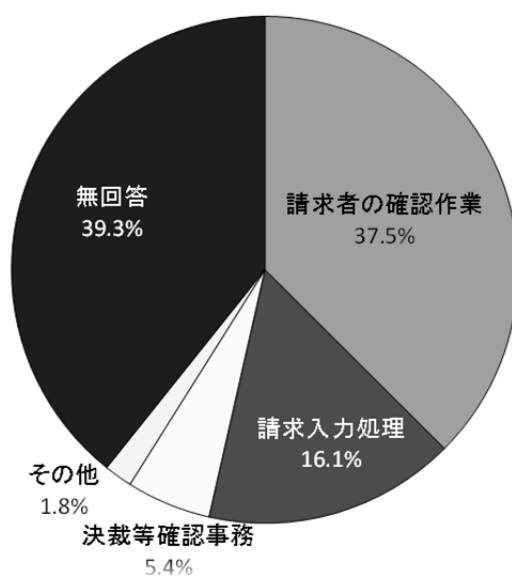


## ②請求の際に行った主な業務



## ③最も時間がかかったと思う業務(請求)

8-3 最も時間がかかったと思う業務(請求) n = 112

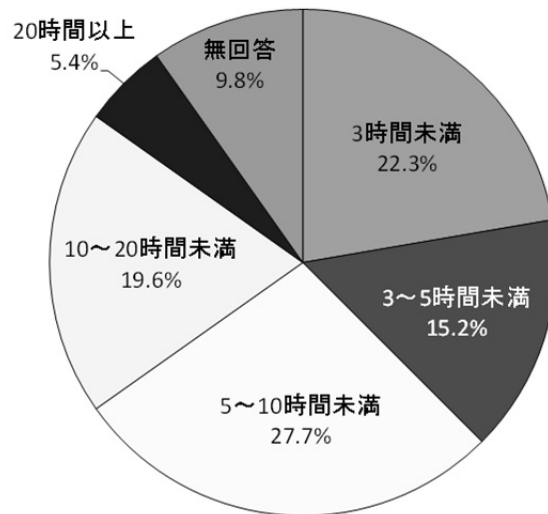




## (9) 訪問等の移動

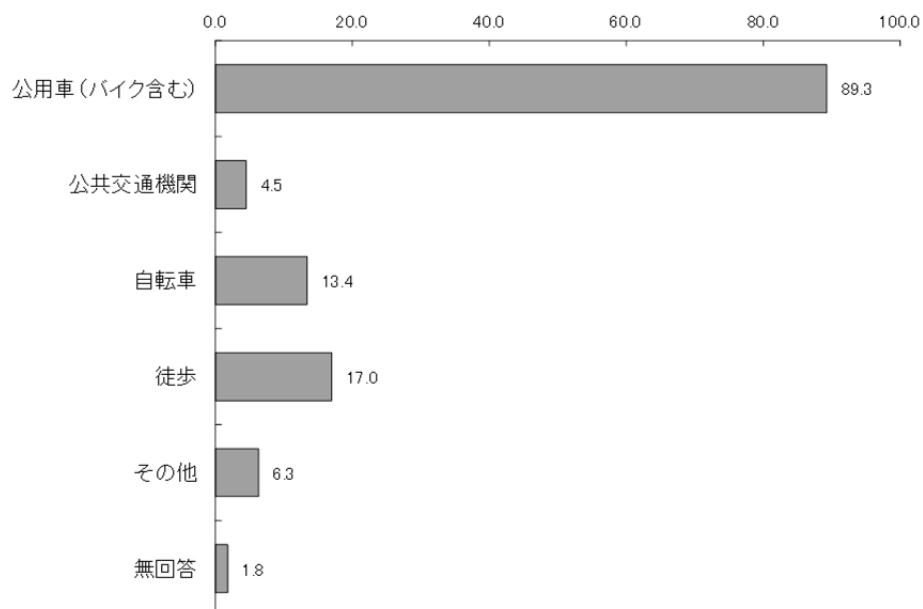
### ① 訪問等の移動に要した時間

9-1 訪問等の移動に要した時間 n = 112



### ② 主な移動に使用した交通手段

9-2 主な移動に使用した交通手段 n = 112

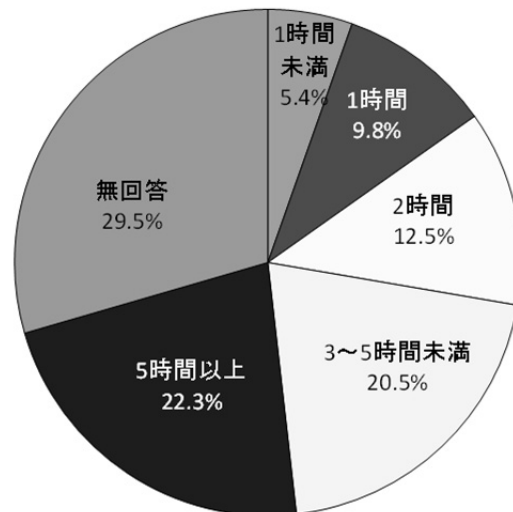


(10) その他 計画相談

①その他計画相談に関する業務に要した時間

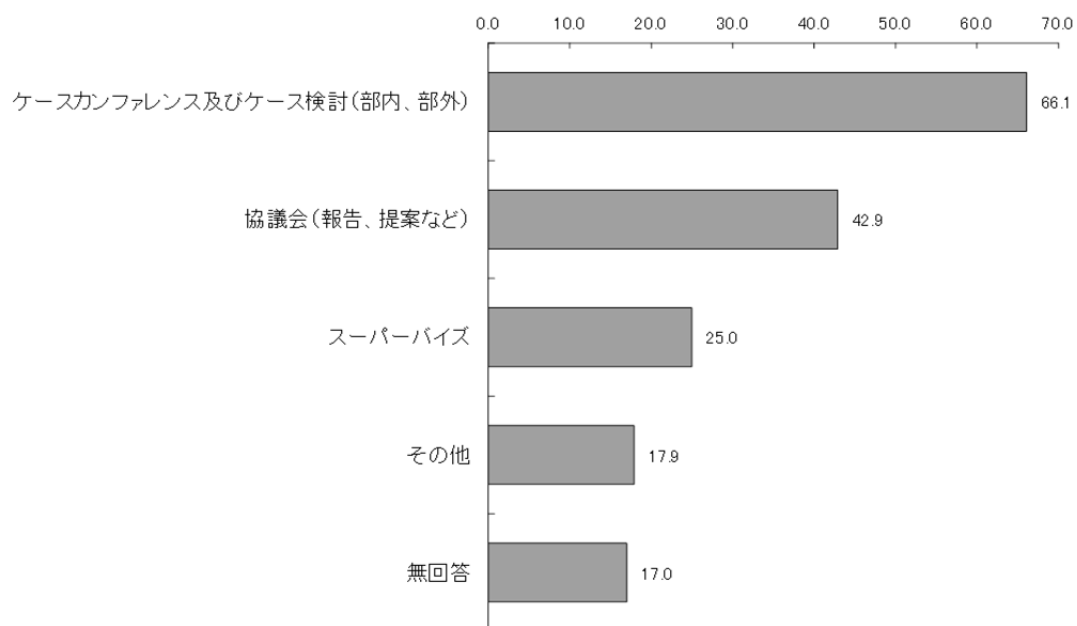
10-1 その他計画相談に関する業務に要した時間

n = 112



②その他に行った業務

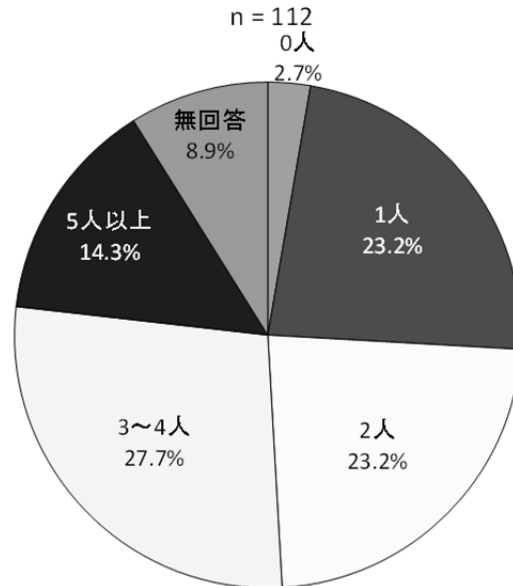
10-2 その他に行った業務 n = 112



( 1 1 ) 上記 10 日間に関わったケース数

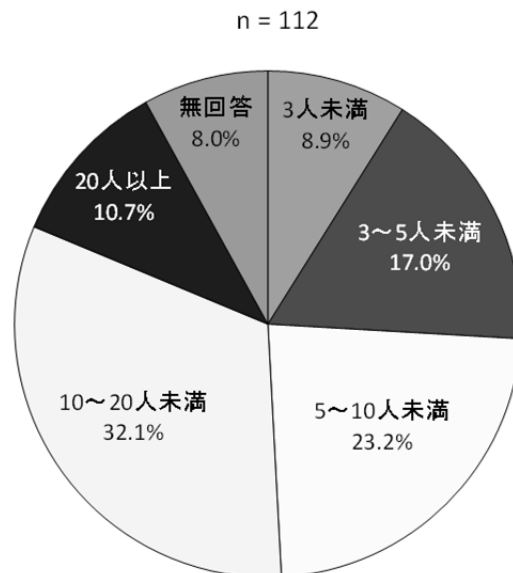
①新規実人数

11-1 新規実人数(上記10日間に関わったケース数)



②継続実人数

11-2 継続実人数(上記10日間に関わったケース数)

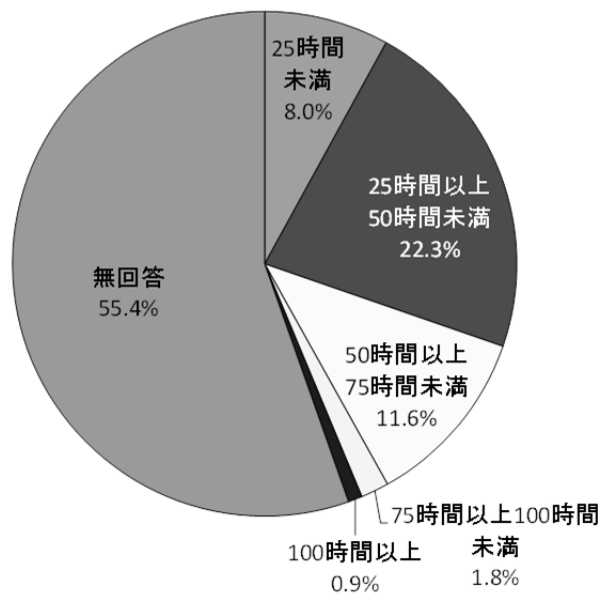


## (12) 総時間

### ①計画相談支援にかかった総時間 ※“無回答”を全排除

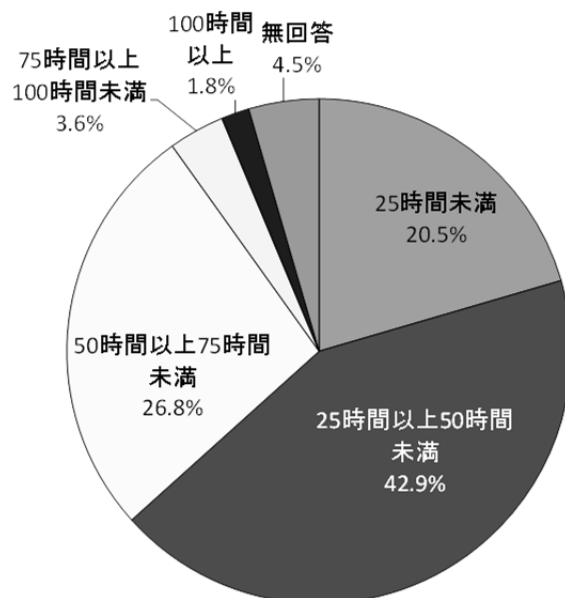
((1)～(10)の業務のいずれかが無回答であったサンプルをすべて無回答とした集計)

計画相談にかかった時間(合計) ※“無回答”を全排除  
n = 112



### ②計画相談支援にかかった総時間 ※排除なし（回答された全データを対象とした集計）

計画相談にかかった時間(合計) ※排除なし  
n = 112

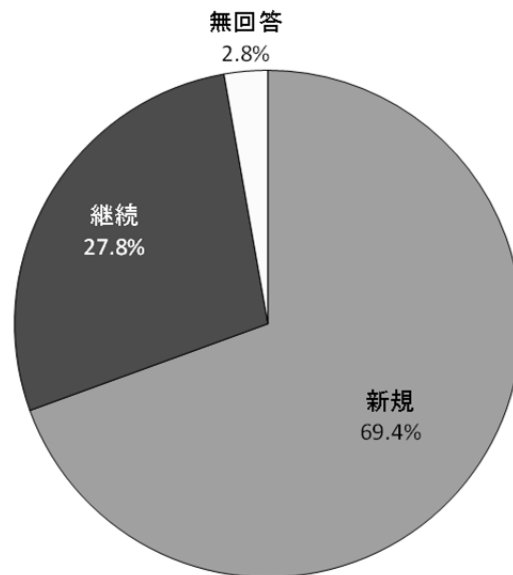


### 3. 個別事例【計画相談】に関する調査結果

#### (1) 支援した事例の新規・継続

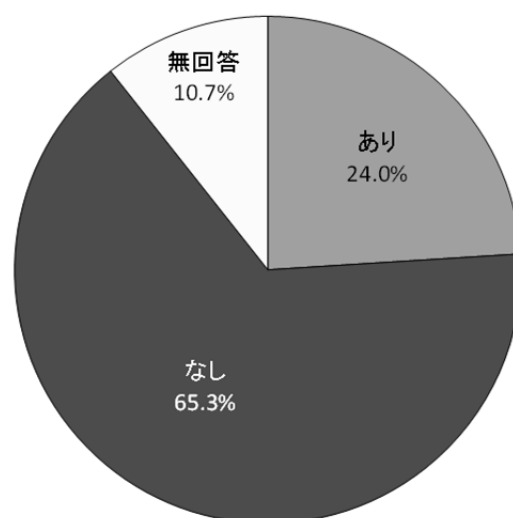
##### ① 支援した事例は新規か継続か

0-1 支援した事例は新規か継続か n = 108



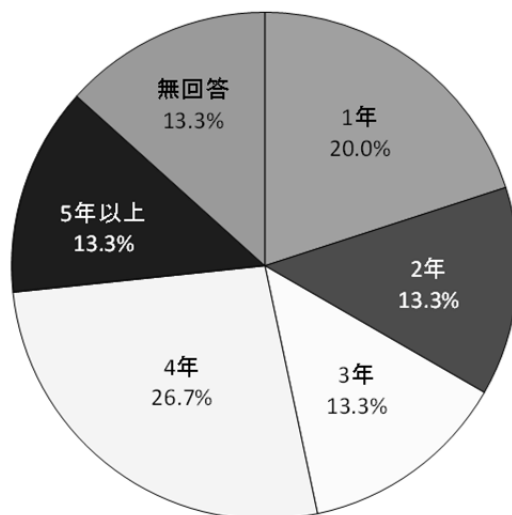
##### ② 以前からの関わり(相談支援)

0-2-1 以前からの関わり(相談支援) n = 75



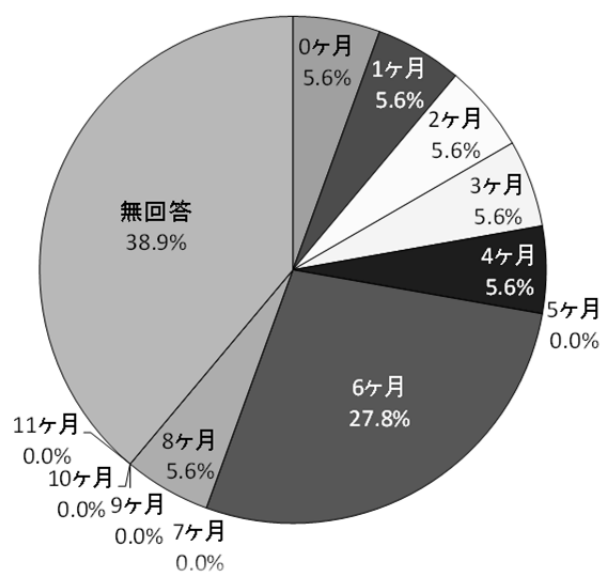
1) ありの場合の期間（年）

0-2-2 ありの場合の期間(年) n = 15



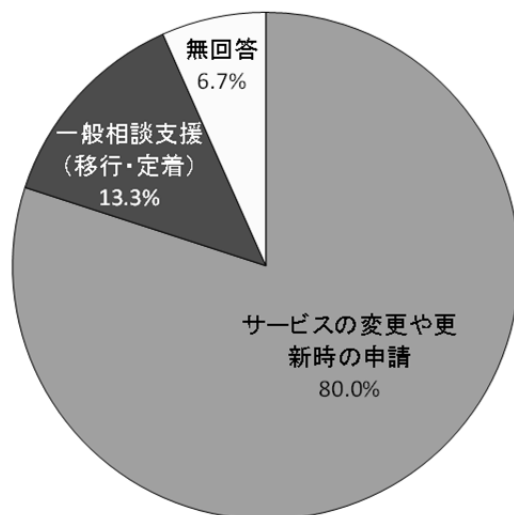
2) ありの場合の期間（カ月）

0-2-3 ありの場合の期間(ヶ月) n = 18



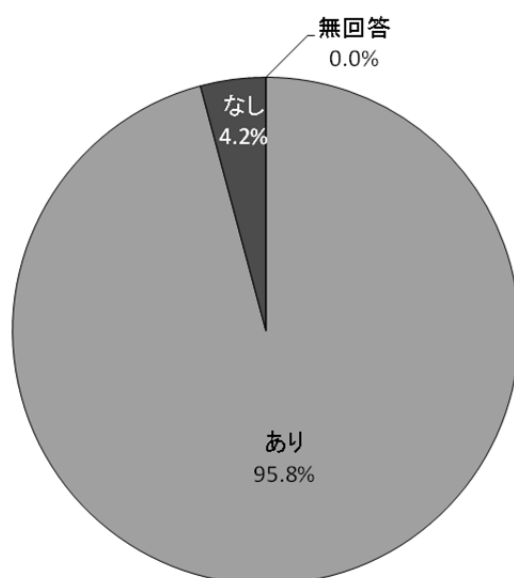
③継続

0-3-1 継続 n = 30



1) 以前からの関わり (相談支援) (サービスの変更や更新時の申請)

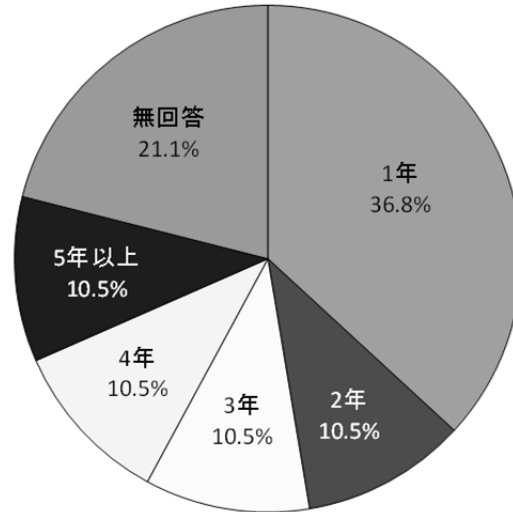
0-3-2 以前からの関わり(相談支援)(サービスの変更や更新時の申請)  
n = 24



2) ありの場合の期間（サービスの変更や更新時の申請）（年）

0-3-3 ありの場合の期間（サービスの変更や更新時の申請）（年）

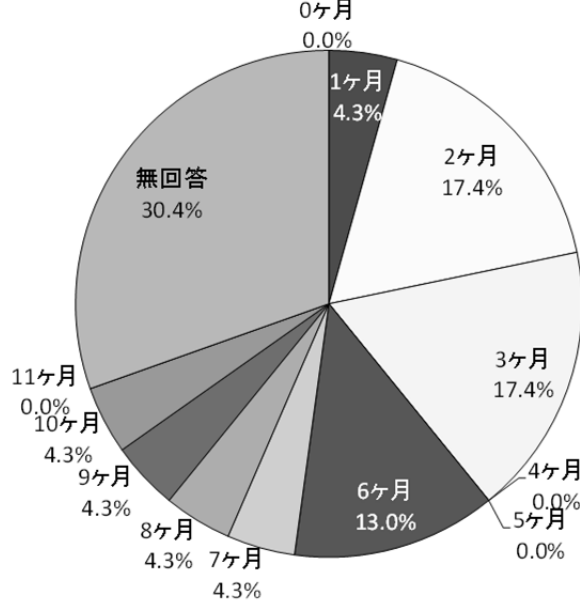
n = 19



3) ありの場合の期間（サービスの変更や更新時の申請）（カ月）

0-3-4 ありの場合の期間（サービスの変更や更新時の申請）（ヶ月）

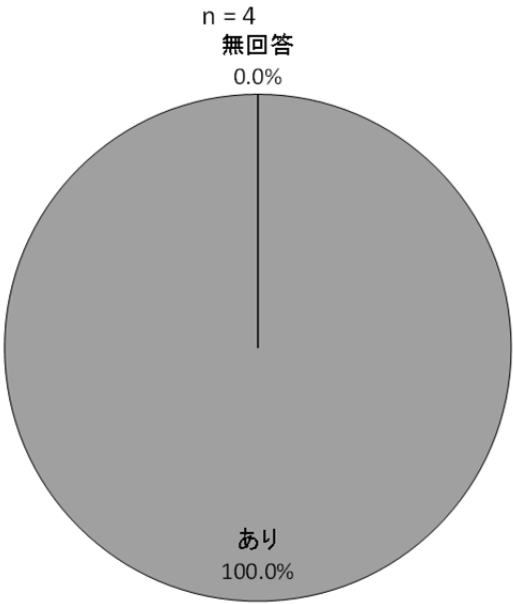
n = 23





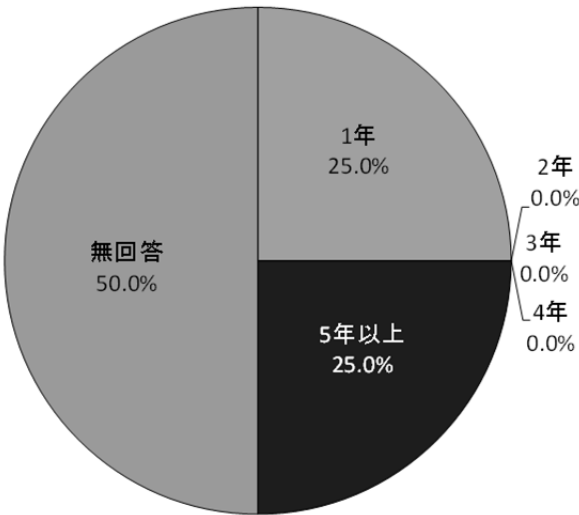
4) 以前からの関わり (相談支援) (一般相談支援 (移行・定着))

0-3-5 以前からの関わり(相談支援)(一般相談支援(移行・定着))



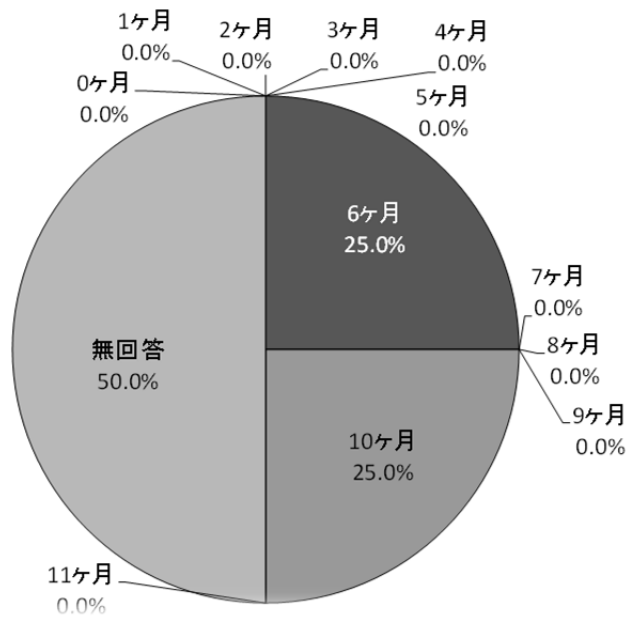
5) ありの場合の期間(一般相談支援) (年)

0-3-6 ありの場合の期間(一般相談支援) (年) n = 4



6) ありの場合の期間(一般相談支援) (カ月)

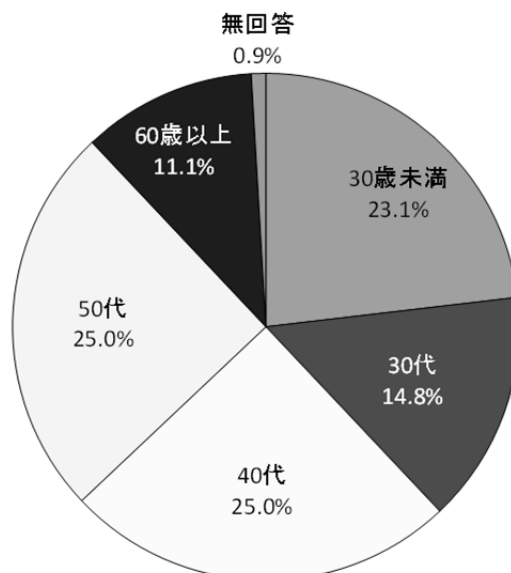
0-3-7 ありの場合の期間(一般相談支援) (ヶ月) n = 4



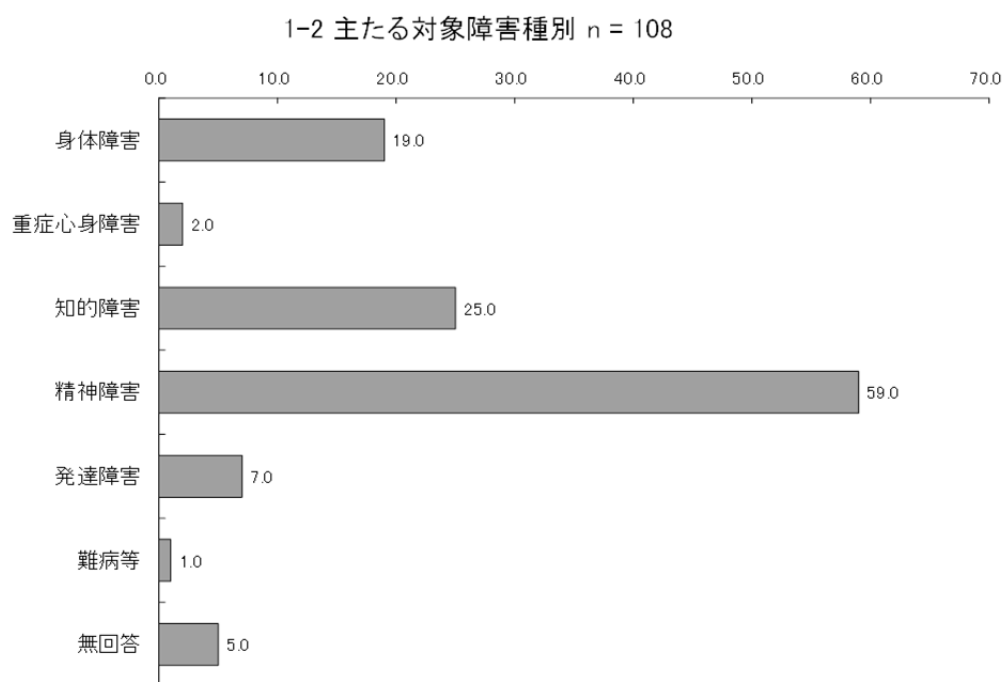
(2) 対象の基本属性

① 年齢

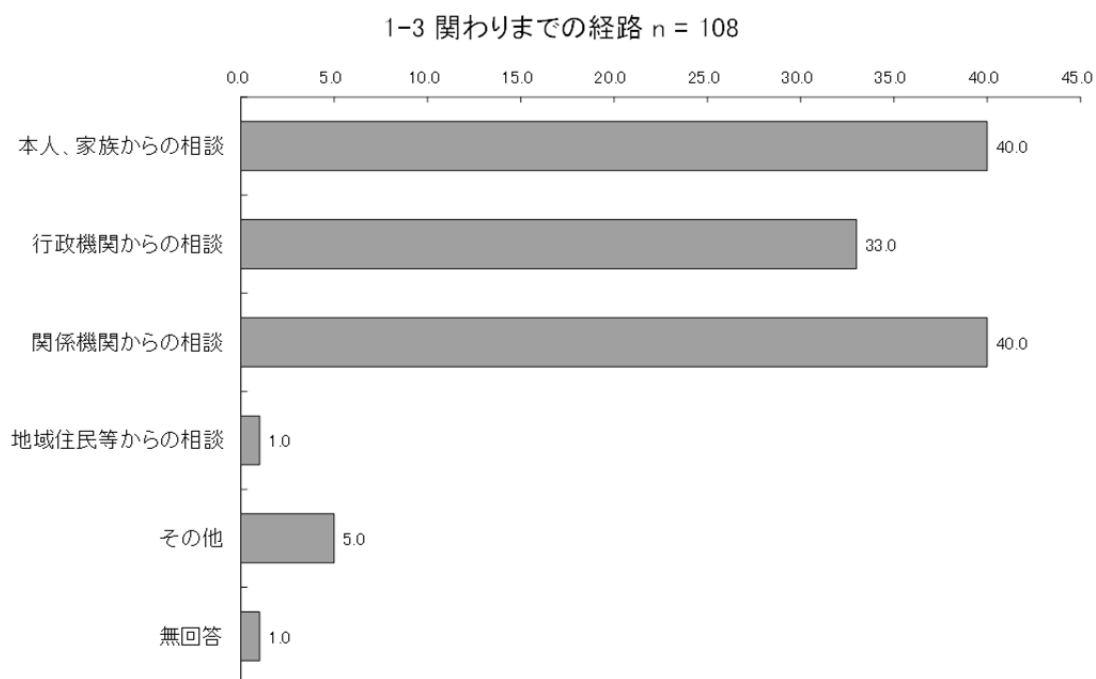
1-1 年齢 n = 108



## ②主たる対象障害種別



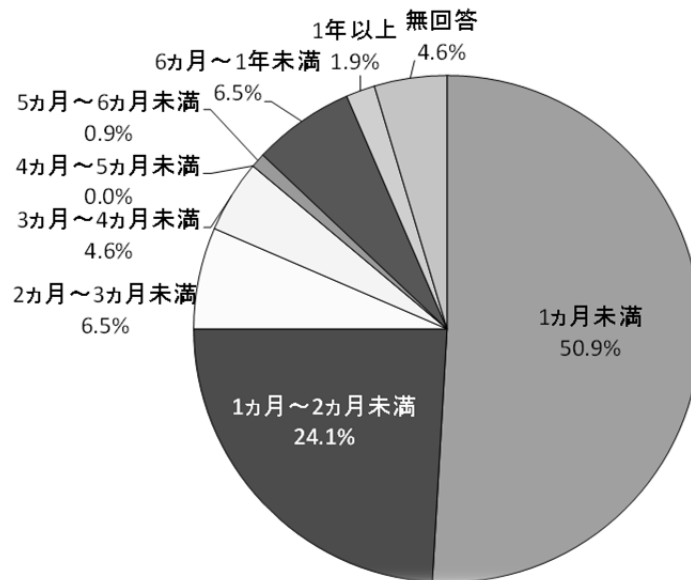
## ③関わりまでの経路



### (3) 契約にいたる前段階

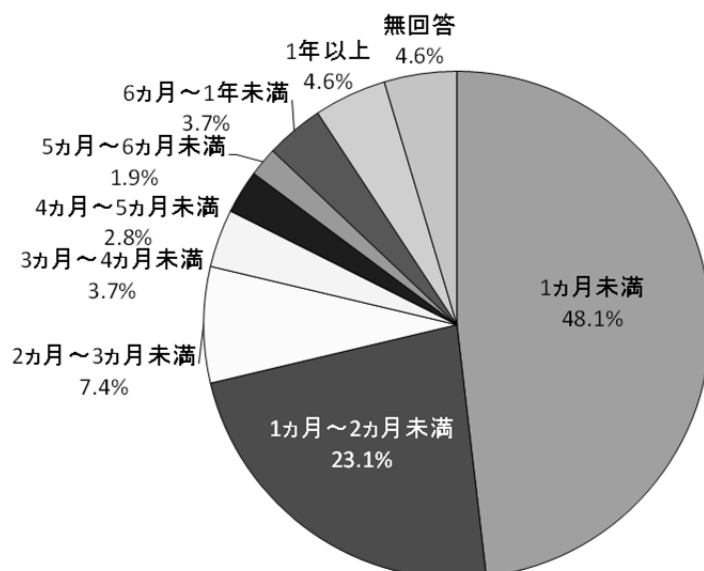
#### ①利用申込みから契約までに要した期間

2-1 利用申込みから契約までに要した期間 n = 108

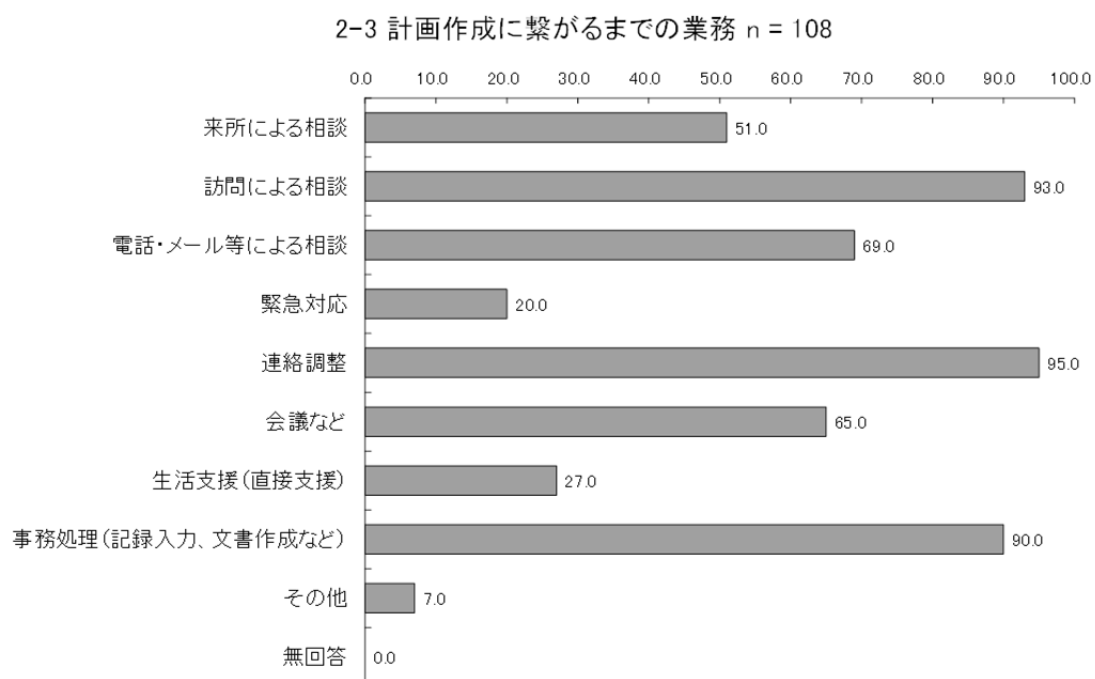


#### ②インテークから契約まで(基本相談)に要した期間

2-2 インテークから契約まで(基本相談)に要した期間 n = 108

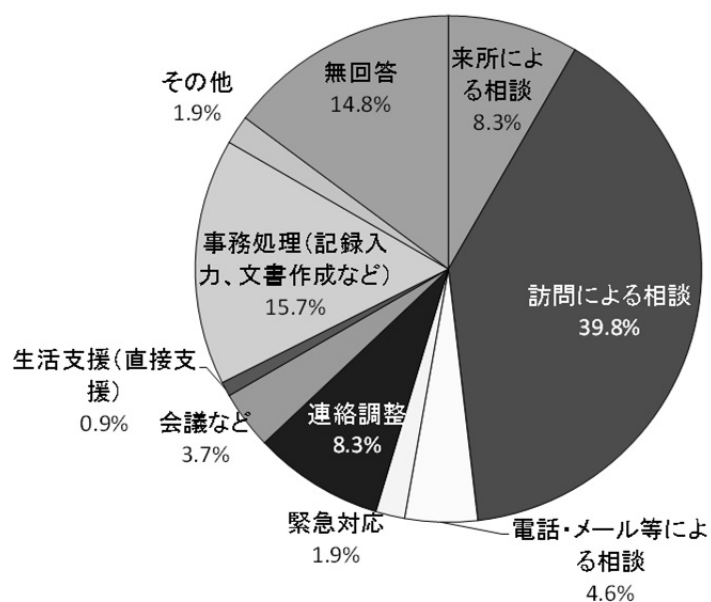


### ③計画作成に繋がるまでの業務



### ④最も時間がかかったと思う業務(計画作成に繋がるまで)

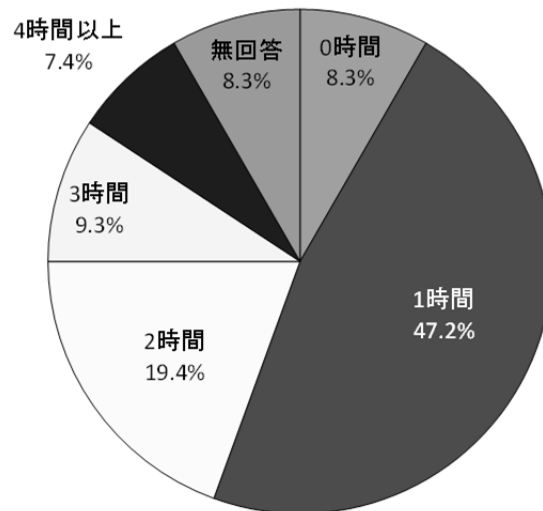
2-4 最も時間がかかったと思う業務(計画作成に繋がるまで) n = 108



#### (4) 契約

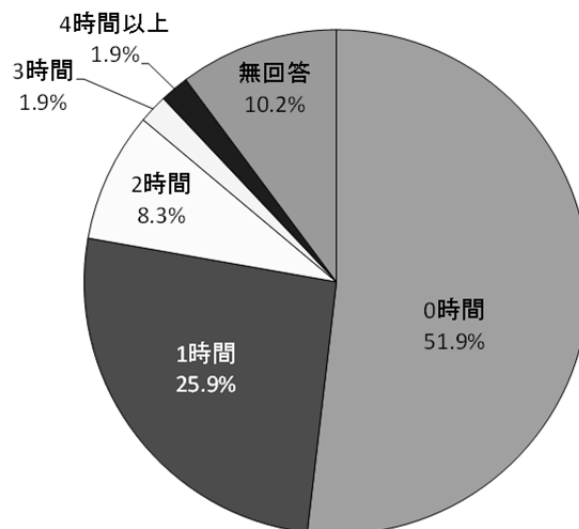
##### ① 契約に関して要した支援時間

3-1 契約に関して要した支援時間 n = 108

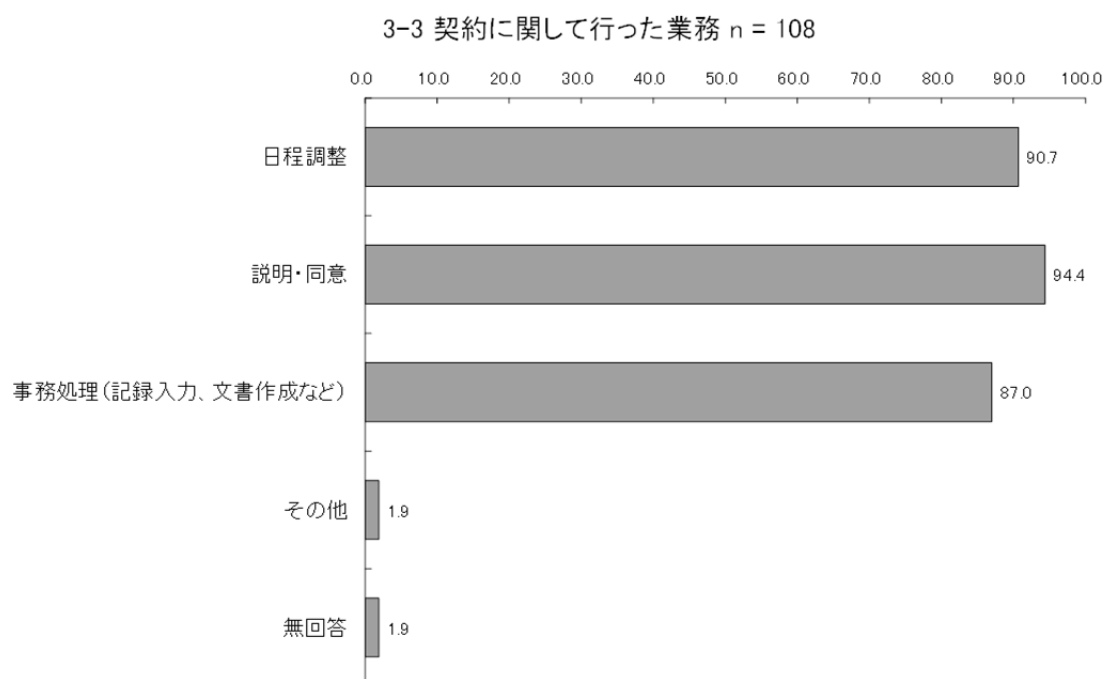


##### ② 契約に関して要した移動時間

3-2 契約に関して要した移動時間 n = 108

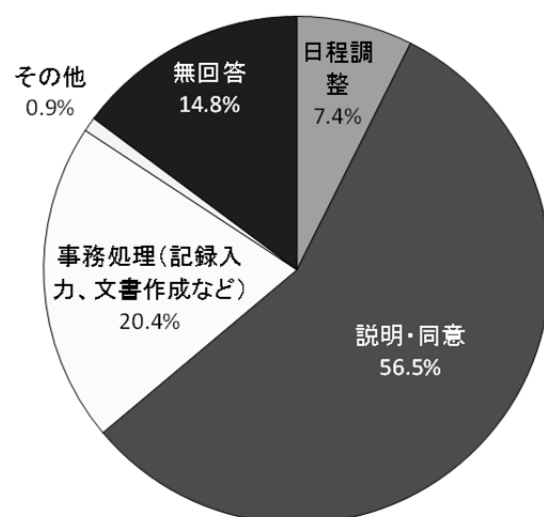


### ③契約に関して行った業務



### ④最も時間がかかったと思う業務(契約)

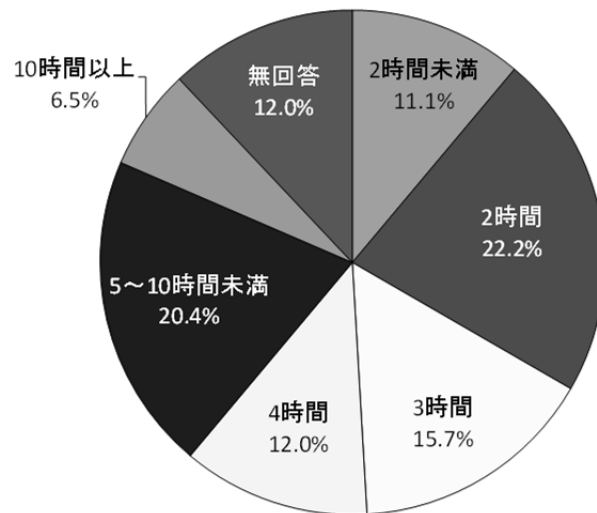
3-4 最も時間がかかったと思う業務(契約) n = 108



(5) 計画作成のための情報収集（アセスメント）

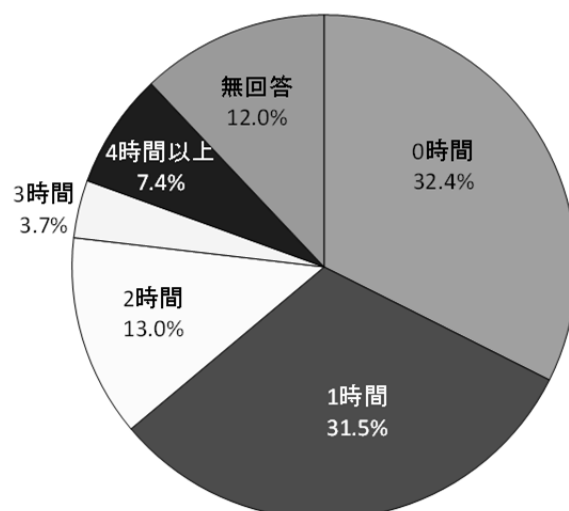
① 計画作成のための情報収集（アセスメント）に要した支援時間

4-1 計画作成のための情報収集（アセスメント）に要した支援時間  
n = 108



② 計画作成のための情報収集（アセスメント）に要した移動時間

4-2 計画作成のための情報収集（アセスメント）に要した移動時間 n = 108

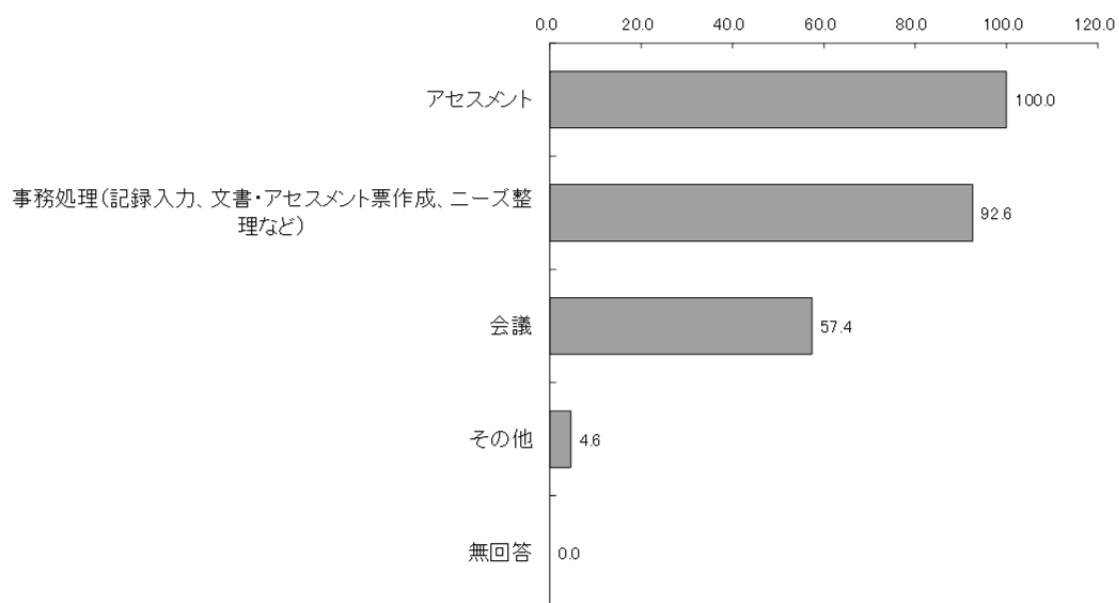




### ③計画作成のための情報収集(アセスメント)の際に行った主な業務

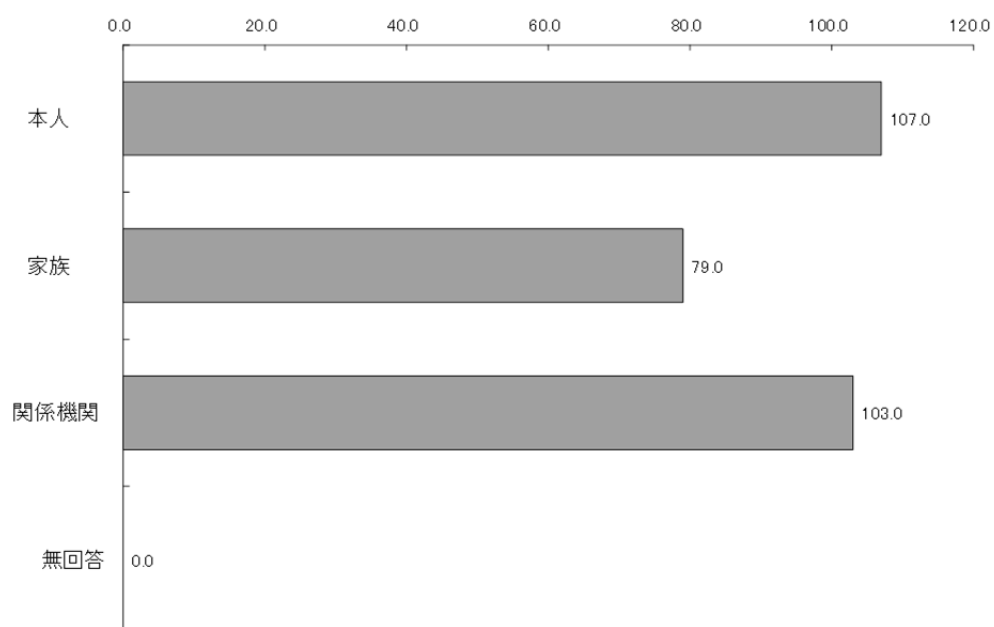
#### 4-3 計画作成のための情報収集(アセスメント)の際に行った主な業務

n = 108

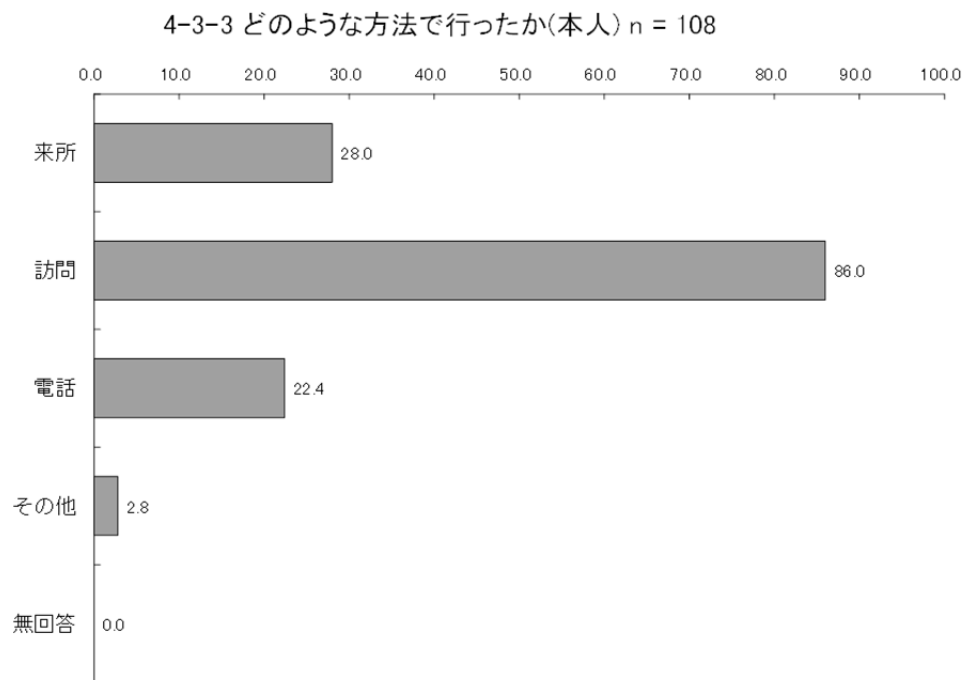


#### 1) 誰にアセスメントしたか

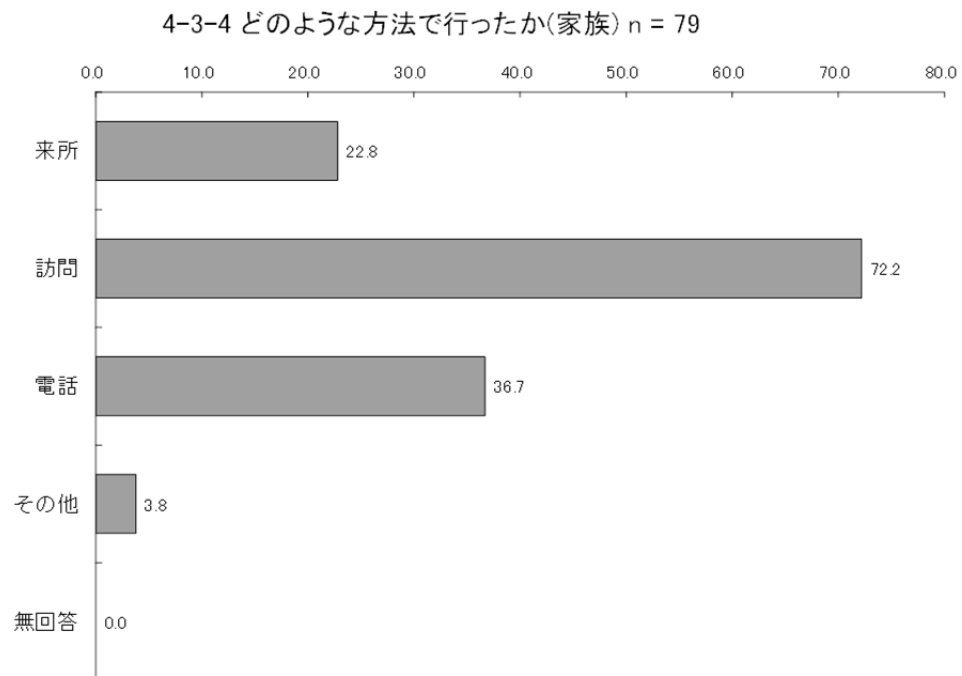
##### 4-3-2 誰にアセスメントしたか n = 108



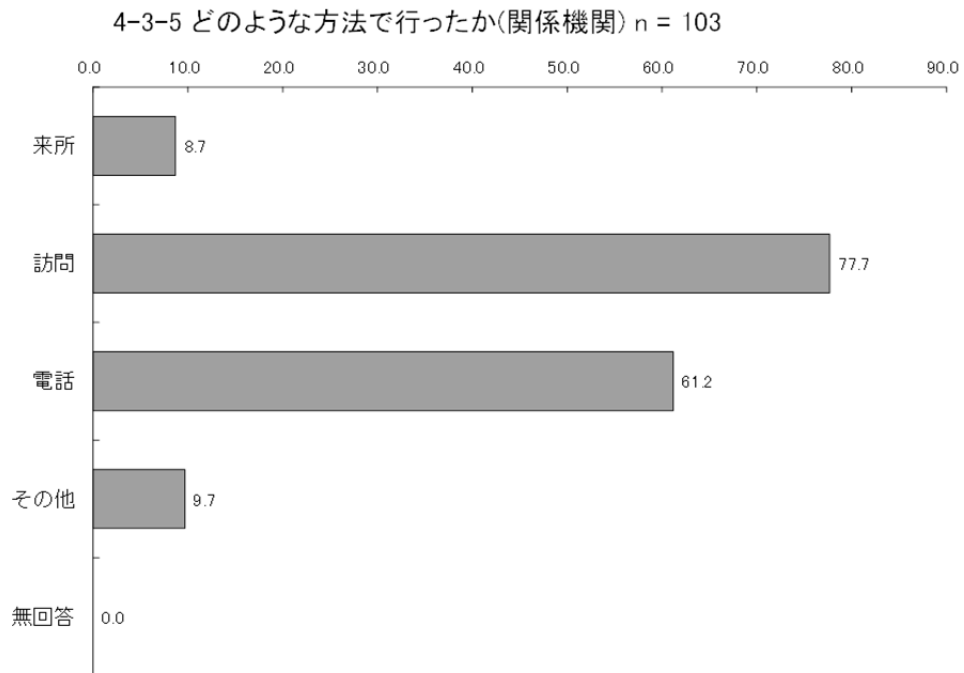
2) どのような方法で行ったか(本人)



3) どのような方法で行ったか(家族)

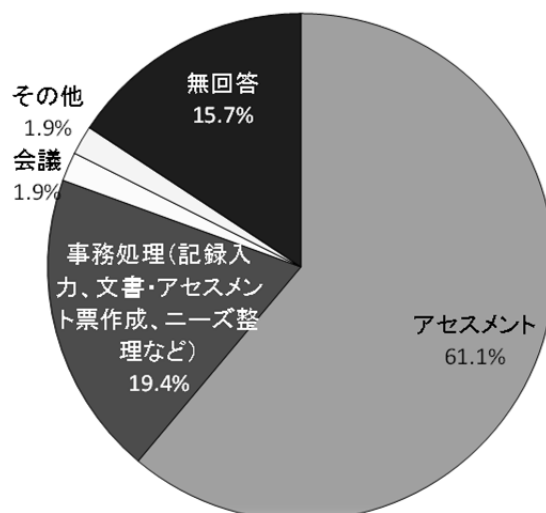


#### 4) どのような方法で行ったか(関係機関)



#### ④最も時間がかかったと思う業務(計画作成のための情報収集(アセスメント))

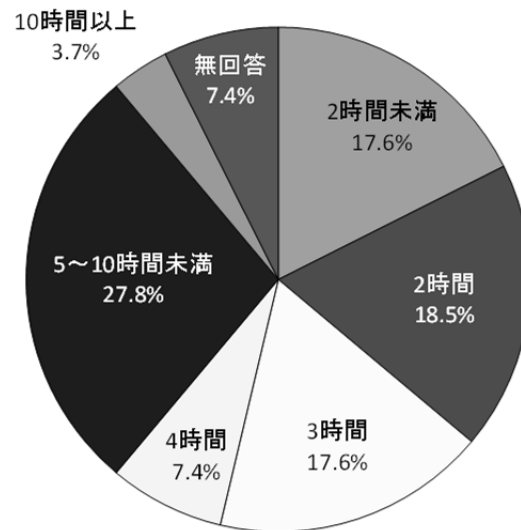
4-4 最も時間がかかったと思う業務(計画作成のための情報収集(アセスメント)) n = 108



(6) サービス等利用計画(案)

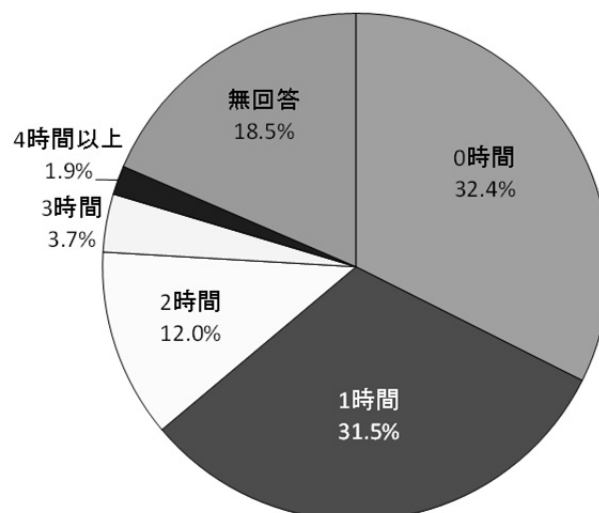
① サービス等利用計画(案)に要した支援時間

5-1 サービス等利用計画(案)に要した支援時間  
n = 108



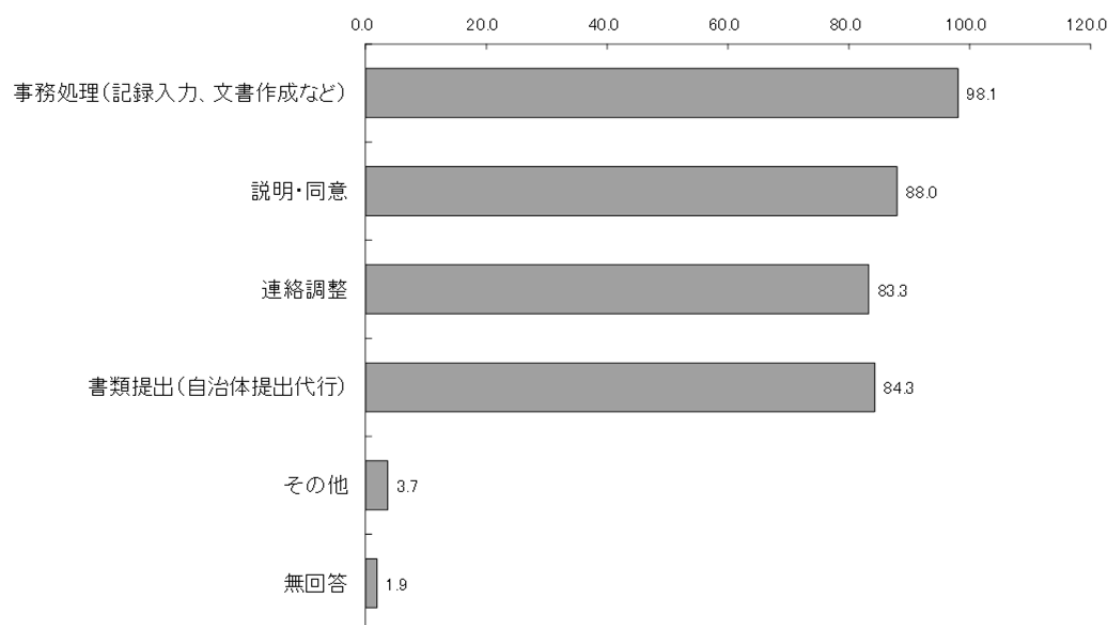
② サービス等利用計画(案)に要した移動時間

5-2 サービス等利用計画(案)に要した移動時間  
n = 108



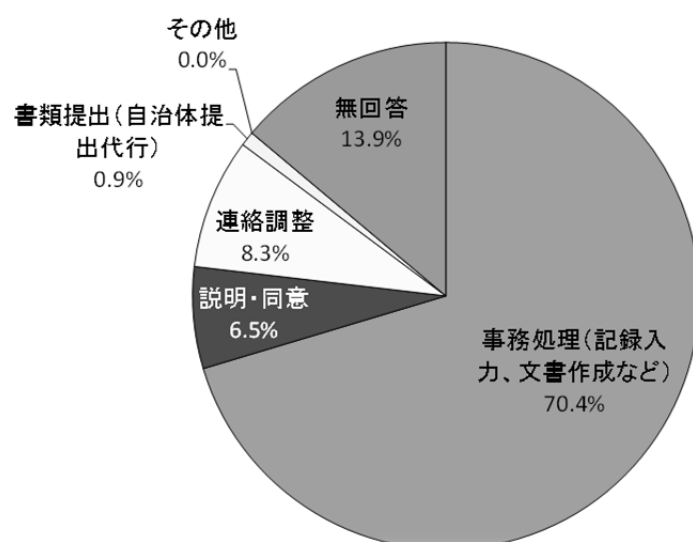
### ③サービス等利用計画(案)作成の際に行った業務

5-3 サービス等利用計画(案)作成の際に行った業務 n = 108



### ④最も時間がかかったと思う業務(サービス等利用計画(案)作成))

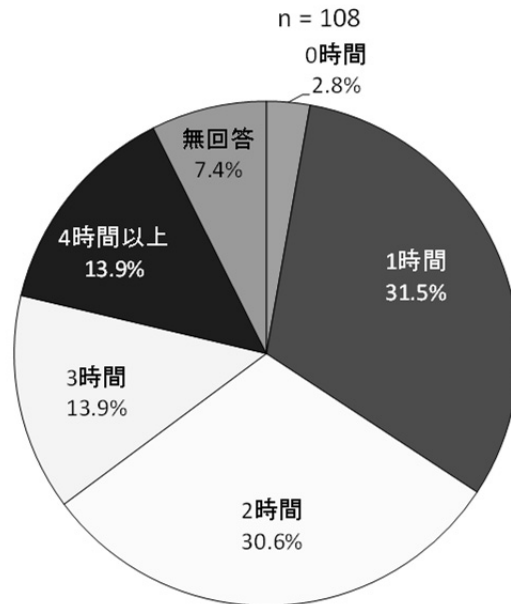
5-4 最も時間がかかったと思う業務(サービス等利用計画(案)作成))  
n = 108



(7) サービス担当者会議及び開催準備

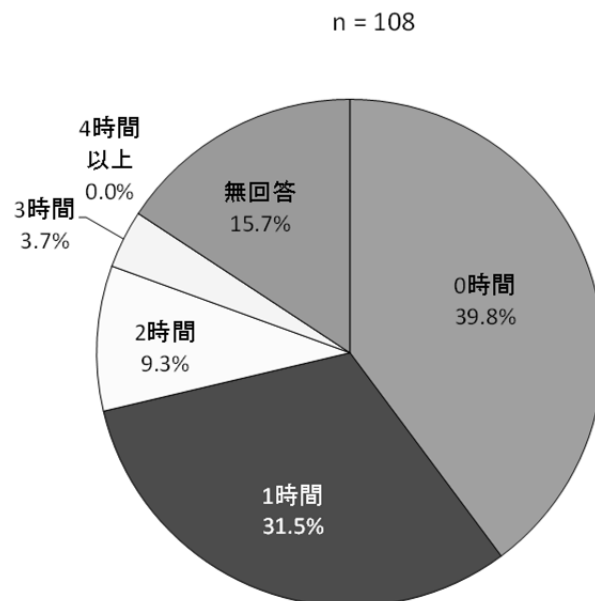
① サービス担当者会議及び開催準備に要した支援時間

6-1 サービス担当者会議及び開催準備に要した支援時間



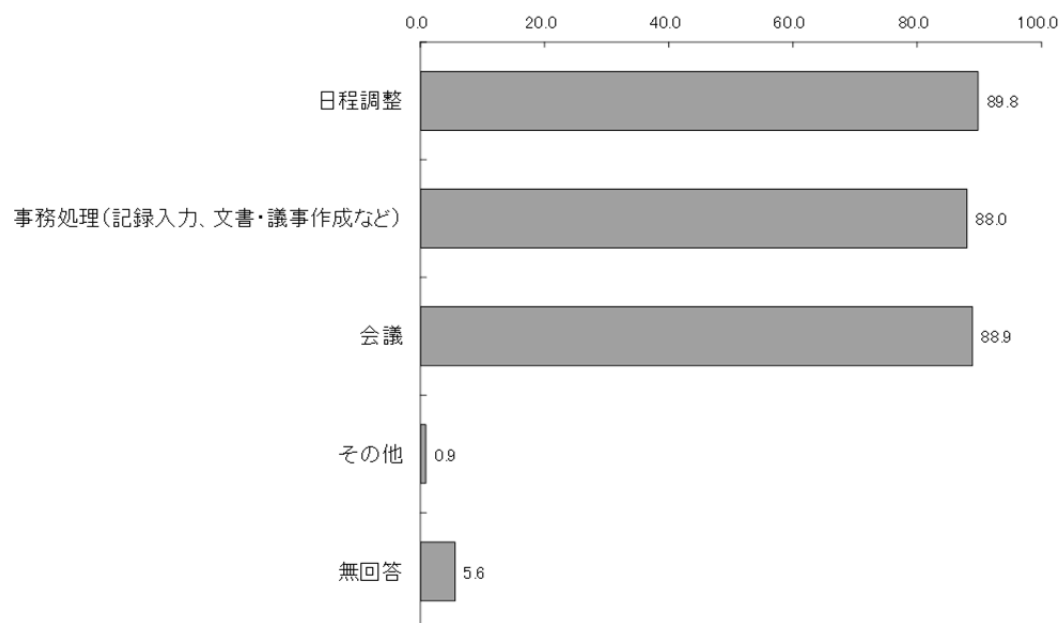
② サービス担当者会議及び開催準備に要した移動時間

6-2 サービス担当者会議及び開催準備に要した移動時間



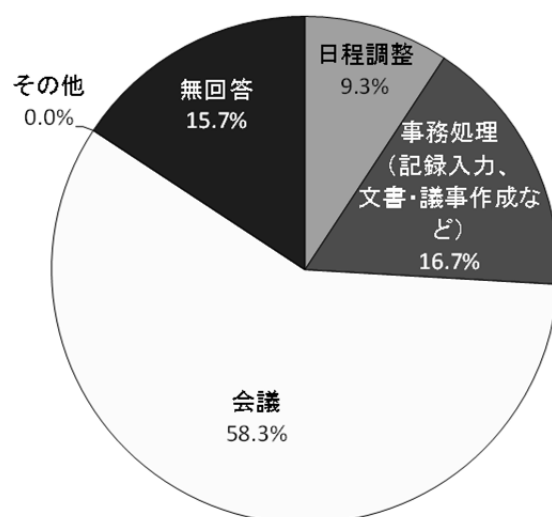
### ③サービス担当者会議及び開催準備の際に行った業務

6-3 サービス担当者会議及び開催準備の際に行った業務 n = 108



### ④最も時間がかかったと思う業務(サービス担当者会議及び開催準備)

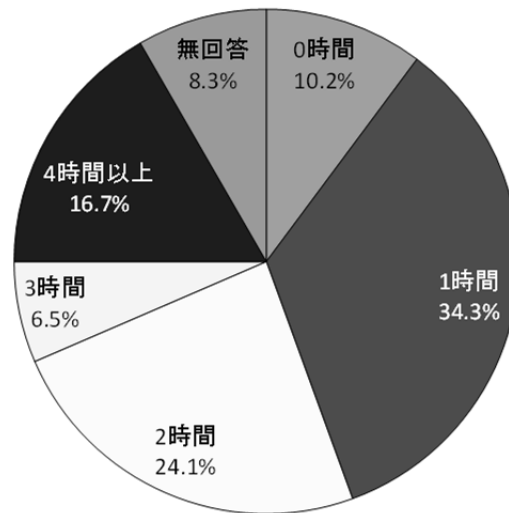
6-4 最も時間がかかったと思う業務(サービス担当者会議及び開催準備)  
n = 108



(8) サービス等利用計画作成

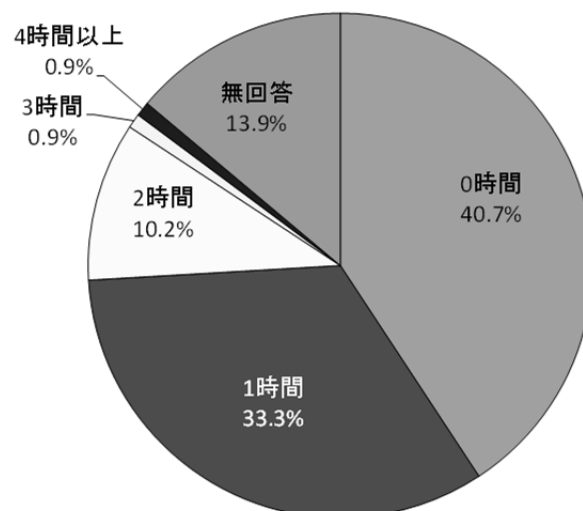
① サービス等利用計画作成に要した支援時間

7-1 サービス等利用計画作成に要した支援時間 n = 108



② サービス等利用計画作成に要した移動時間

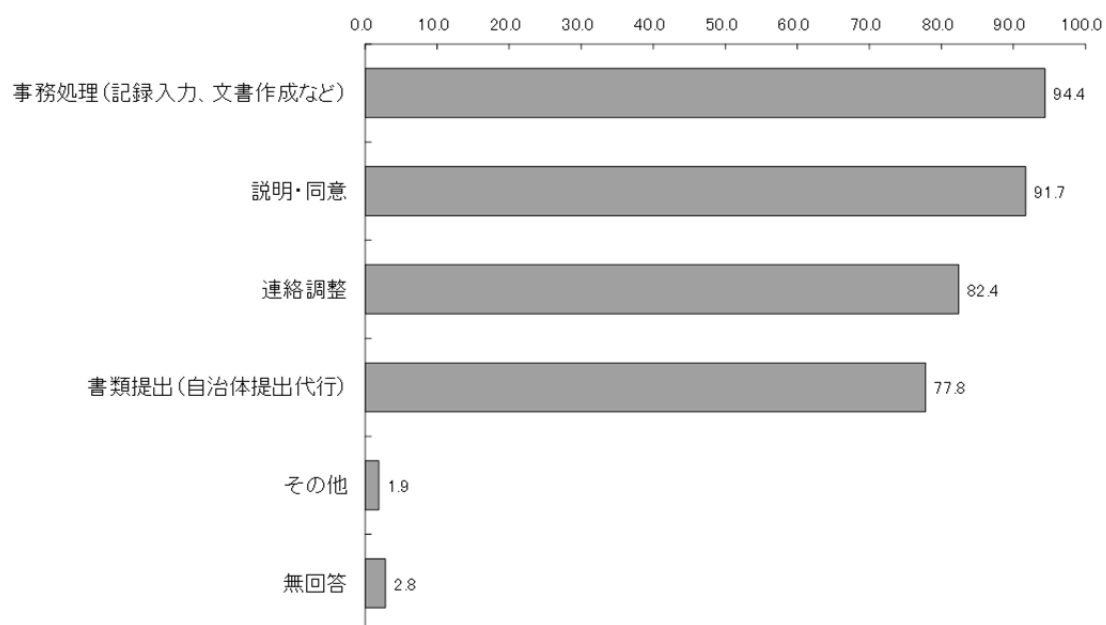
7-2 サービス等利用計画作成に要した移動時間 n = 108





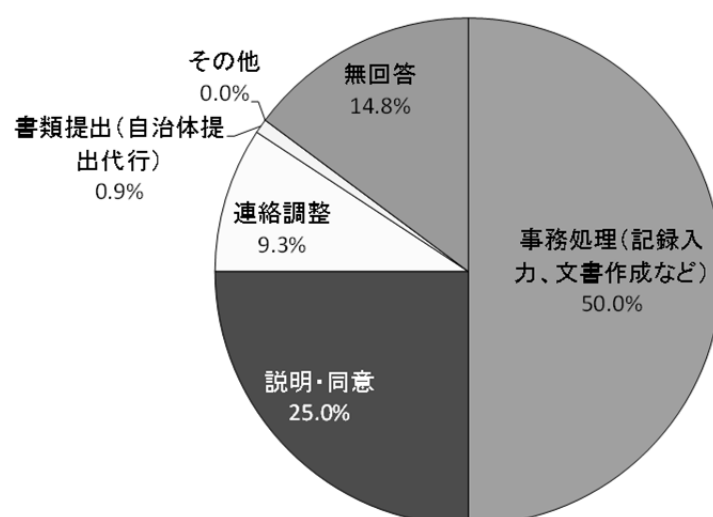
### ③サービス等利用計画作成の際に行った業務

7-3 サービス等利用計画作成の際に行った業務 n = 108



### ④最も時間がかかったと思う業務(サービス等利用計画作成)

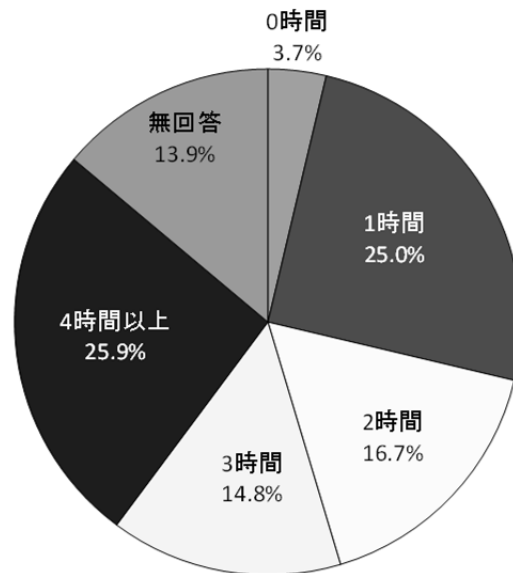
7-4 最も時間がかかったと思う業務(サービス等利用計画作成) n = 108



(9) 継続サービス利用支援(モニタリング)

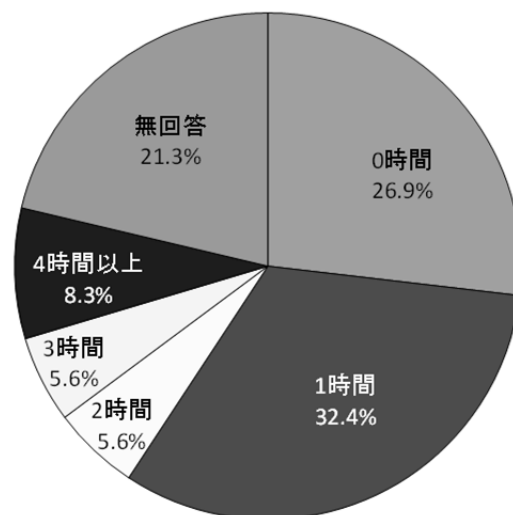
①継続サービス利用支援(モニタリング)に要した支援時間

8-1 継続サービス利用支援(モニタリング)に要した支援時間 n = 108



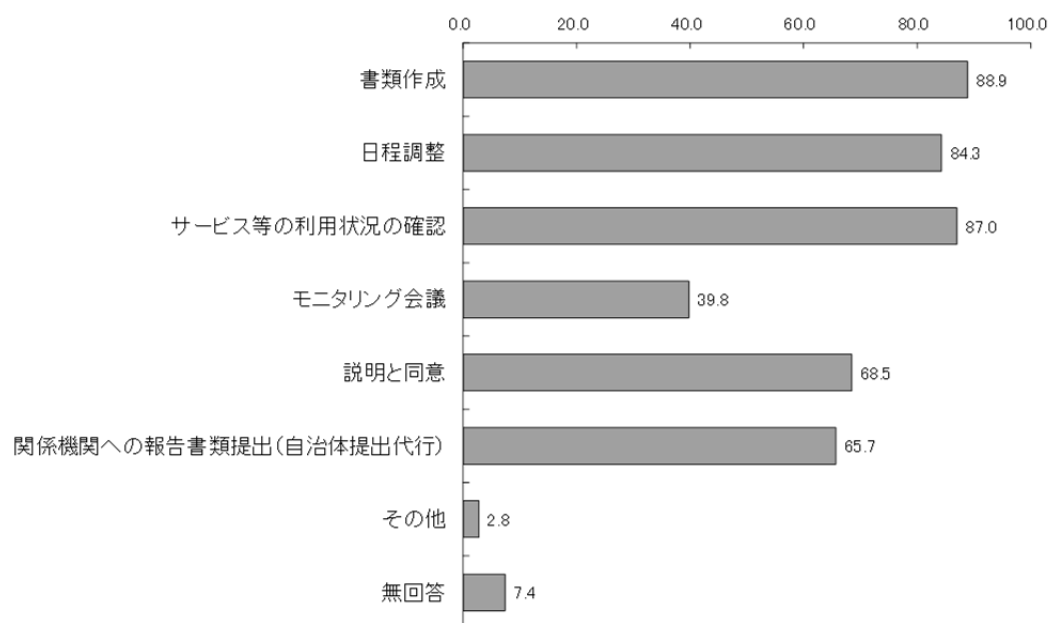
②継続サービス利用支援(モニタリング)に要した移動時間

8-2 継続サービス利用支援(モニタリング)に要した移動時間 n = 108



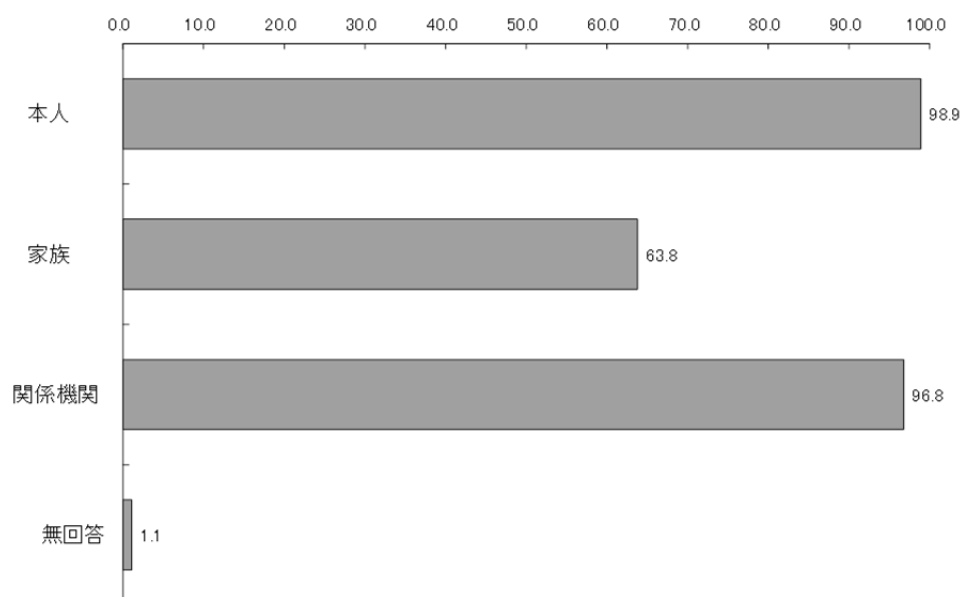
### ③継続サービス利用支援(モニタリング)の際に行った業務

8-3 継続サービス利用支援(モニタリング)の際に行った業務 n = 108

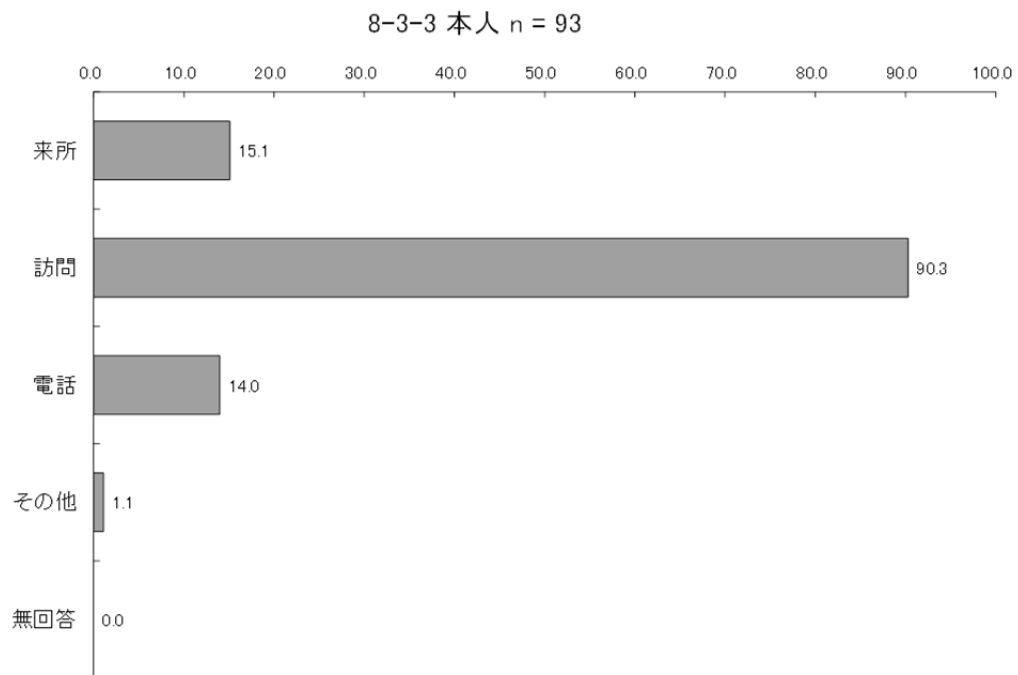


#### 1) サービス等の利用状況の確認

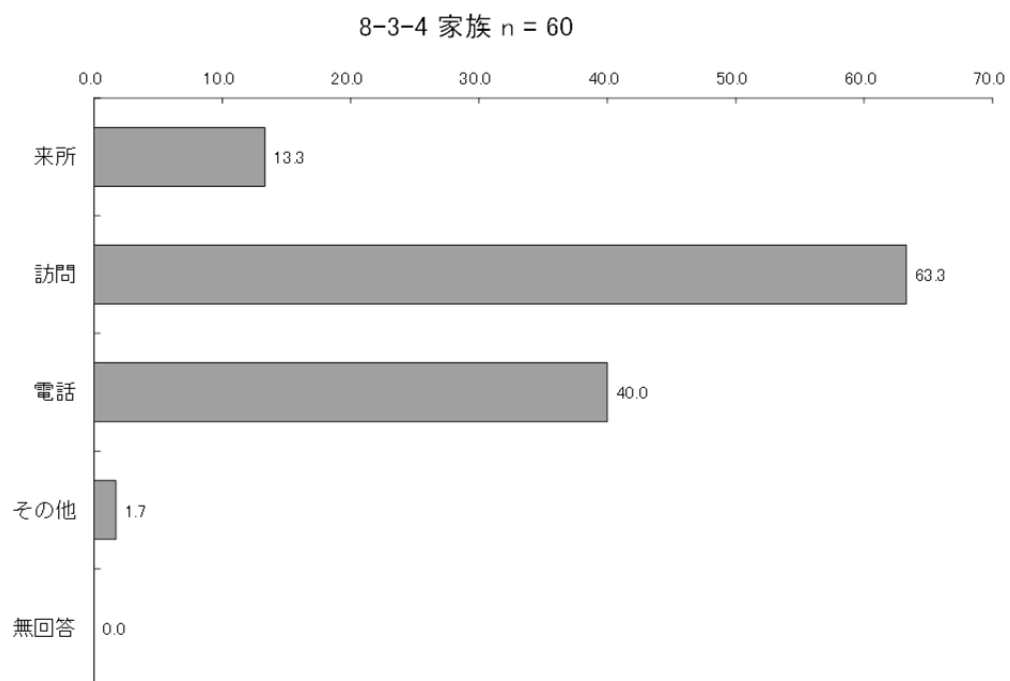
8-3-2 サービス等の利用状況の確認 n = 94



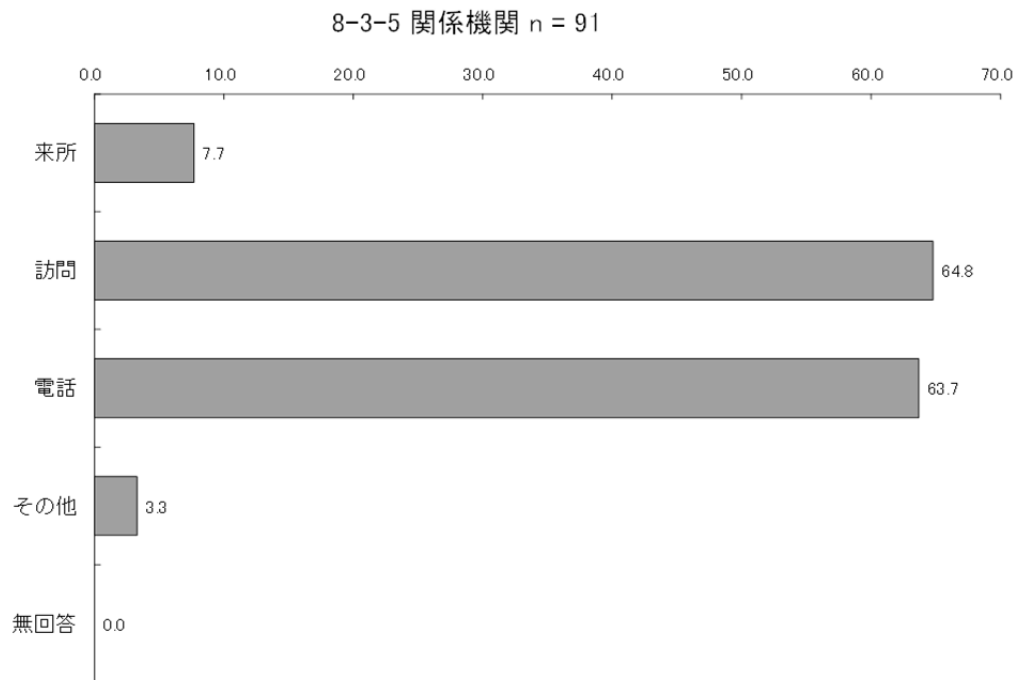
## 2) 本人



## 3) 家族

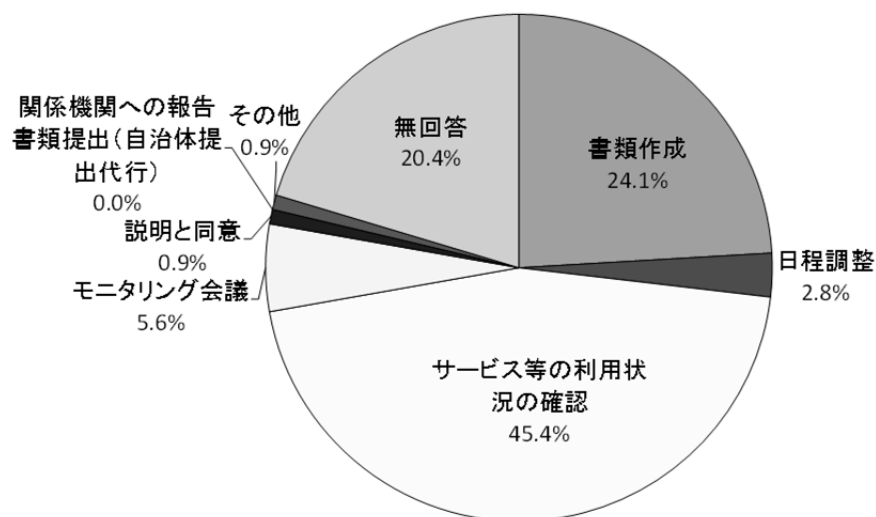


#### 4) 関係機関



#### ④最も時間がかかったと思う業務(継続サービス利用支援(モニタリング))

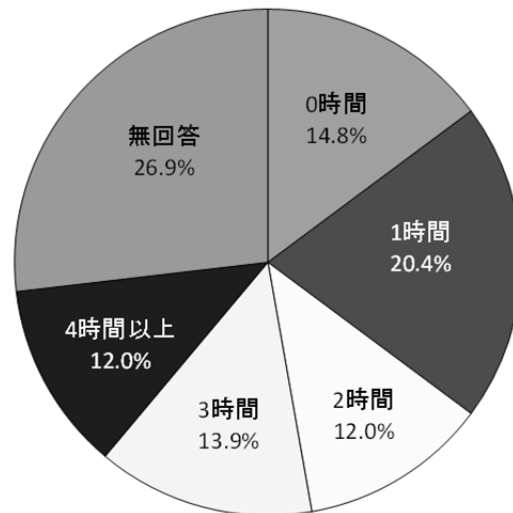
8-4 最も時間がかかったと思う業務(継続サービス利用支援(モニタリング))  
n = 108



(10) その他 計画相談

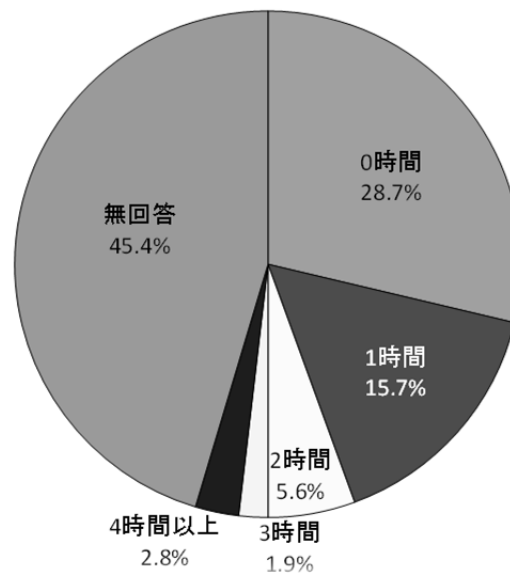
①その他計画相談に関する業務に要した支援時間

9-1 その他計画相談に関する業務に要した支援時間 n = 108

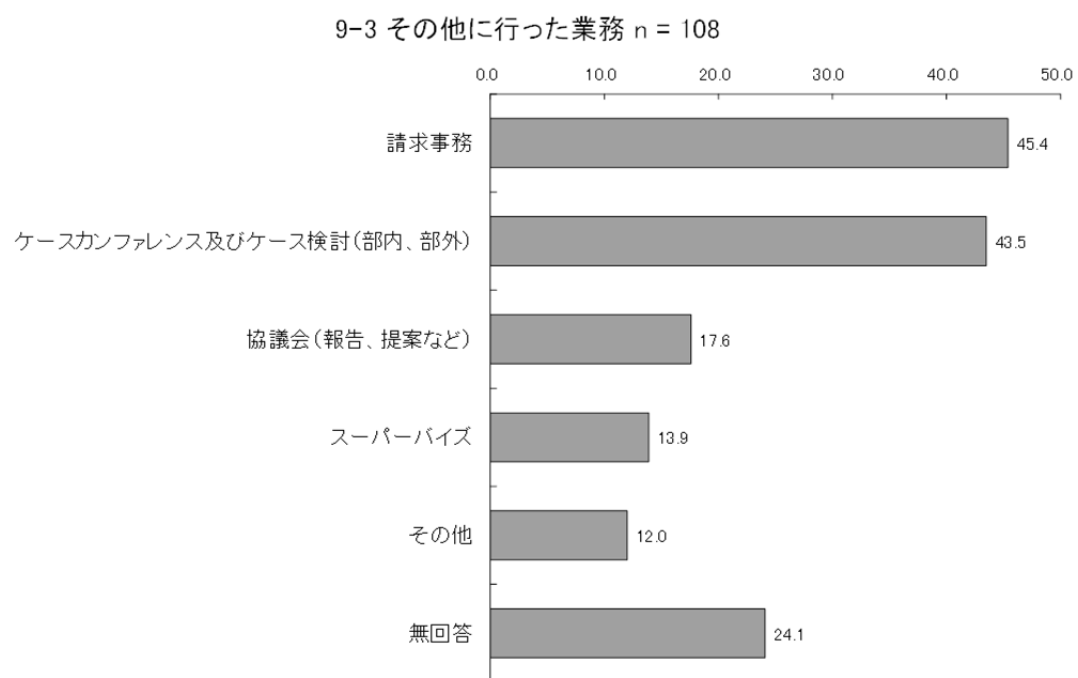


②その他計画相談に関する業務に要した移動時間

9-2 その他計画相談に関する業務に要した移動時間 n = 108



### ③その他に行った業務

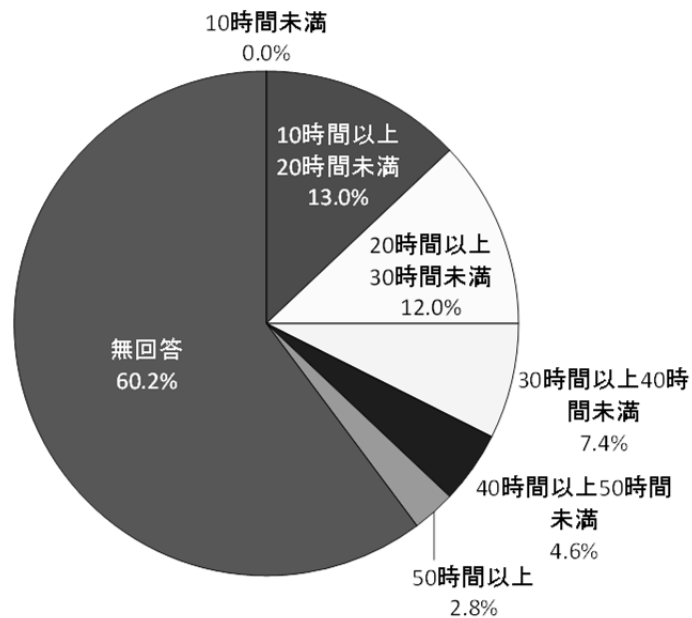


( 1 1 ) 総時間 “無回答”を全排除

①計画相談支援にかかった総時間 ※”無回答”を全排除

(( 3 ) ～ ( 1 0 ) の業務のいずれかが無回答であったサンプルをすべて無回答とした集計)

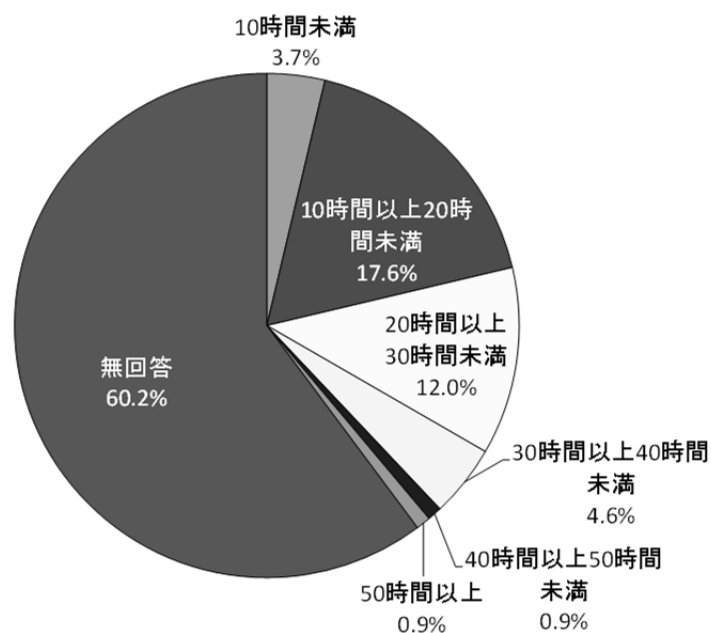
計画相談支援にかかった総時間 n = 108 ※“無回答”を全排除



②計画相談支援に際して実際に支援を行った時間 ※”無回答”を全排除

(( 3 ) ～ ( 1 0 ) の業務のいずれかが無回答であったサンプルをすべて無回答とした集計)

計画相談支援に際して実際に支援を行った時間 n = 108 ※“無回答”を全排除

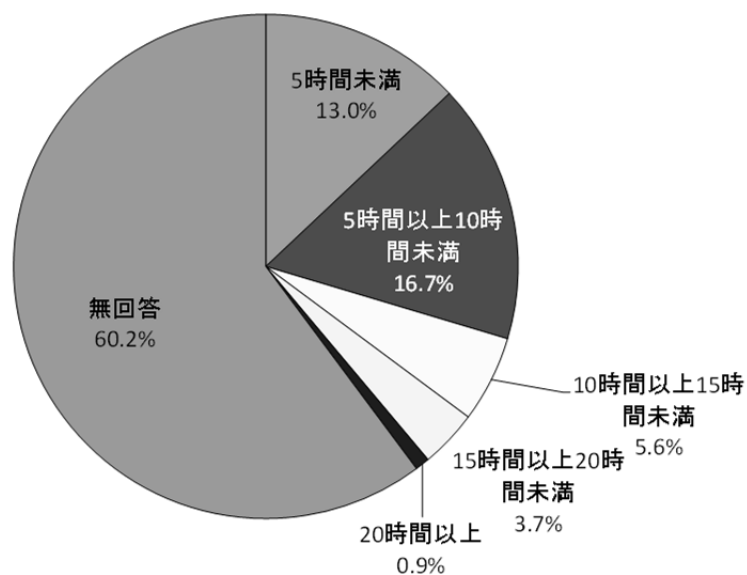




③計画相談支援に際してかかった移動時間 ※”無回答”を全排除

((3)～(10)の業務のいずれかが無回答であったサンプルをすべて無回答とした集計)

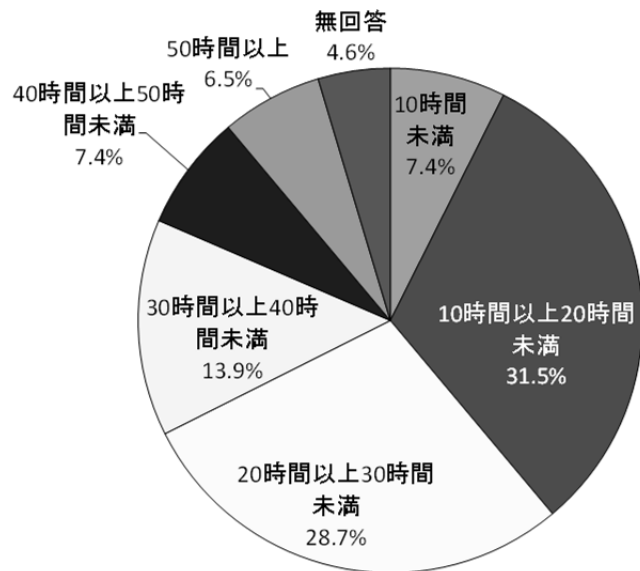
計画相談支援に際してかかった移動時間 n = 108 ※“無回答”を全排除



(12) 総時間 排除なし

①計画相談支援にかかった総時間 ※排除なし (回答された全データを対象とした集計)

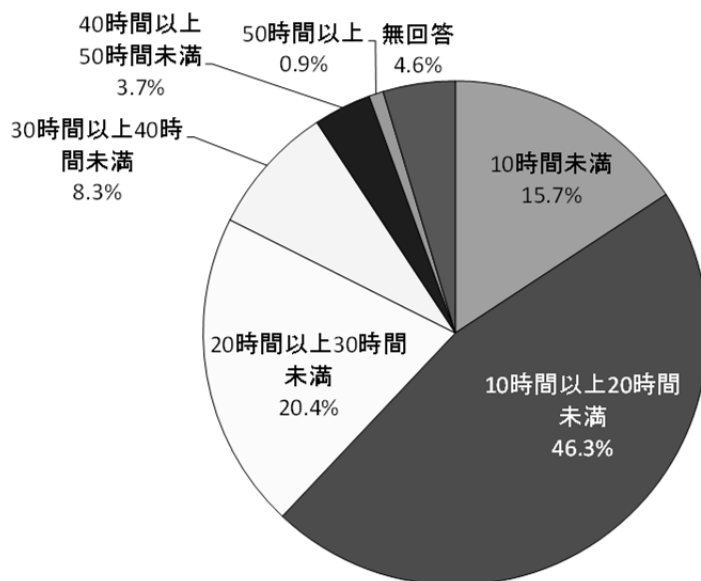
計画相談支援にかかった総時間 n = 108 ※排除なし



②計画相談支援に際して実際に支援を行った時間 ※排除なし

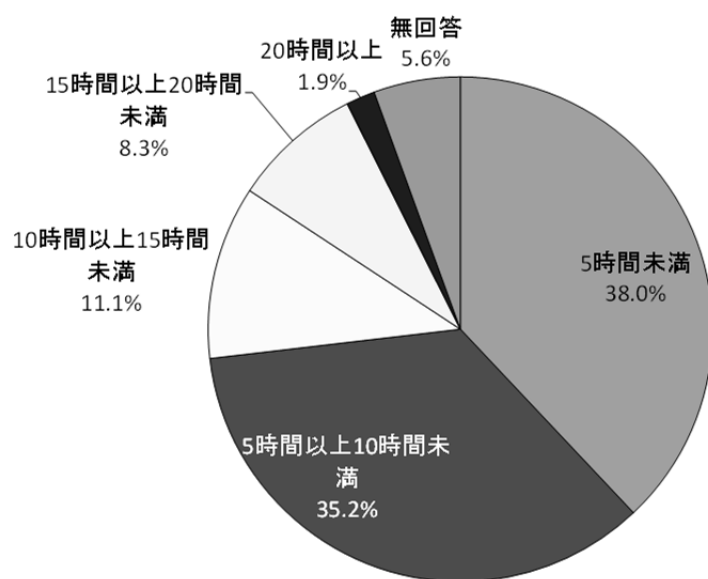
(回答された全データを対象とした集計)

計画相談支援に際して実際に支援を行った時間 n = 108 ※排除なし



③計画相談支援に際してかかった移動時間 ※排除なし（回答された全データを対象とした集計）

計画相談支援に際してかかった移動時間 n = 108 ※排除なし

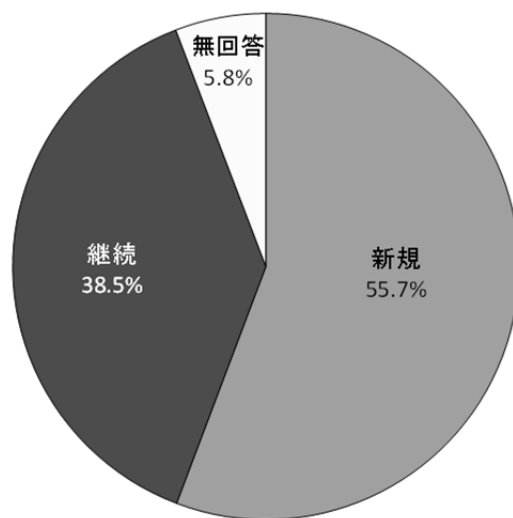


#### 4. 個別事例【地域移行支援】に関する調査結果

##### (1) 支援した事例の新規・継続

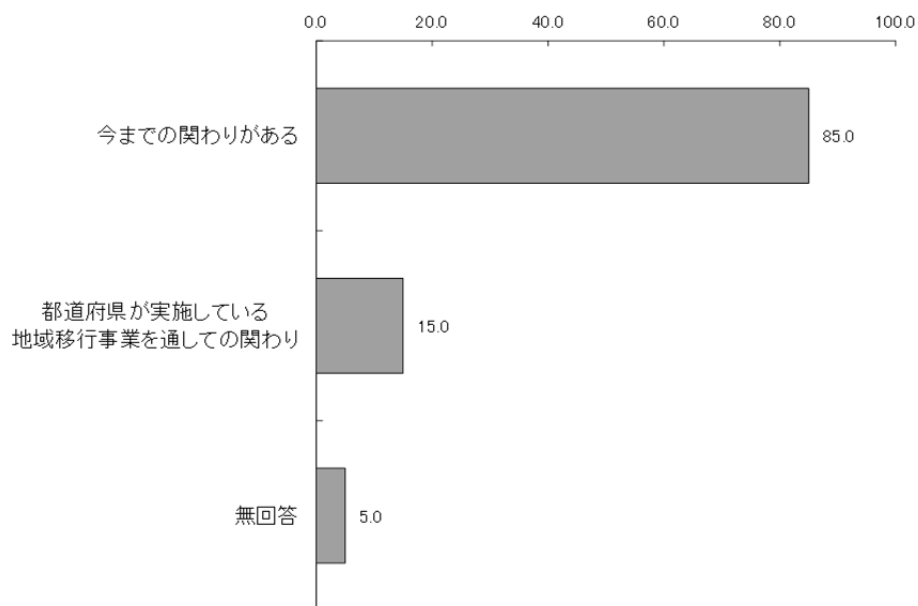
###### ① 支援した事例は新規か継続か

0-1 支援した事例は新規か継続か  
n = 52

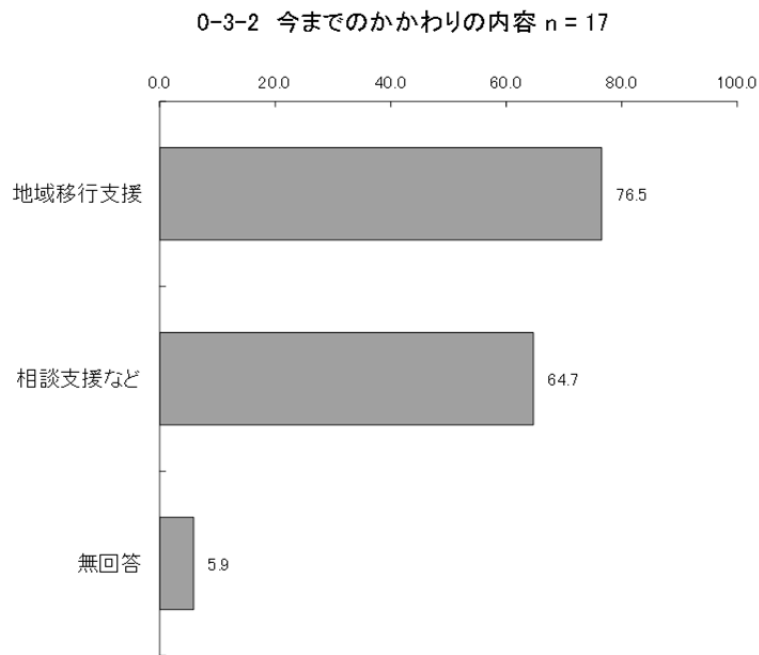


###### ② 継続

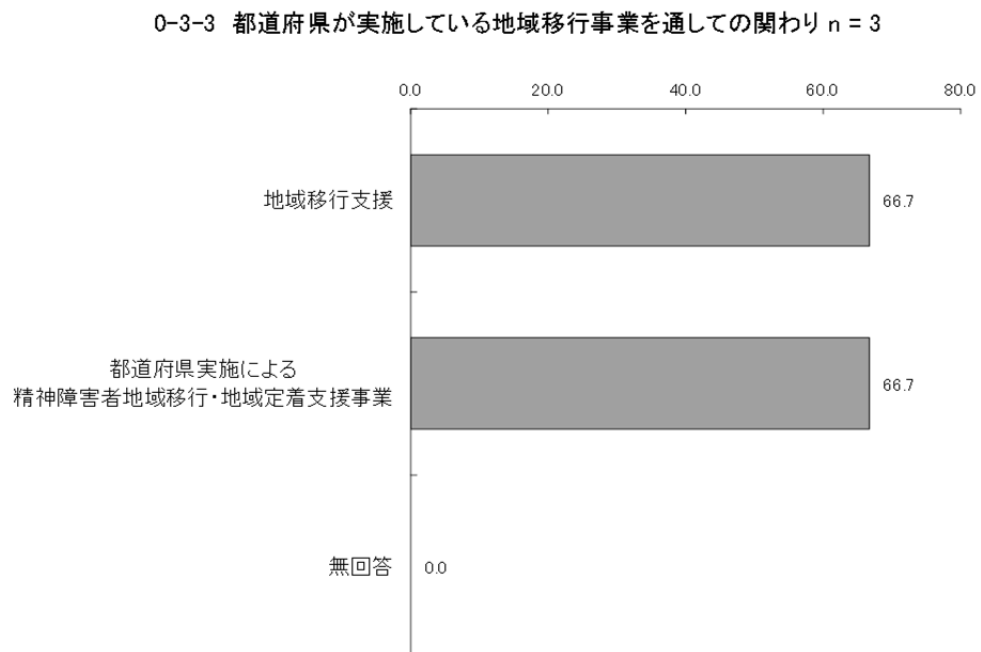
0-3-1 継続 n = 20



1) 今までのかかわりの内容

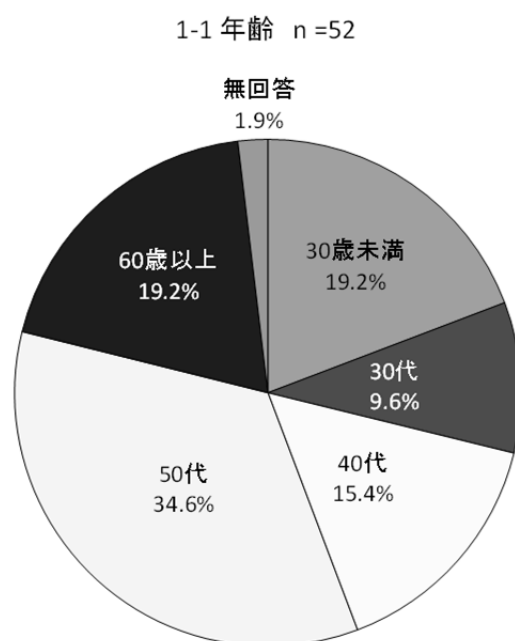


2) 都道府県が実施している地域移行事業を通しての関わり

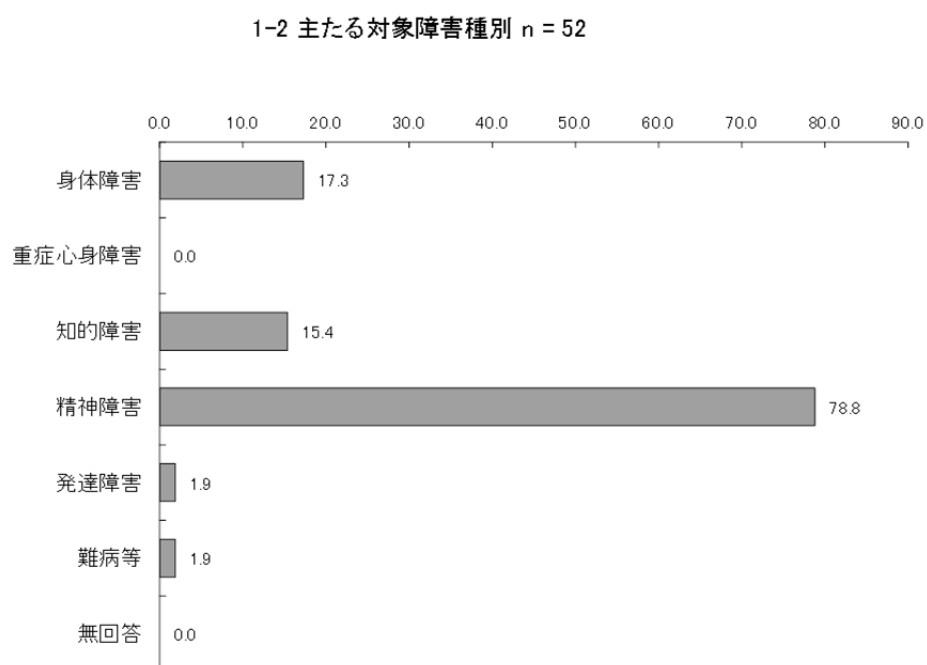


## (2) 対象者の基本属性

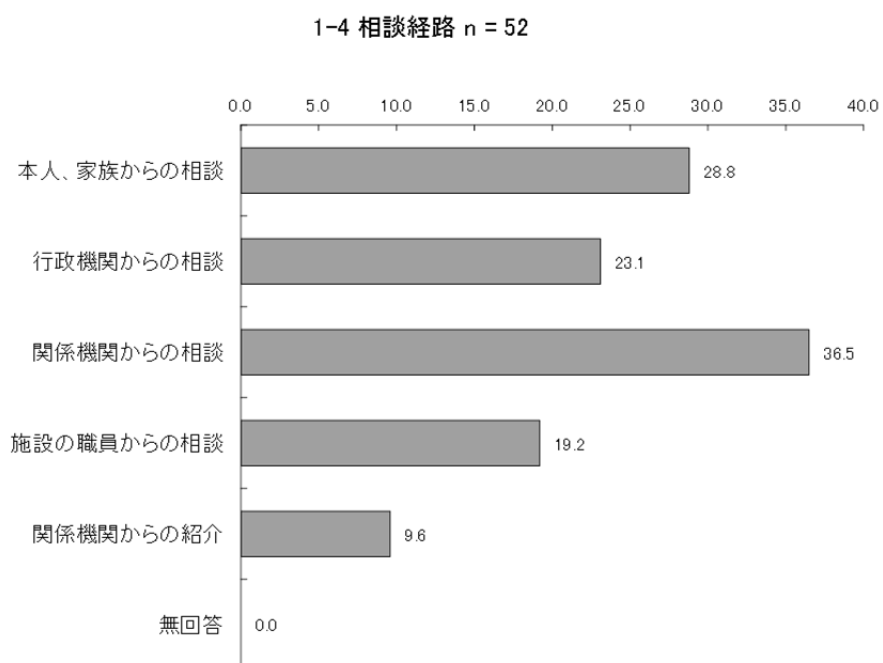
### ①年齢



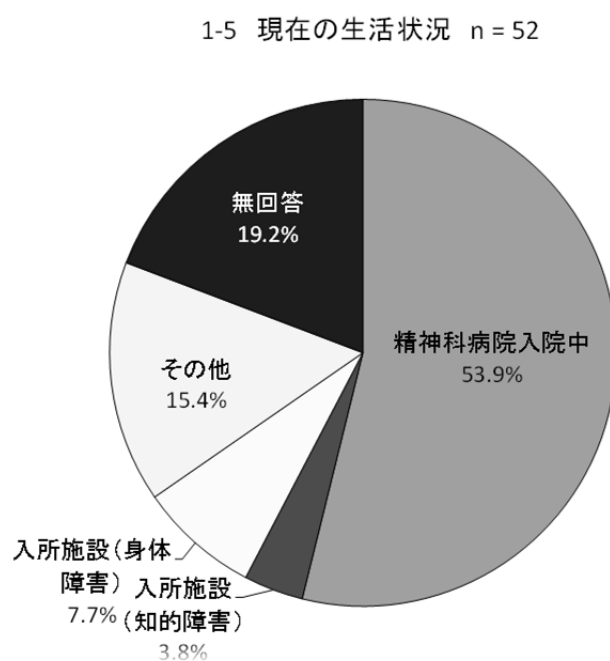
### ②主たる対象障害種別



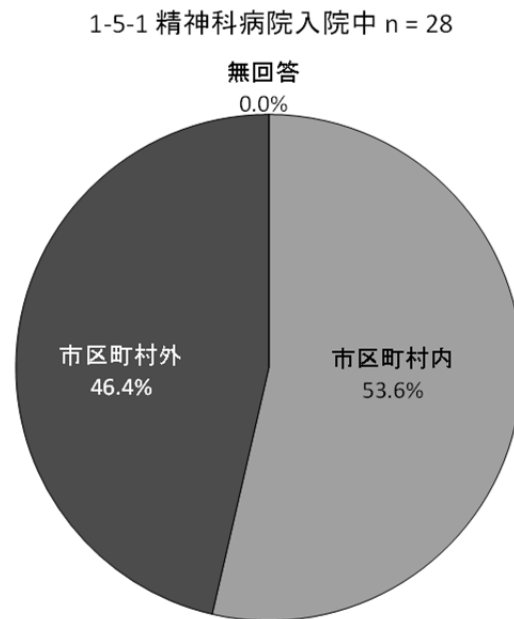
### ③相談経路



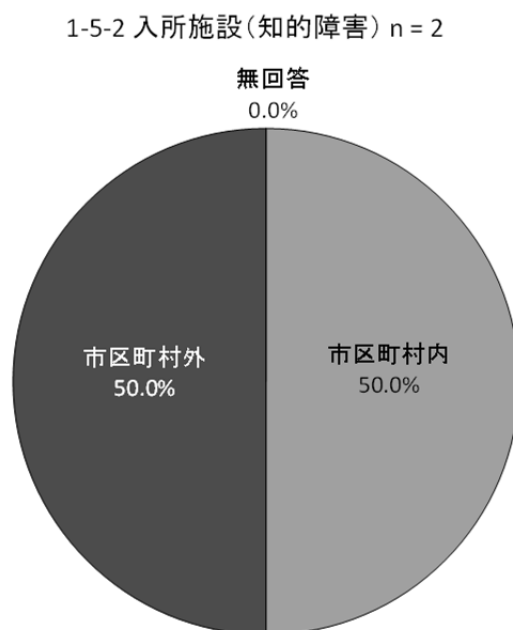
### ④現在の生活状況



1) 精神科病院入院中



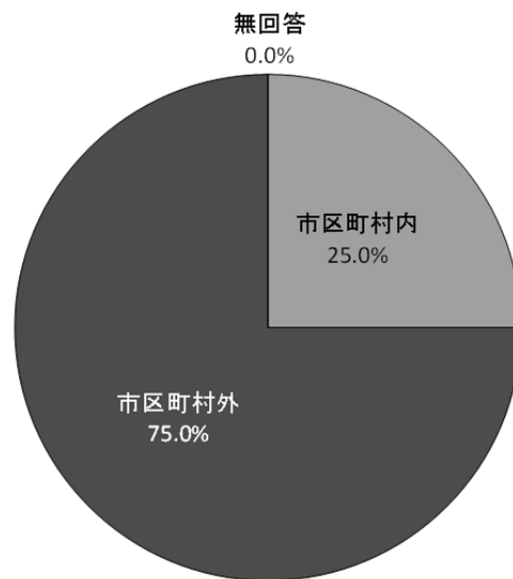
2) 入所施設 (知的障害)





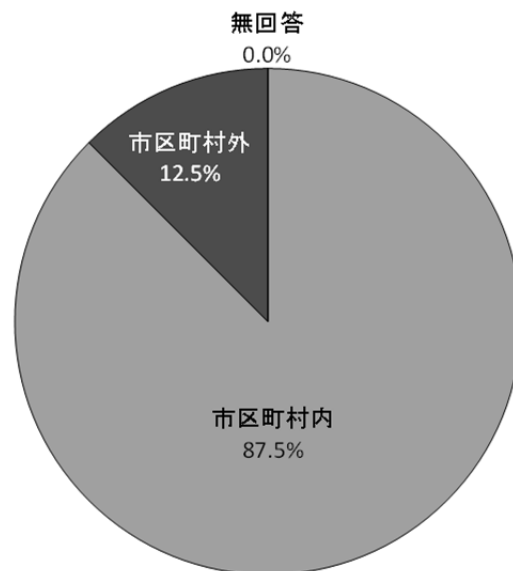
3) 入所施設 (身体障害)

1-5-3 入所施設 (身体障害) n = 4



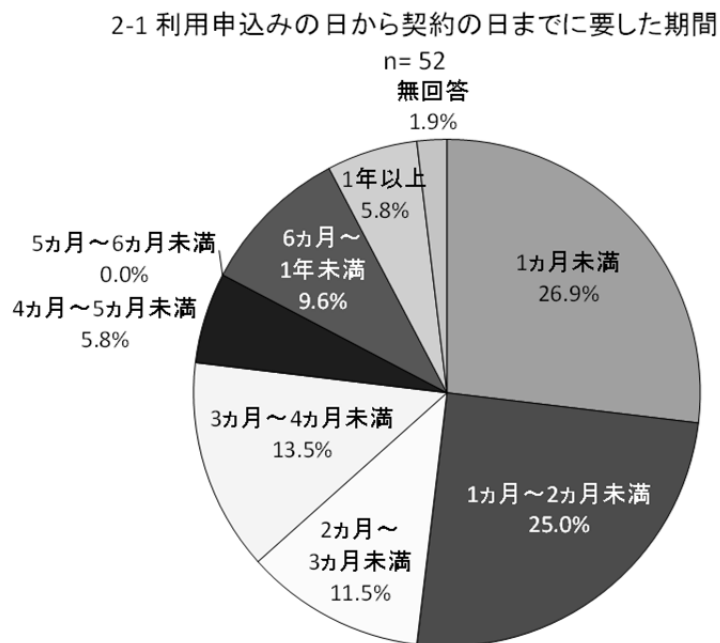
4) その他

1-5-4 その他 n = 8

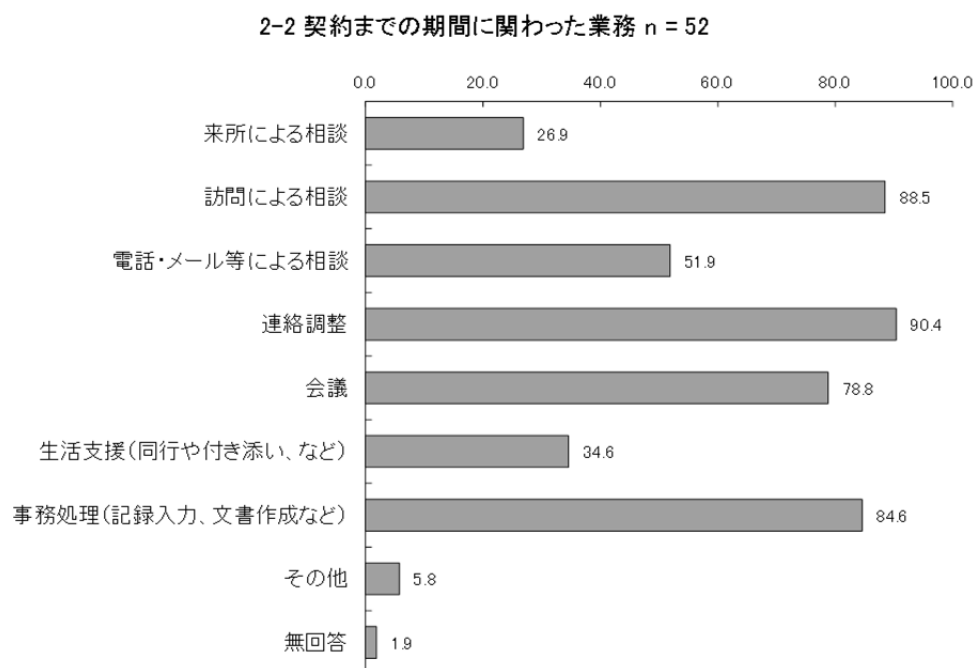


### (3) 契約の前段階

#### ①利用申込みの日から契約の日までに要した期間

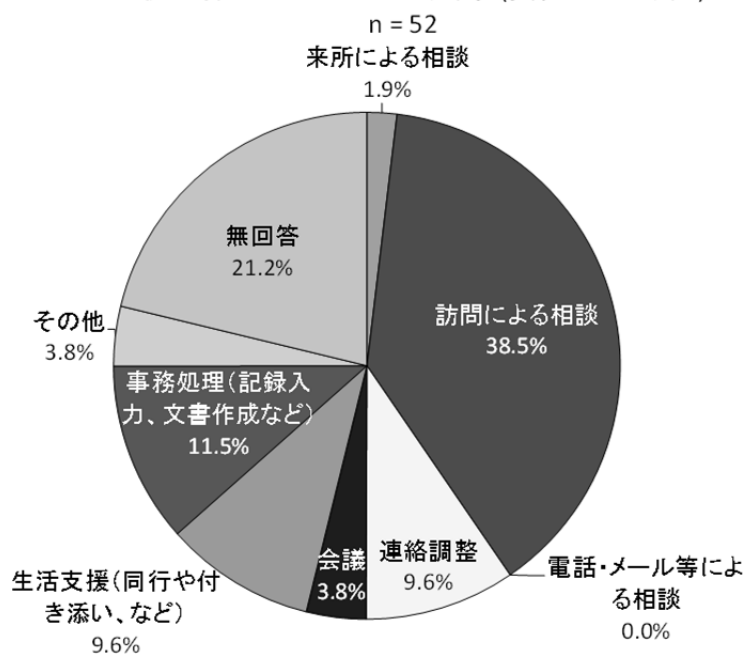


#### ②契約までの期間に関わった業務



### ③最も時間がかかったと思う業務(契約までの期間)

2-3 最も時間がかかったと思う業務(契約までの期間)

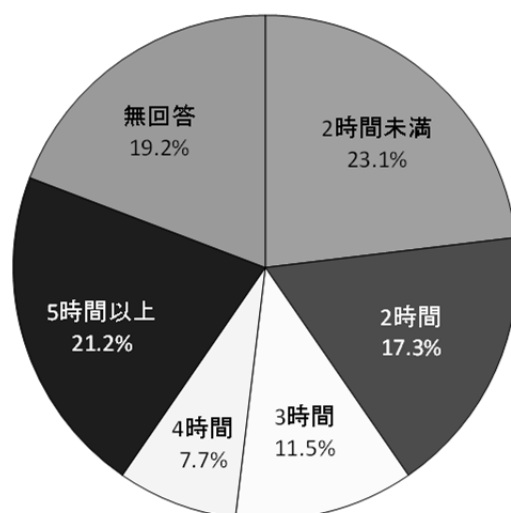


### (4) 契約

#### ①契約に関して要した支援時間

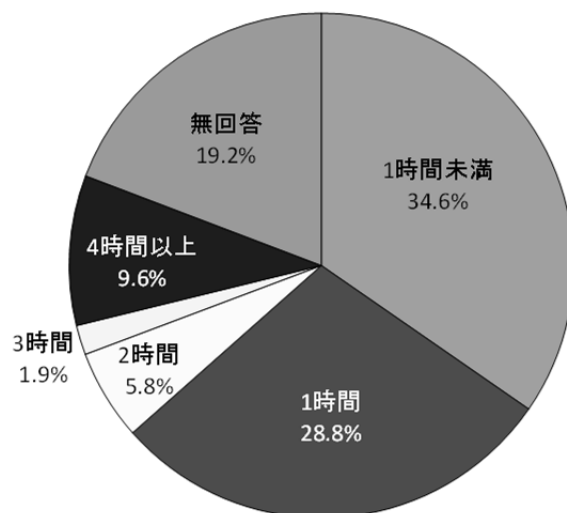
3-1 契約に関して要した支援時間

n = 52



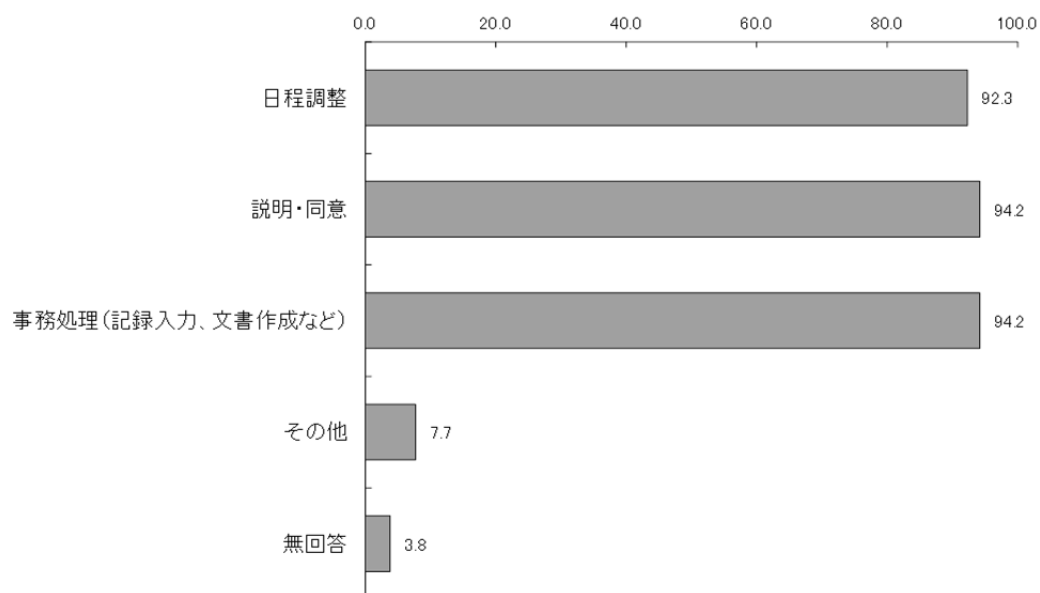
## ②契約に関して要した移動時間

3-2 契約に関して要した移動時間  
n = 52



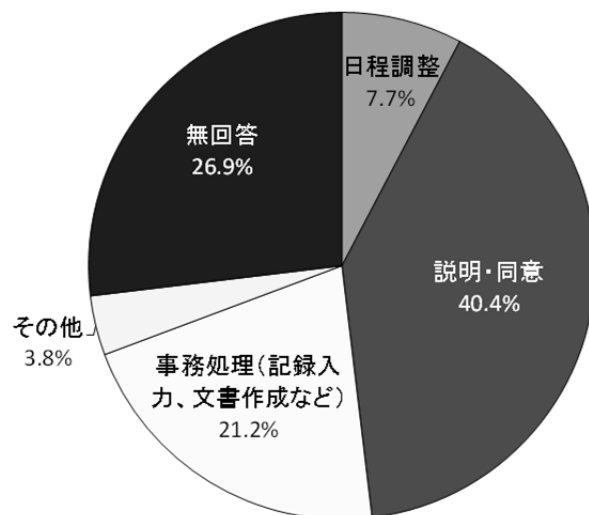
## ③契約に関して行った業務

3-3 契約に関して行った業務 n = 52



④最も時間がかかったと思う業務(契約に関して行った業務)

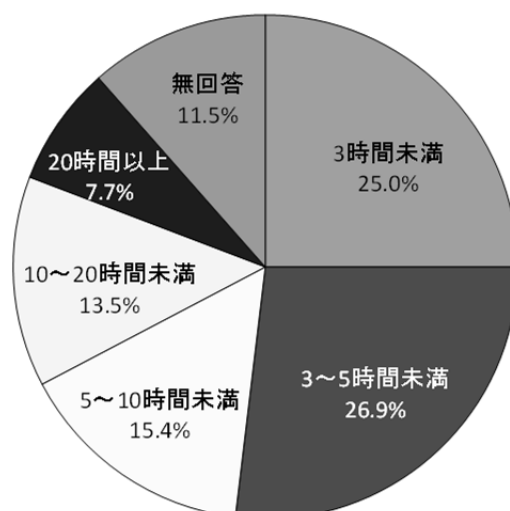
3-4 最も時間がかかったと思う業務(契約に関して行った業務)  
n = 52



(5) 地域移行支援計画作成のための情報収集 (アセスメント)

①地域移行支援計画作成のための情報収集(アセスメント)に要した支援時間

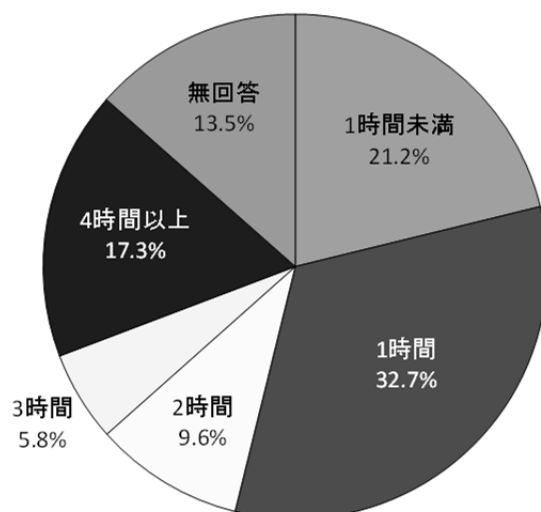
4-1 地域移行支援計画作成のための  
情報収集(アセスメント)に要した支援時間  
n = 52



②地域移行支援計画作成のための情報収集(アセスメント)に要した移動時間

4-2 地域移行支援計画作成のための  
情報収集(アセスメント)に要した移動時間

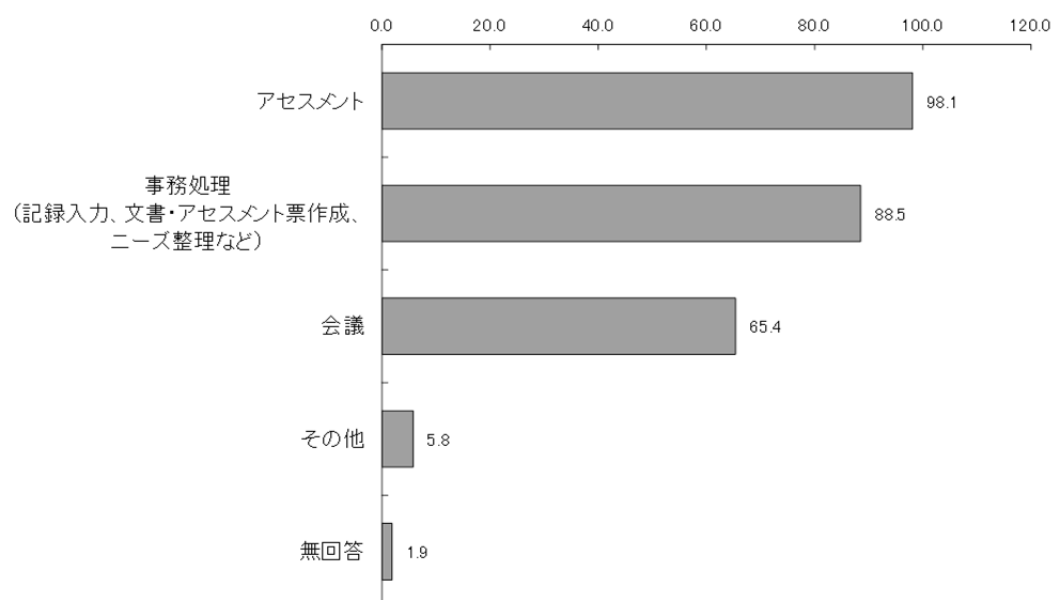
n = 52



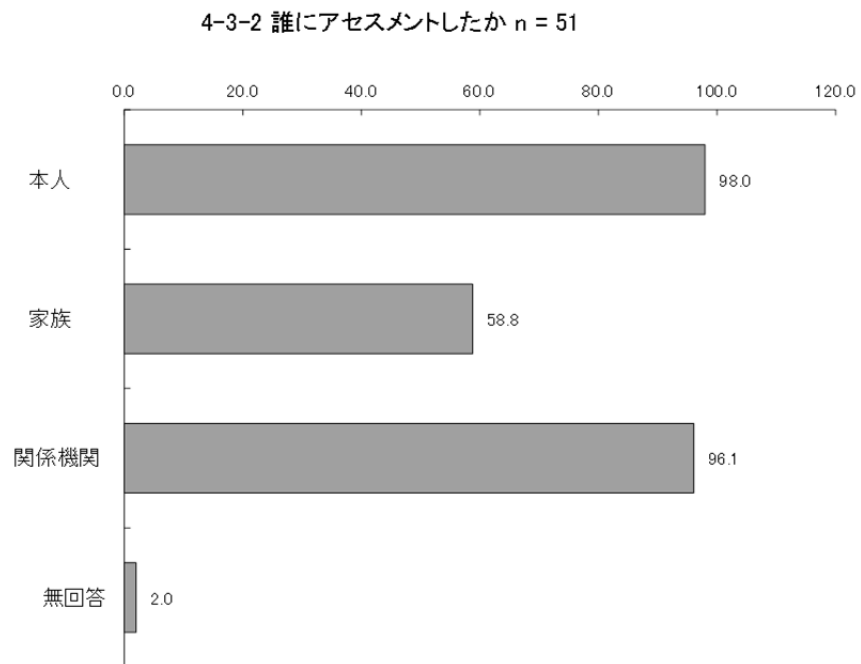
③地域移行支援計画作成のための情報収集(アセスメント)の際に行った業務

4-3 地域移行支援計画作成のための情報収集(アセスメント)の際に行った業務

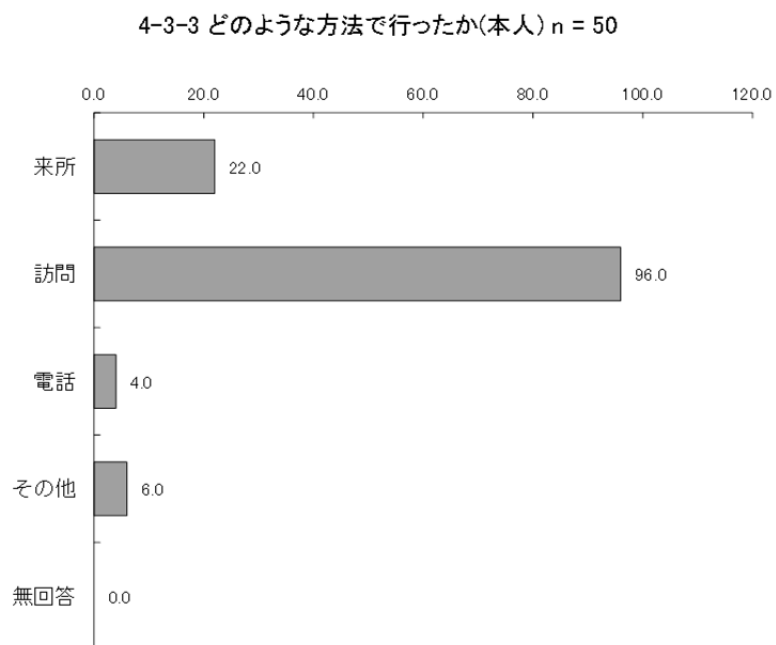
n = 52



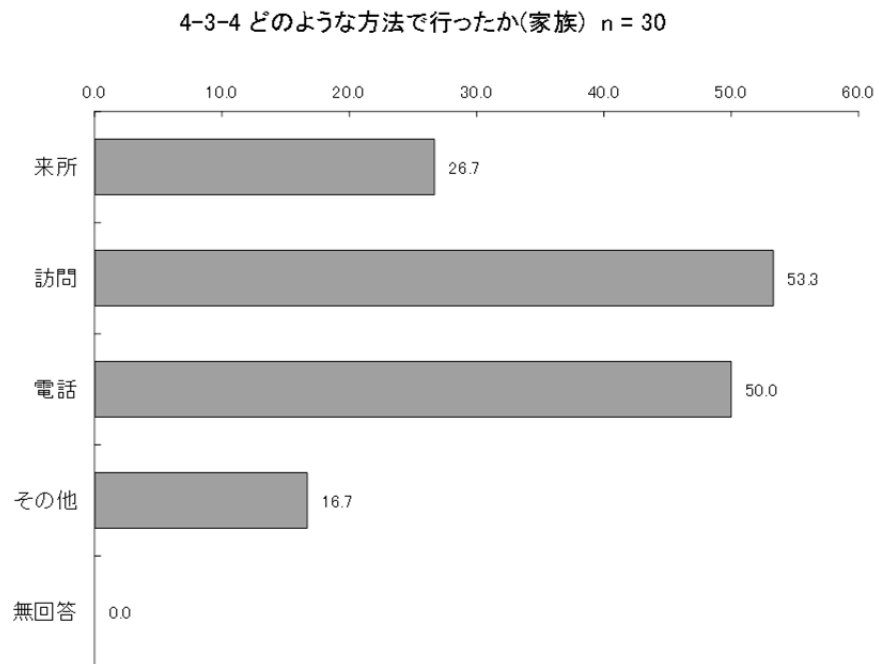
1) 誰にアセスメントしたか



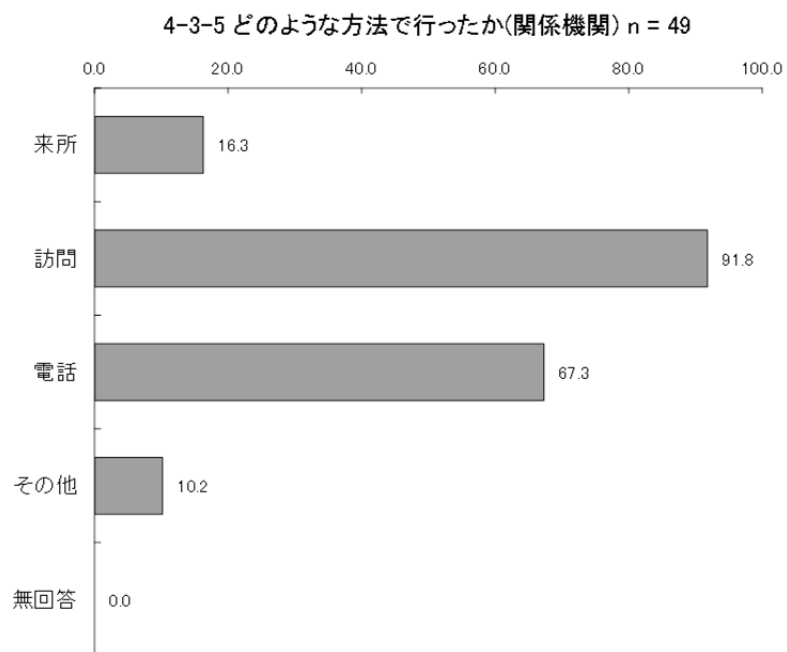
2) どのような方法で行ったか(本人)



3) どのような方法で行ったか(家族)



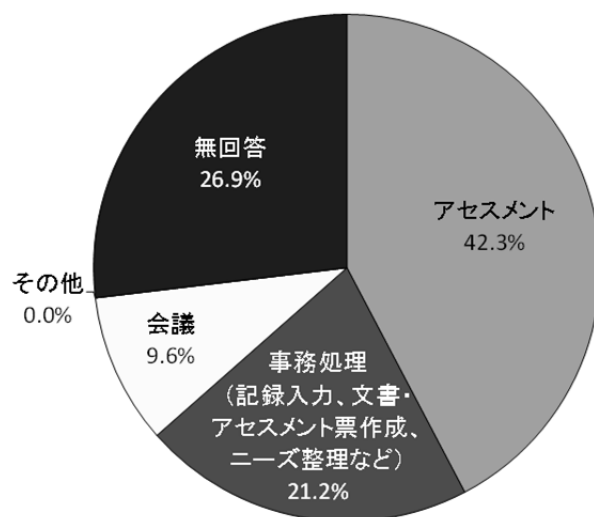
4) どのような方法で行ったか(関係機関)





④最も時間がかかったと思う業務(アセスメント)

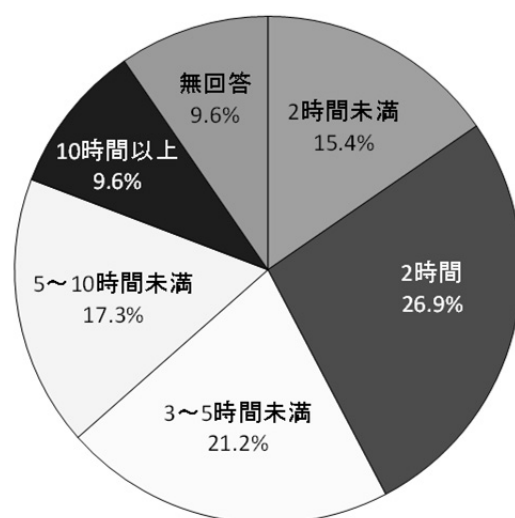
4-4 最も時間がかかったと思う業務(アセスメント)  
n = 52



(6) 地域移行支援計画

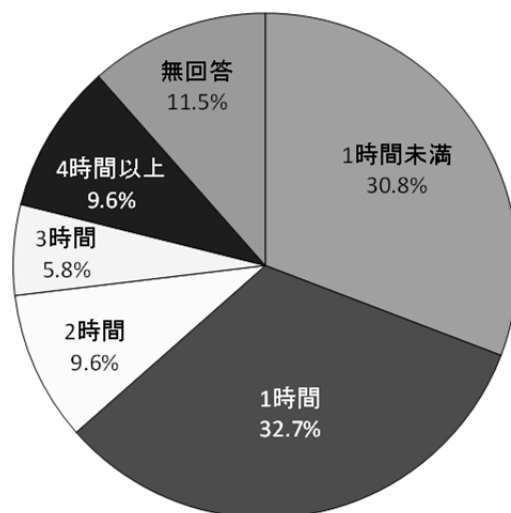
①地域移行支援計画に要した支援時間

5-1 地域移行支援計画に要した支援時間  
n = 52



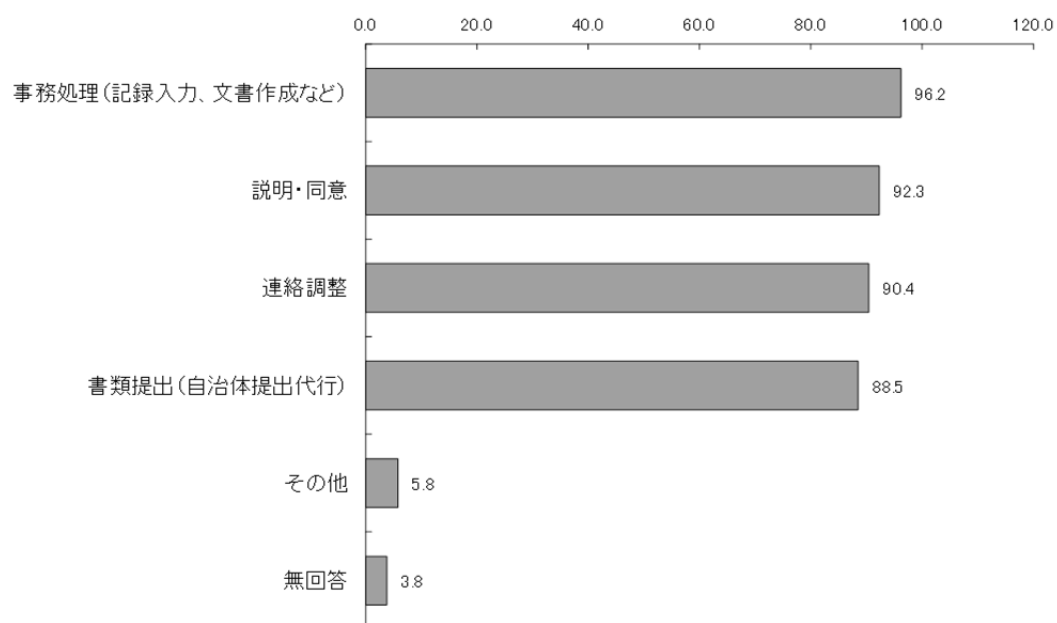
## ②地域移行支援計画に要した支援時間

5-2 地域移行支援計画に要した移動時間  
n = 52

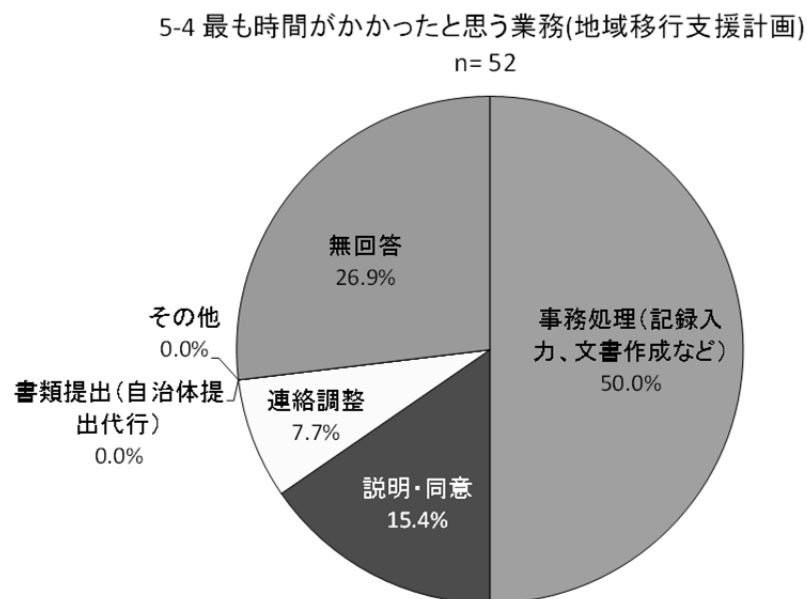


## ③地域移行支援計画の際に行った業務

5-3 地域移行支援計画の際に行った業務 n = 52



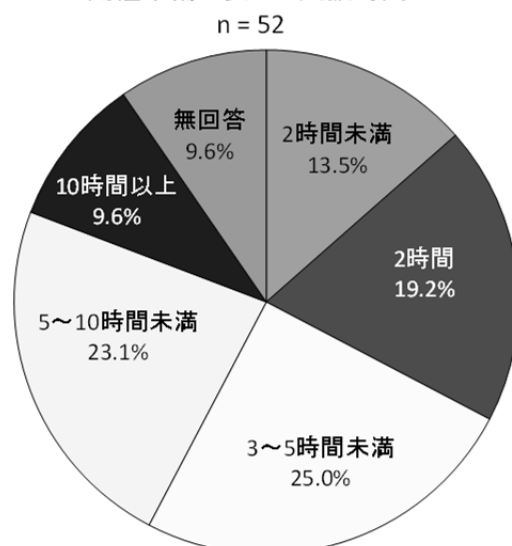
④最も時間がかかったと思う業務(地域移行支援計画)



(7) 地域移行支援会議(移行支援関係者による会議)及び開催準備

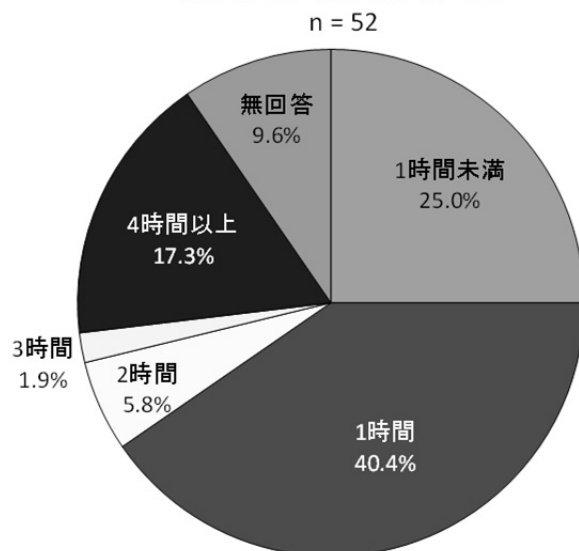
①地域移行支援会議(移行支援関係者による会議)及び開催準備に要した支援時間

6-1 地域移行支援会議(移行支援関係者による会議)及び開催準備に要した支援時間



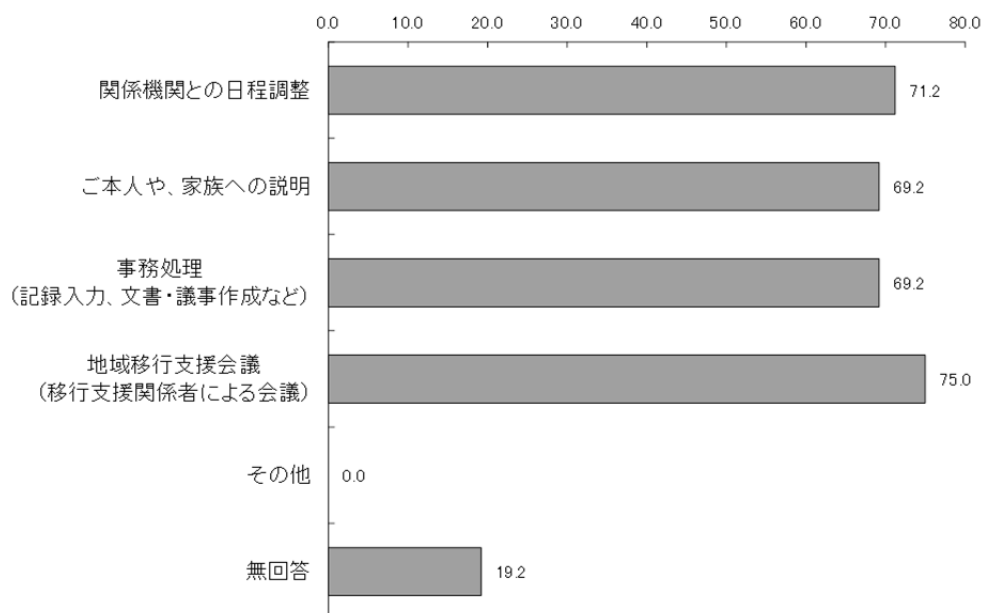
②地域移行支援会議(移行支援関係者による会議)及び開催準備に要した移動時間

6-2 地域移行支援会議(移行支援関係者による会議)及び  
開催準備に要した移動時間

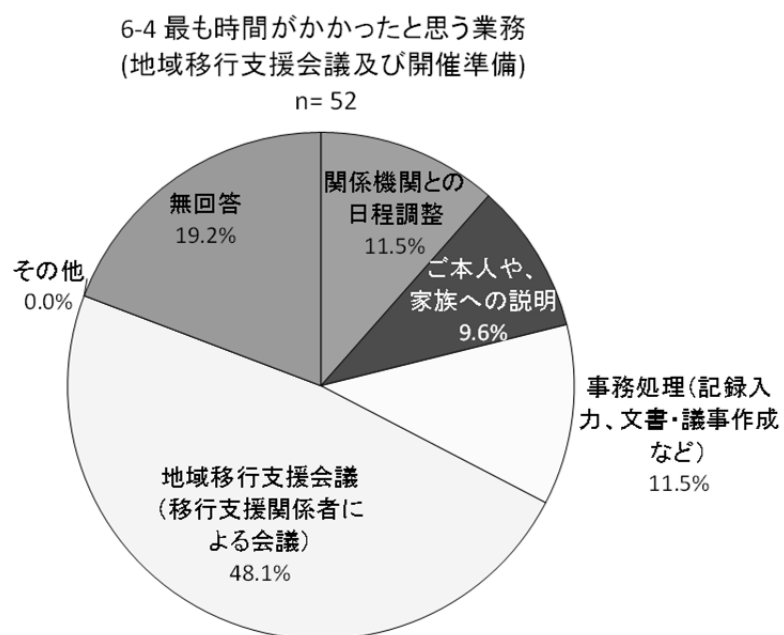


③地域移行支援会議及び開催準備の際に行った業務

6-3 地域移行支援会議及び開催準備の際に行った業務 n = 52



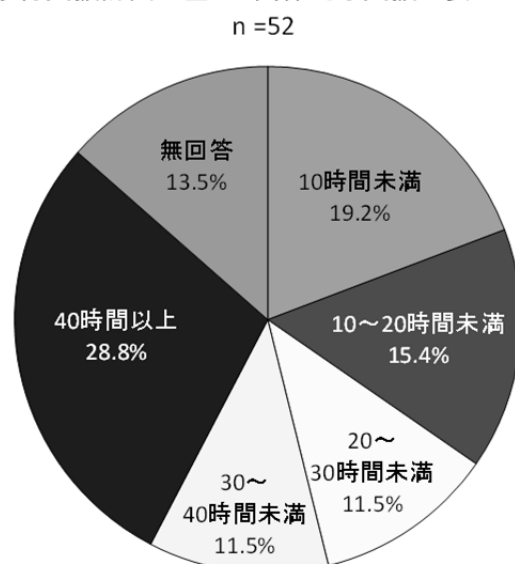
④最も時間がかかったと思う業務(地域移行支援会議及び開催準備)



(8) 地域移行支援計画に基づく具体的な支援

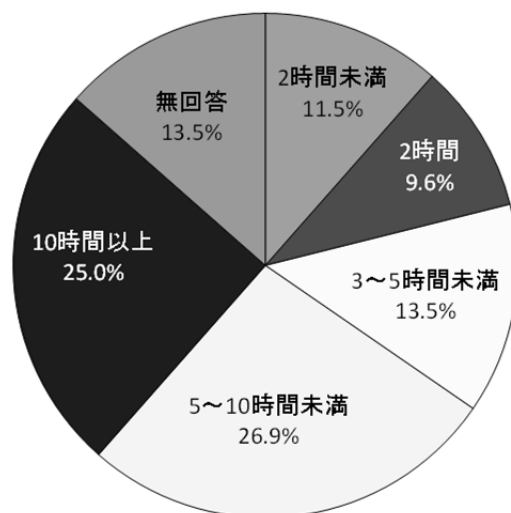
①地域移行支援計画に基づく具体的な支援に要した支援時間

7-1 地域移行支援計画に基づく具体的な支援に要した支援時間



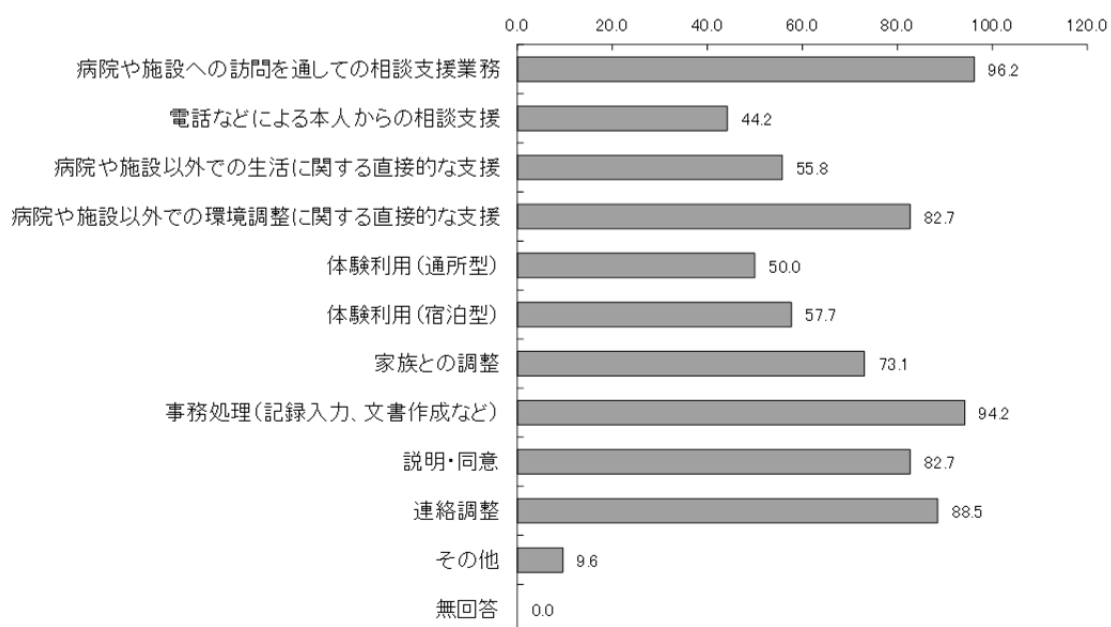
## ②地域移行支援計画に基づく具体的な支援に要した移動時間

7-2 地域移行支援計画に基づく具体的な支援に要した移動時間  
n = 52

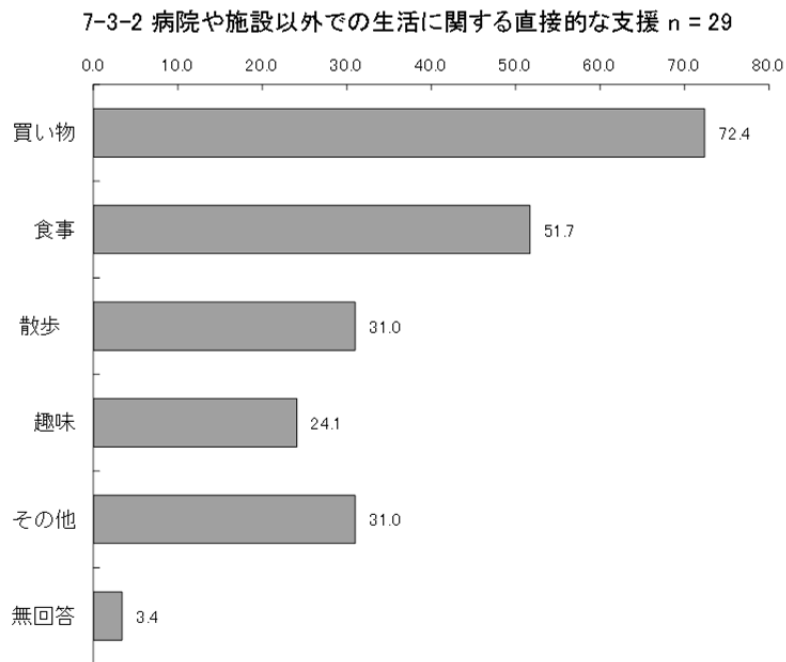


## ③地域移行支援計画に基づく具体的な支援の際に行った業務

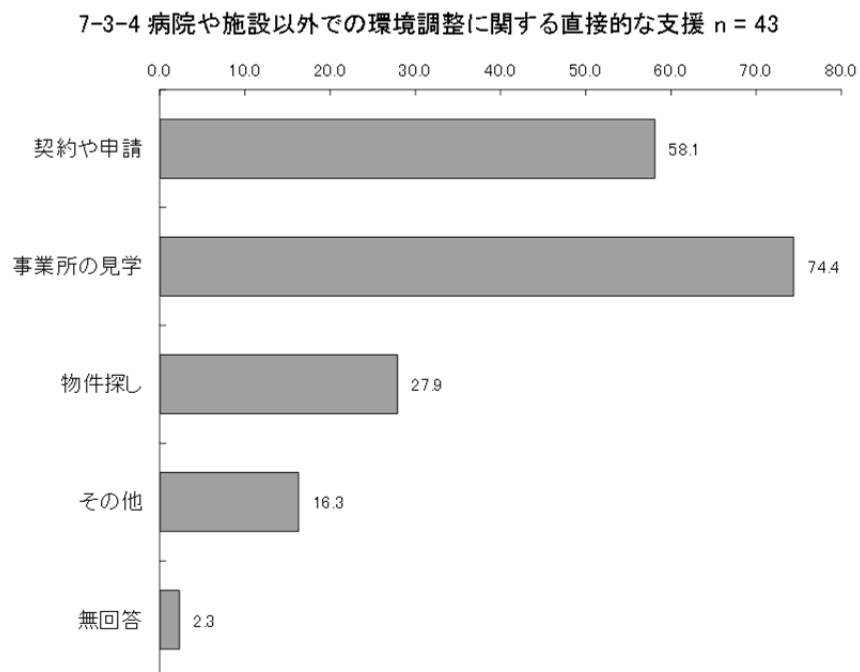
7-3 地域移行支援計画に基づく具体的な支援の際に行った業務 n = 52



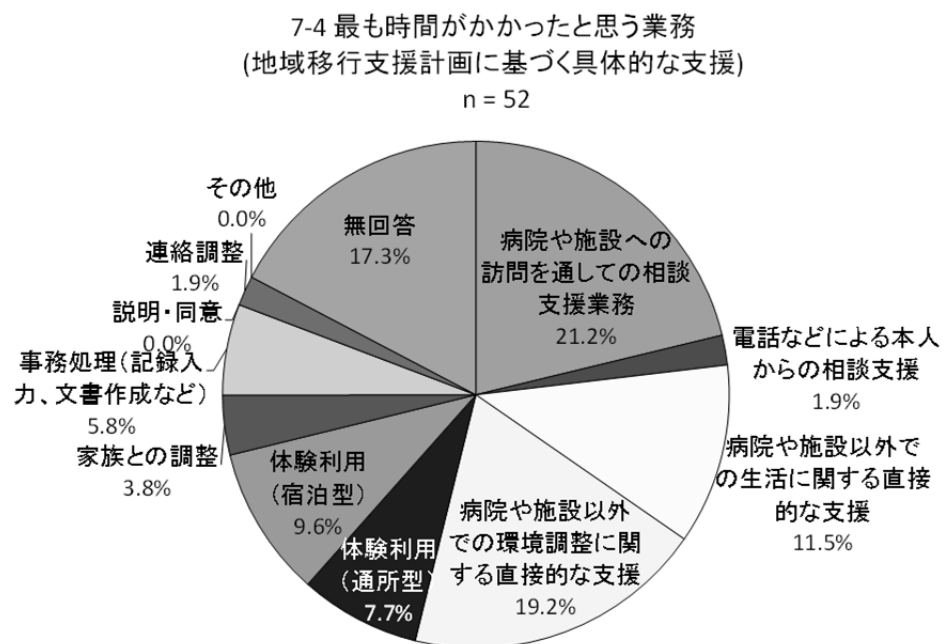
1) 病院や施設以外での生活に関する直接的な支援



2) 病院や施設以外での環境調整に関する直接的な支援



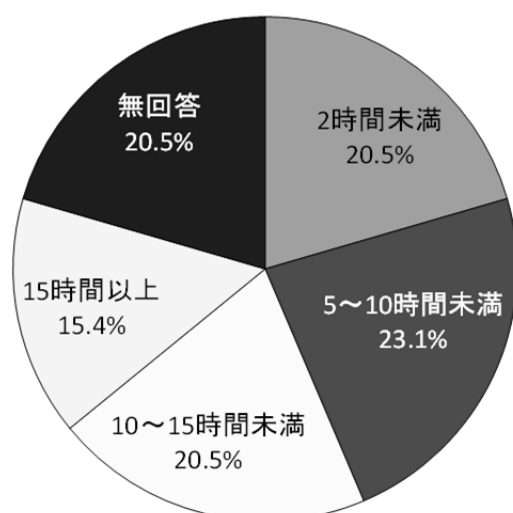
④最も時間がかかったと思う業務(地域移行支援計画に基づく具体的な支援)



(9) 地域移行支援の体験利用

①地域移行支援の体験利用に関して要した支援時間

8-1 地域移行支援の体験利用に関して要した支援時間  
n = 52

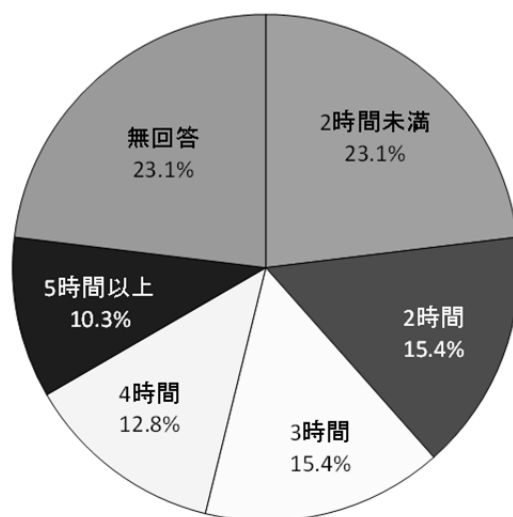




## ②地域移行支援の体験利用に関して要した移動時間

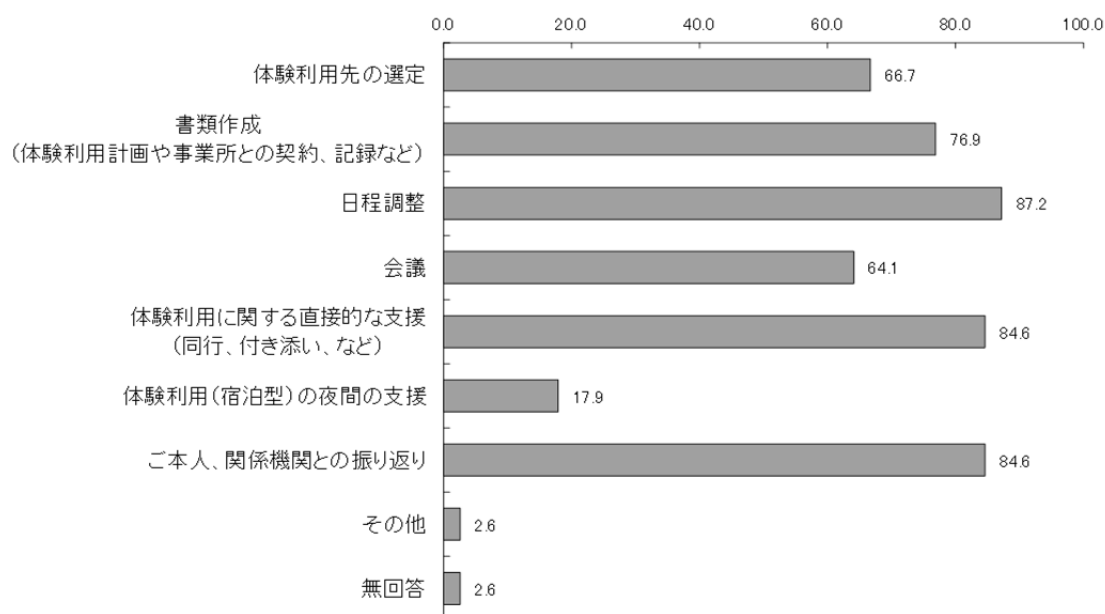
8-2 地域移行支援の体験利用に関して要した移動時間

n = 52



## ③地域移行支援の体験利用の際に行った業務

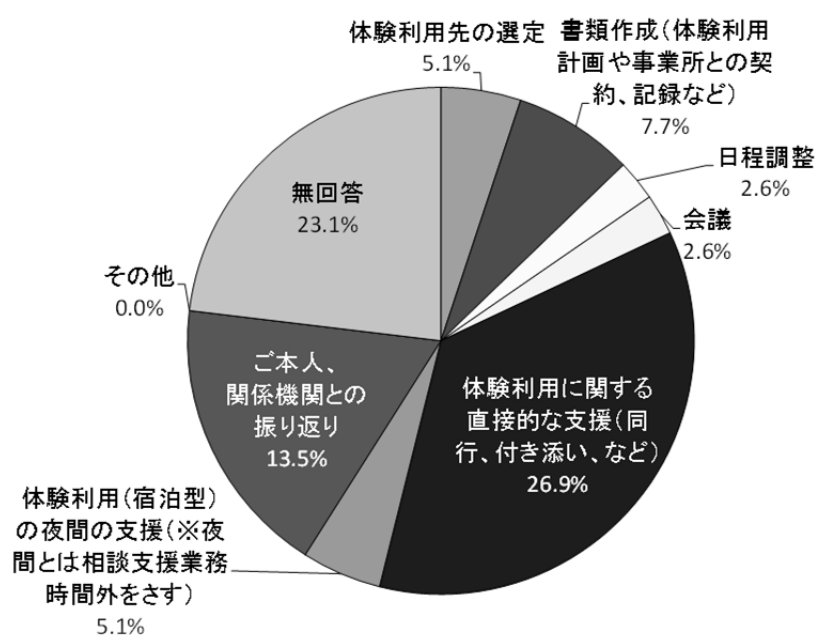
8-3 地域移行支援の体験利用の際に行った業務 n = 39



#### ④最も時間がかかったと思う業務(地域移行支援の体験利用)

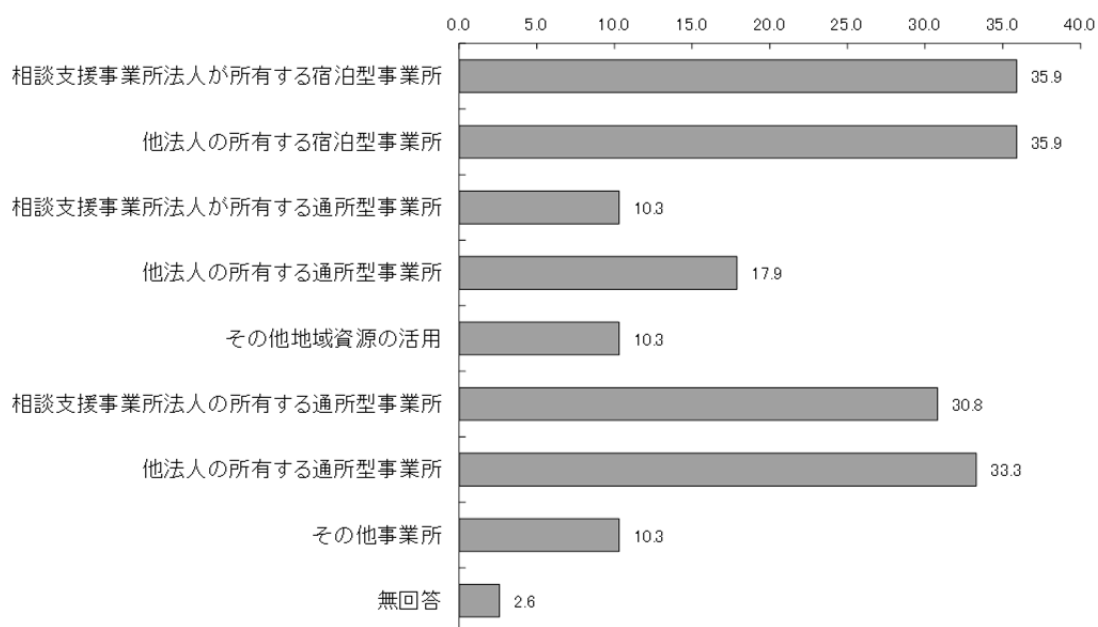
8-4 最も時間がかかったと思う業務(地域移行支援の体験利用)

n = 39



#### ⑤体験利用場所の属性

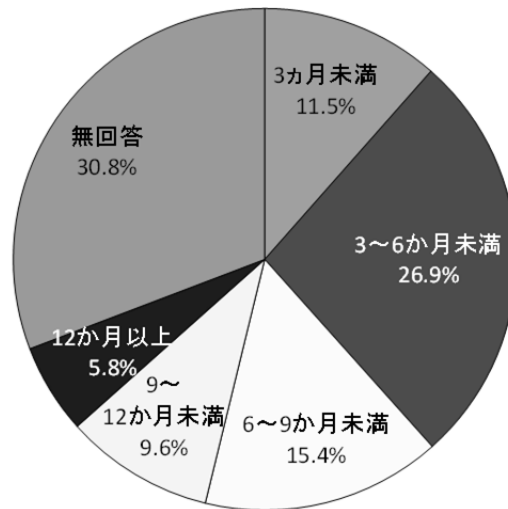
8-5-1 体験利用場所の属性 n = 39



## (10) 地域移行支援

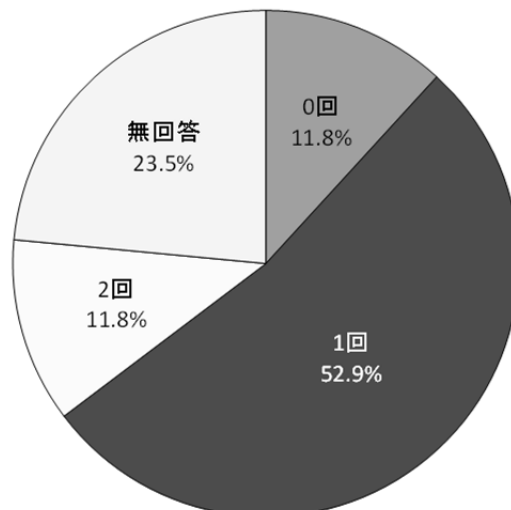
### ① 地域移行支援が始まってからの期間

9-1 地域移行支援が始まってからの期間  
n = 52

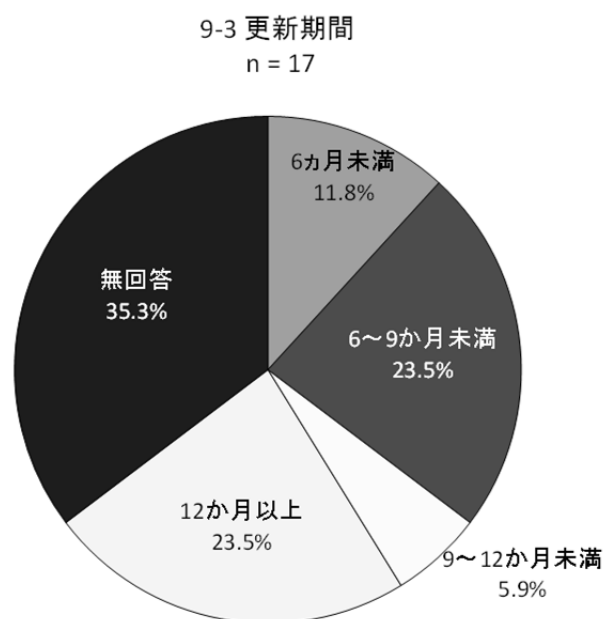


### ② 更新の回数

9-2 更新の回数  
n = 17



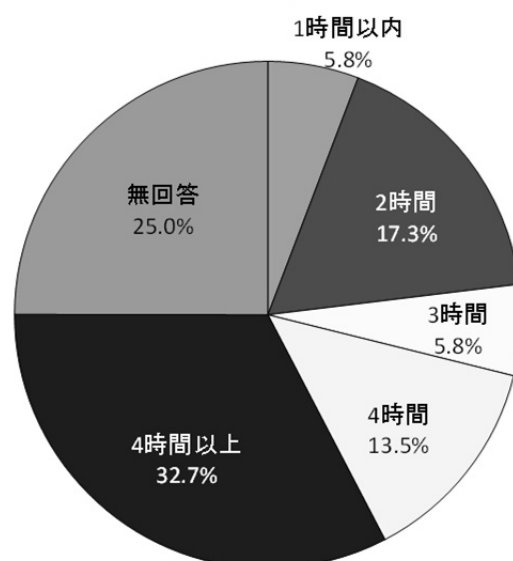
### ③更新期間



### ( 1 1 ) その他 地域移行支援に関する業務

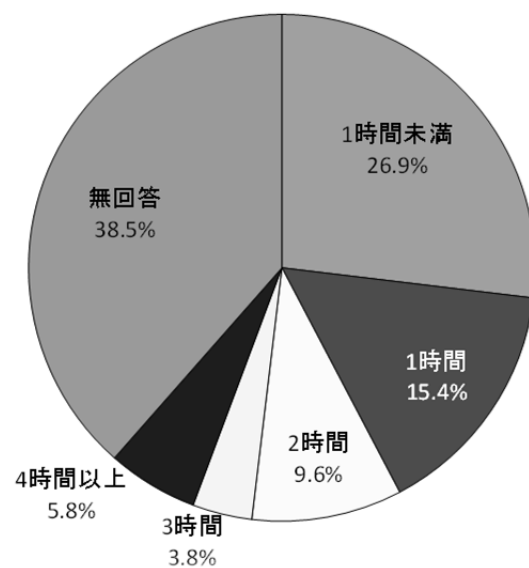
#### ①その他地域移行支援に関する業務に要した支援時間

10-1 その他地域移行支援に関する業務に要した支援時間  
n = 52



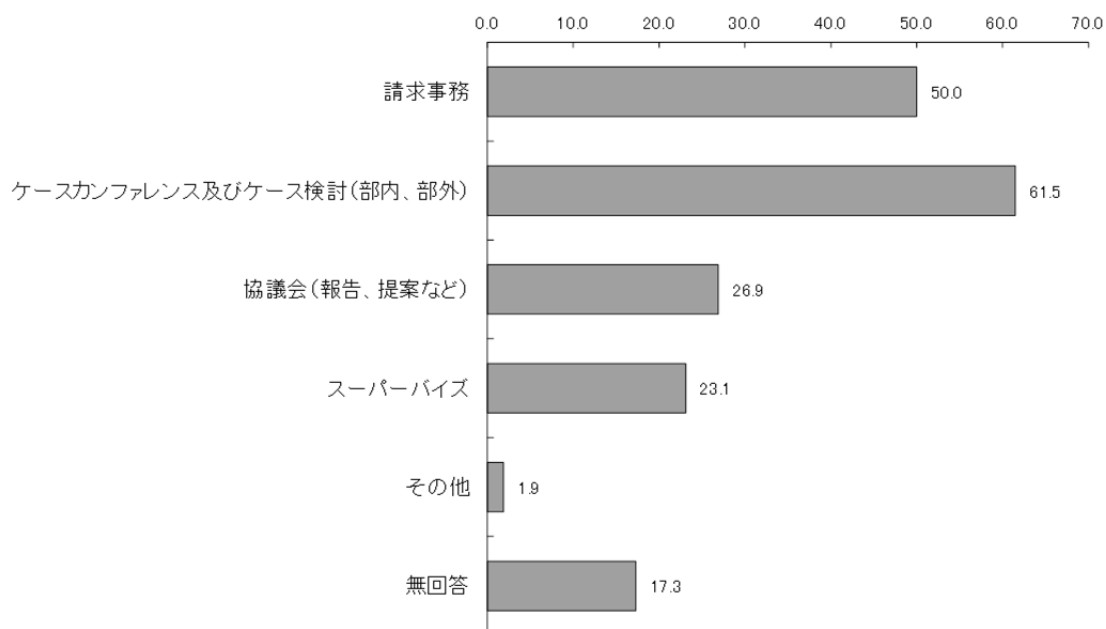
## ②その他地域移行支援に関する業務に要した移動時間

10-2 その他地域移行支援に関する業務に要した移動時間  
n = 52



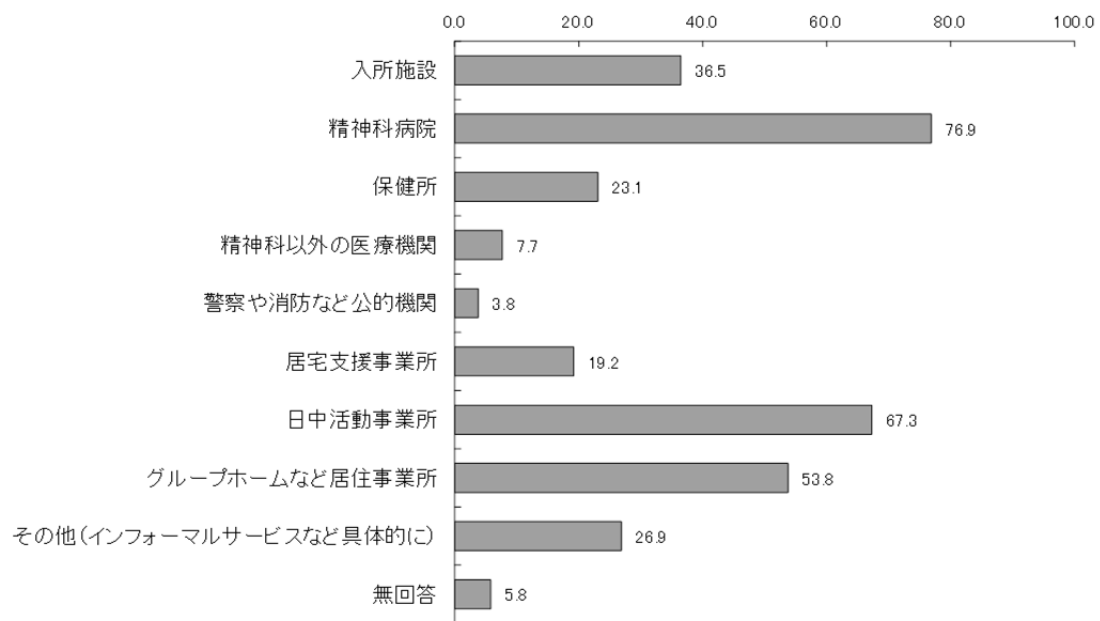
## ③その他に行った業務

10-3 その他に行った業務 n = 52



( 1 2 ) 地域移行支援で連携（チーム）をとった関係機関

11 地域移行支援で連携(チーム)をとった関係機関 n = 52

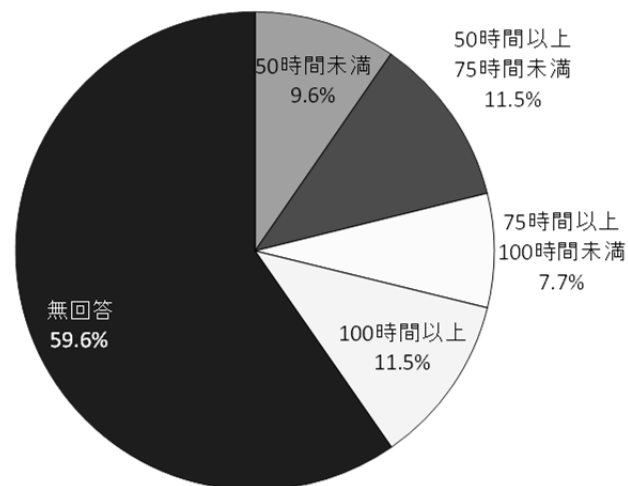


( 1 3 ) 総時間 “無回答”を全排除

①地域移行支援にかかった総時間 ※”無回答”を全排除

(( 4 ) ~ ( 8 ) および ( 1 1 ) の業務のいずれかが無回答であったサンプルをすべて無回答とした集計)

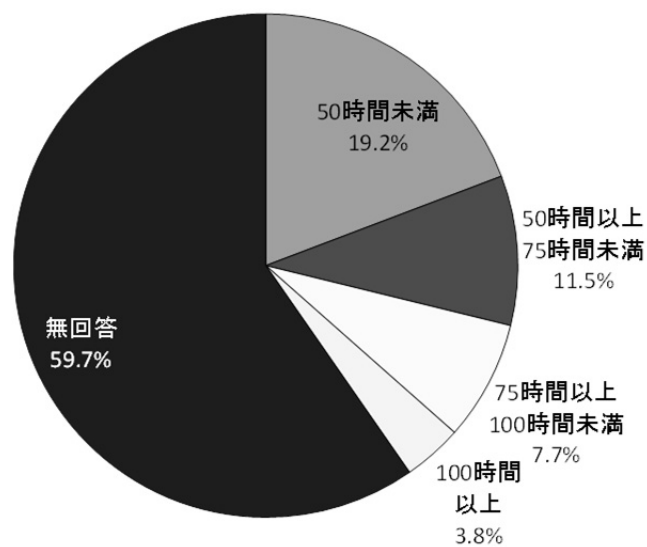
地域移行支援にかかった総時間 ※”無回答”を全排除  
n = 52



②地域移行支援に際して実際に支援を行った時間 ※”無回答”を全排除

(( 4 ) ~ ( 8 ) および ( 1 1 ) の業務のいずれかが無回答であったサンプルをすべて無回答とした集計)

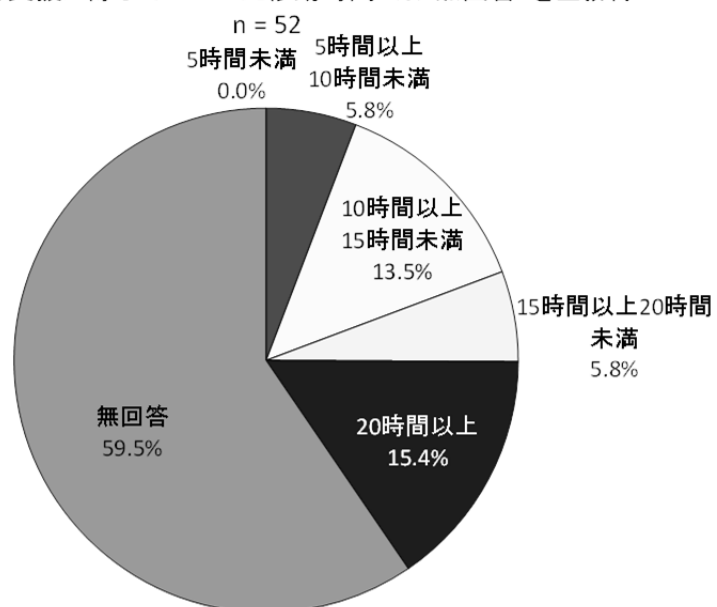
地域移行支援に際して実際に支援を行った時間 ※”無回答”を全排除  
n = 52



③地域移行支援に際してかかった移動時間 ※”無回答”を全排除

((4)～(8)および(11)の業務のいずれかが無回答であったサンプルをすべて無回答とした集計)

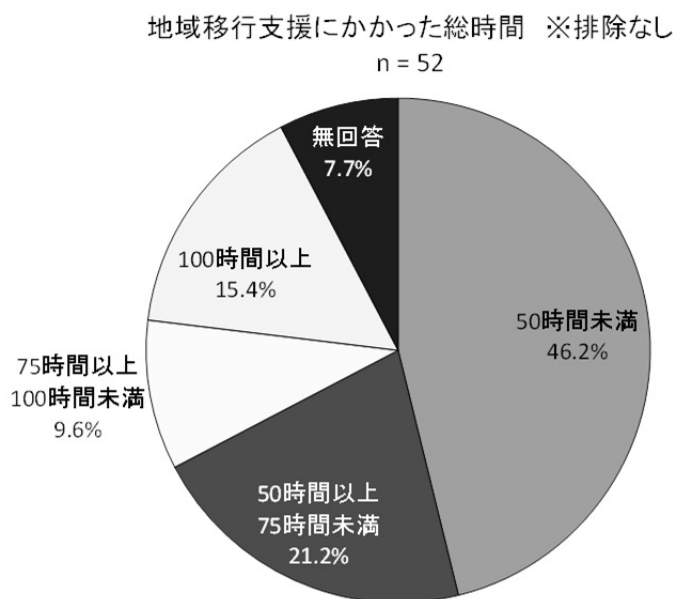
地域移行支援に際してかかった移動時間 ※”無回答”を全排除





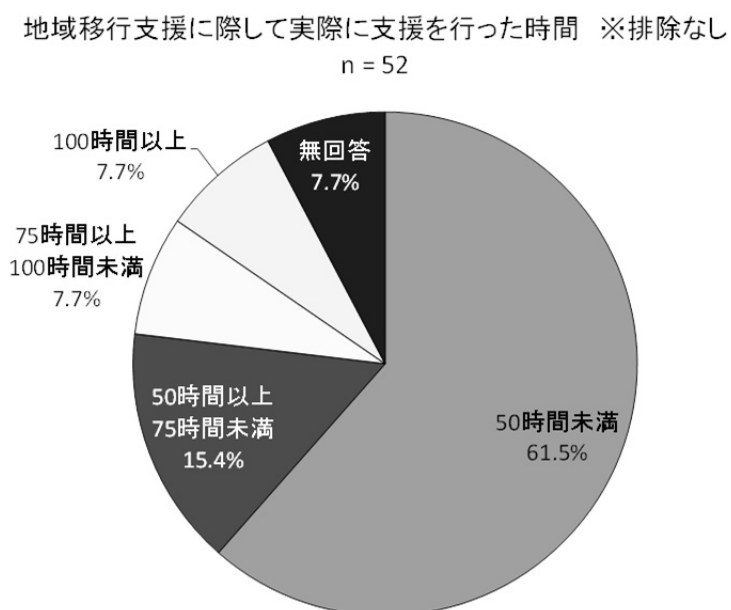
(14) 総時間 排除なし

①地域移行支援にかかった総時間 ※排除なし（回答された全データを対象とした集計）



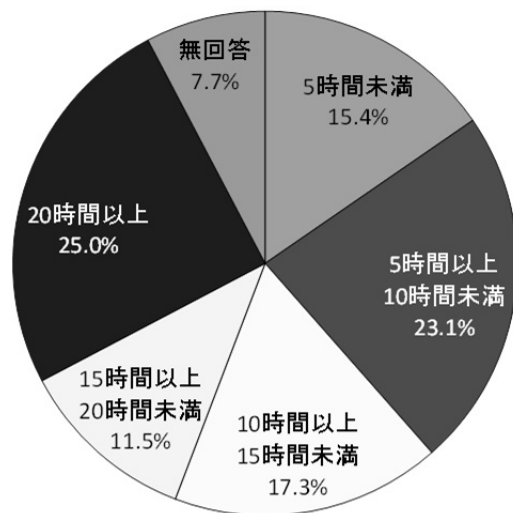
②地域移行支援に際して実際に支援を行った時間 ※排除なし

（回答された全データを対象とした集計）



③地域移行支援に際してかかった移動時間 ※排除なし（回答された全データを対象とした集計）

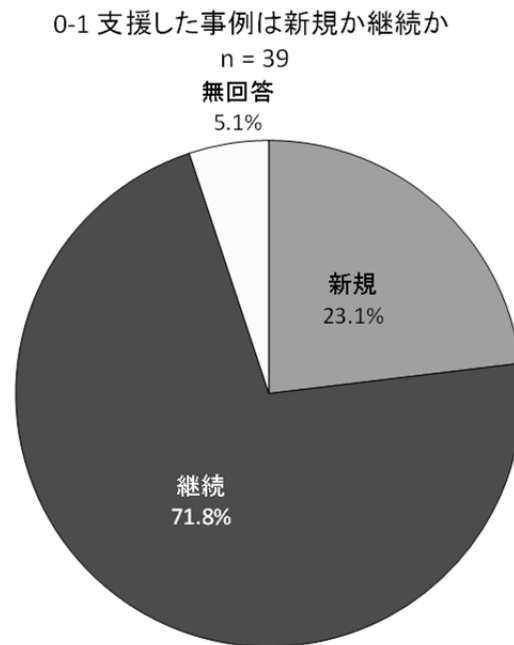
地域移行支援に際してかかった移動時間 ※排除なし  
n = 52



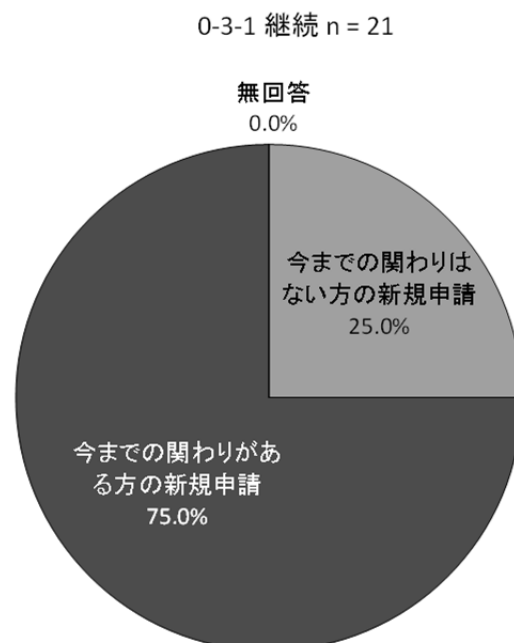
## 5. 個別事例【地域定着支援】に関する調査結果

### (1) 支援した事例の新規・継続

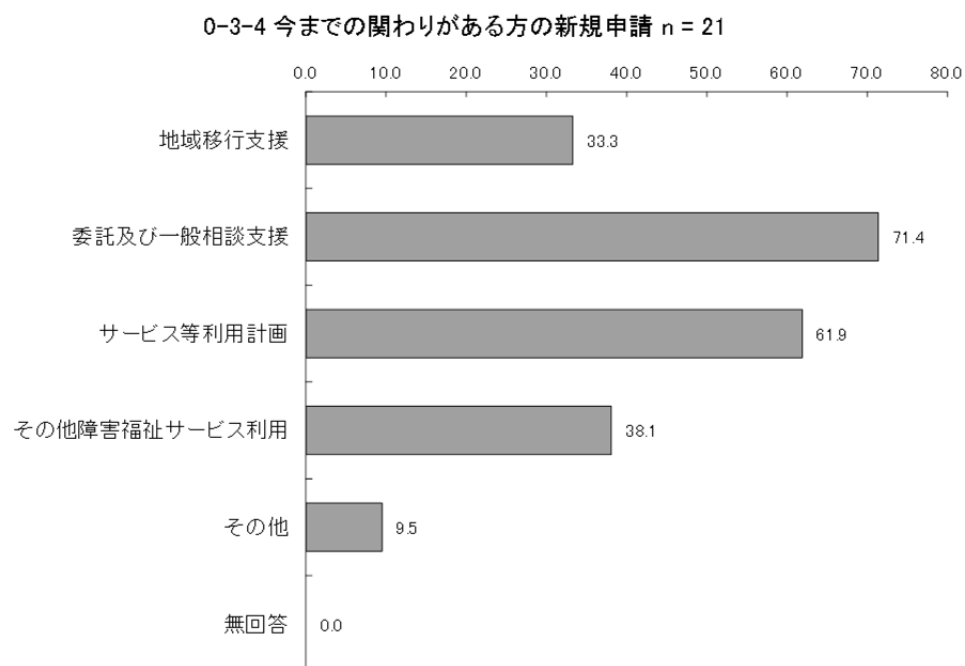
#### ① 支援した事例は新規か継続か



#### ② 継続

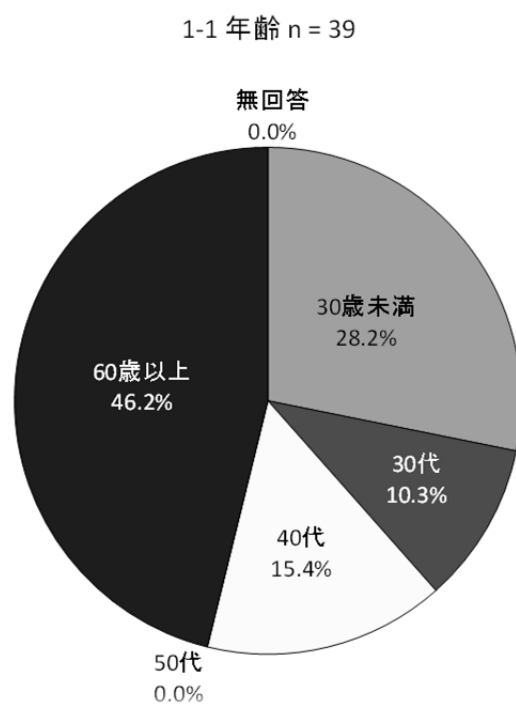


### ③今までの関わりがある方の新規申請

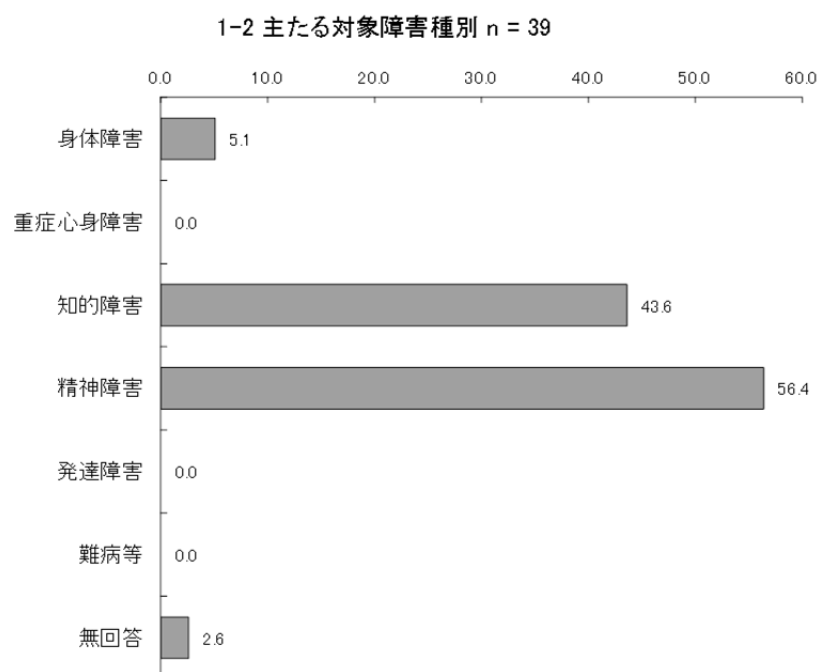


## (2) 対象の基本属性

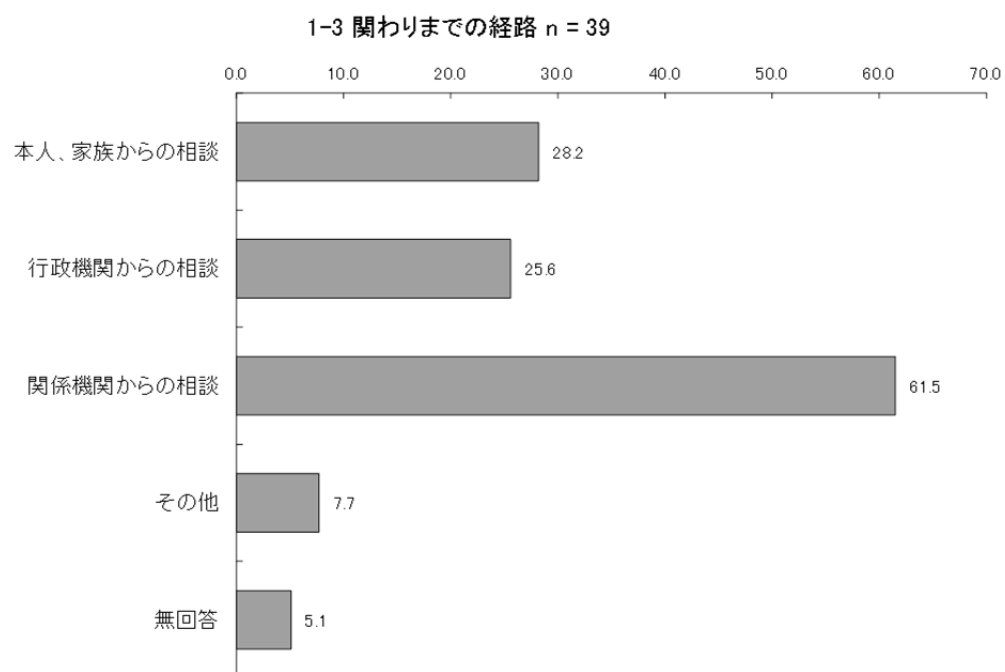
### ①年齢



## ②主たる対象障害種別

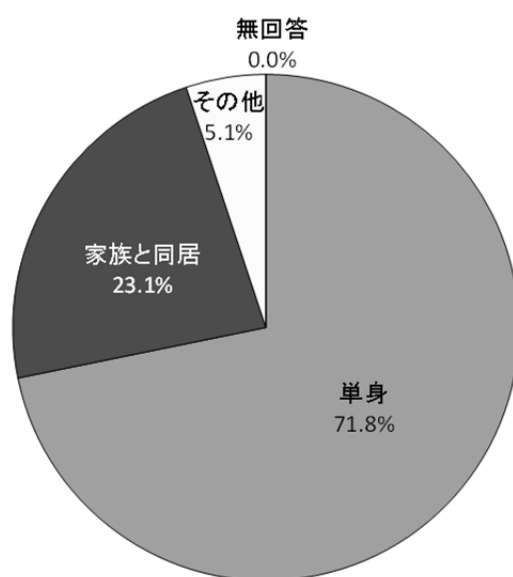


## ③関わりまでの経路



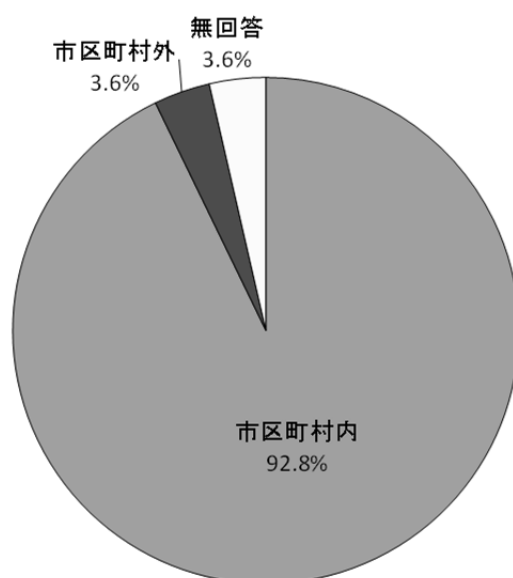
#### ④現在の生活状況

1-4 現在の生活状況 n = 39

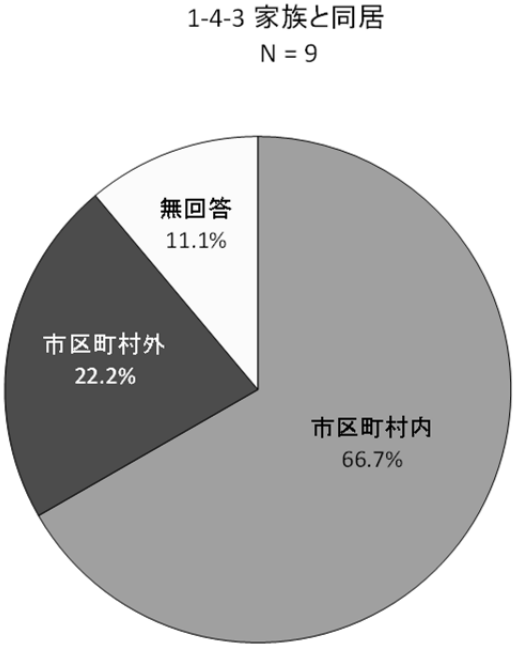


##### 1) 単身

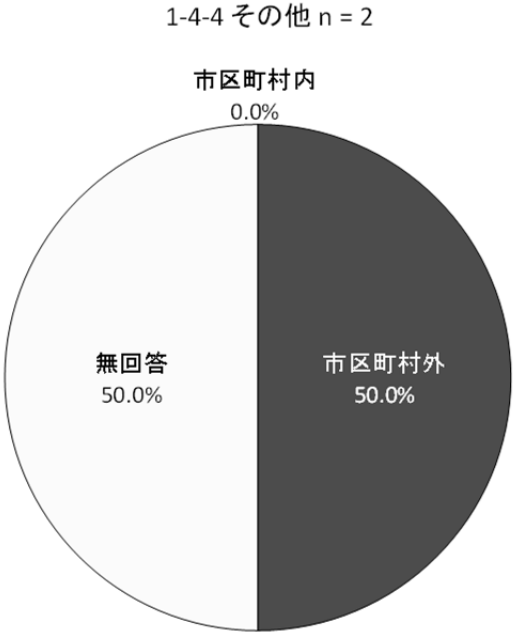
1-4-2 単身 n = 28



2) 家族と同居

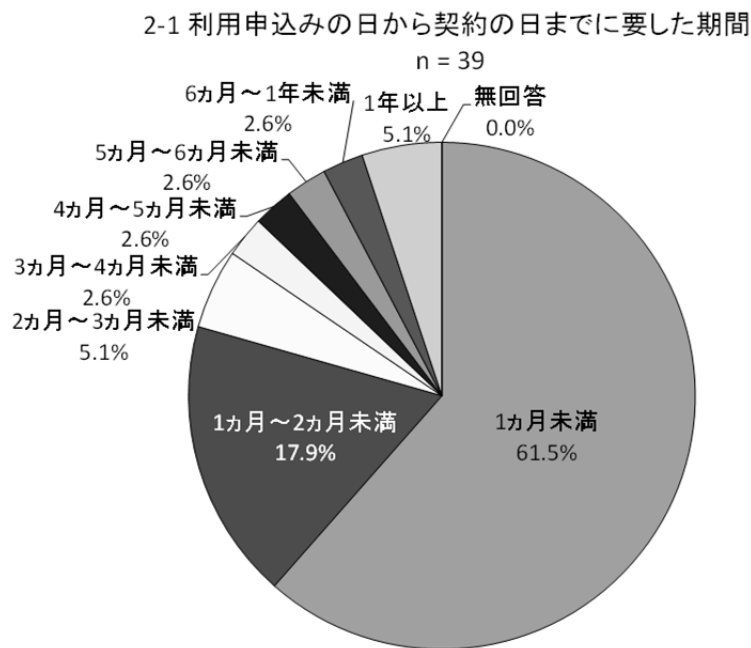


3) その他

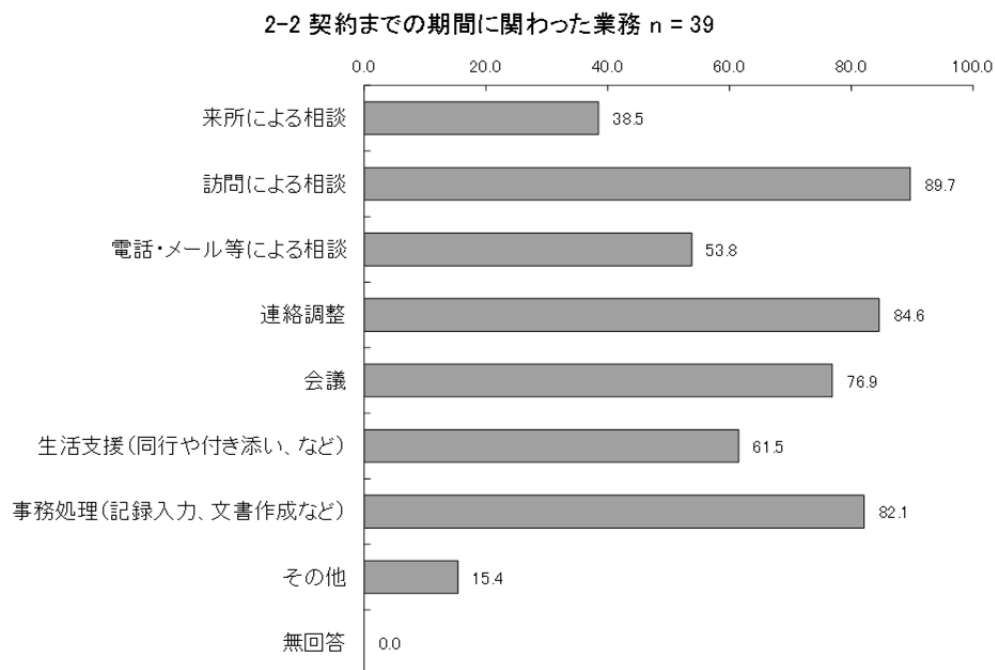


### (3) 契約にいたる前段階

#### ①利用申込みの日から契約の日までに要した期間



#### ②契約までの期間に関わった業務

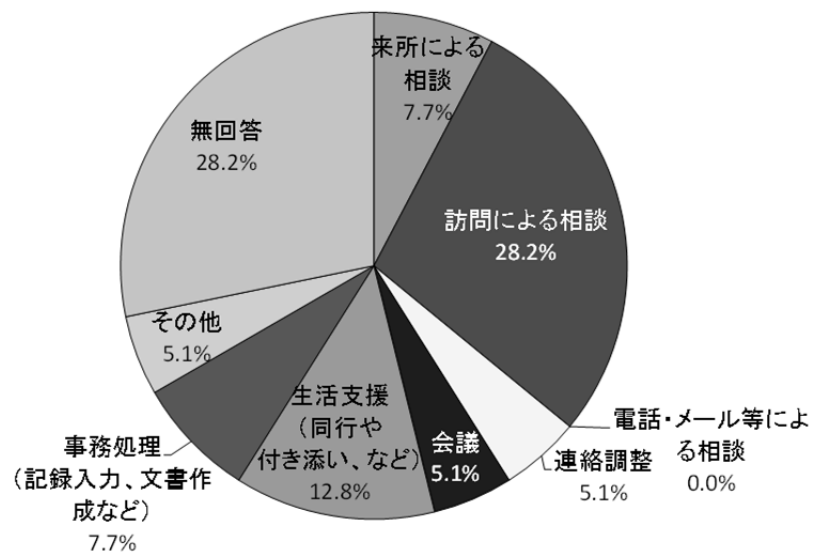




### ③最も時間がかかったと思う業務(契約までの期間)

2-3 最も時間がかかったと思う業務(契約に関して行った業務)

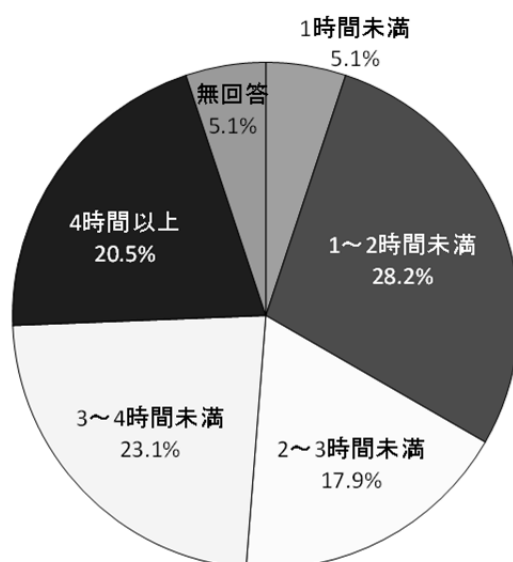
n = 39



### (4) 契約

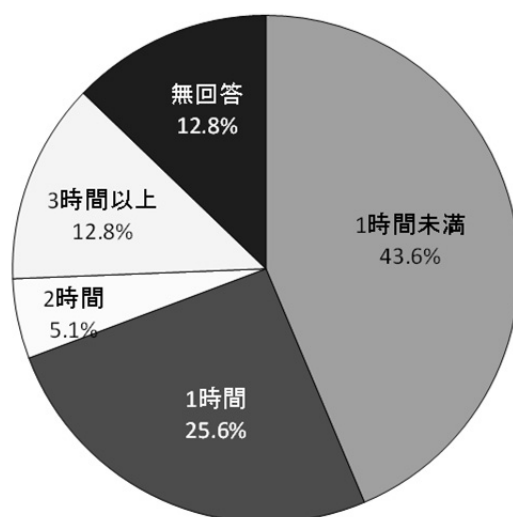
#### ①契約に関して要した支援時間

3-1 契約に関して要した支援時間 n = 39



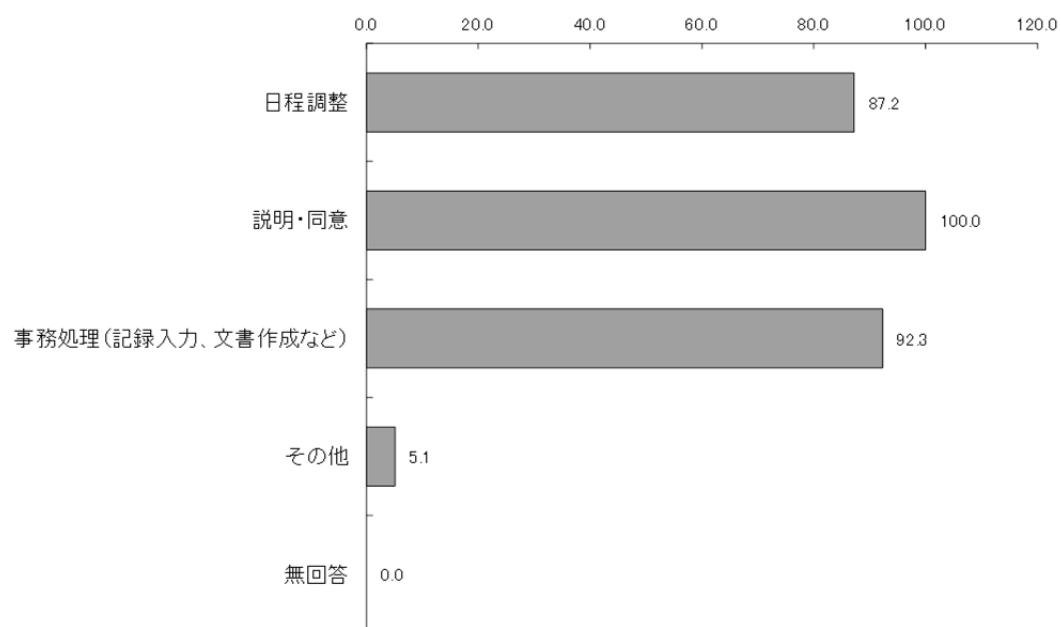
## ②契約に関して要した移動時間

3-2 契約に関して要した移動時間 n = 39



## ③契約に関して行った業務

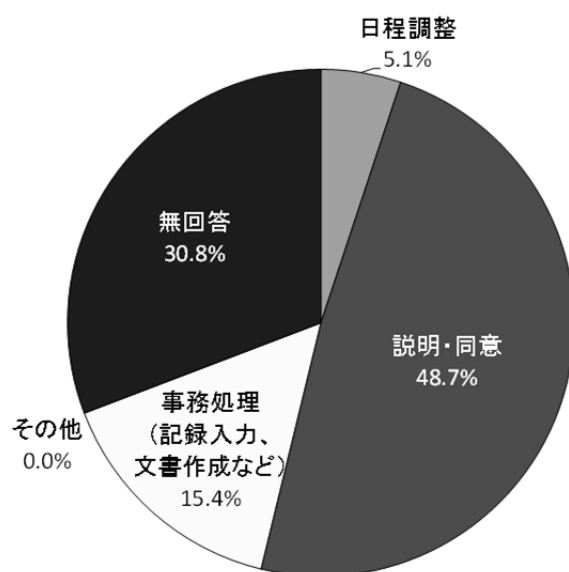
3-3 契約に関して行った業務 n = 39



④最も時間がかかったと思う業務(契約に関して行った業務)

3-4 最も時間がかかったと思う業務(契約に関して行った業務)

n = 39



(5) 地域定着支援台帳作成のための情報収集 (アセスメント)

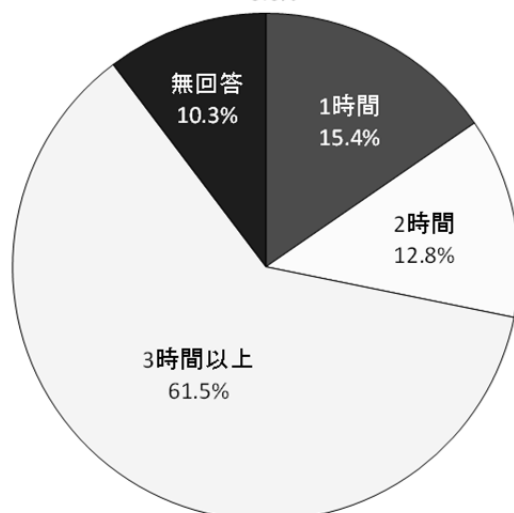
①地域定着支援台帳作成のための情報収集(アセスメント)に要した支援時間

4-1 地域定着支援台帳作成のための情報収集(アセスメント)に

要した支援時間 n = 39

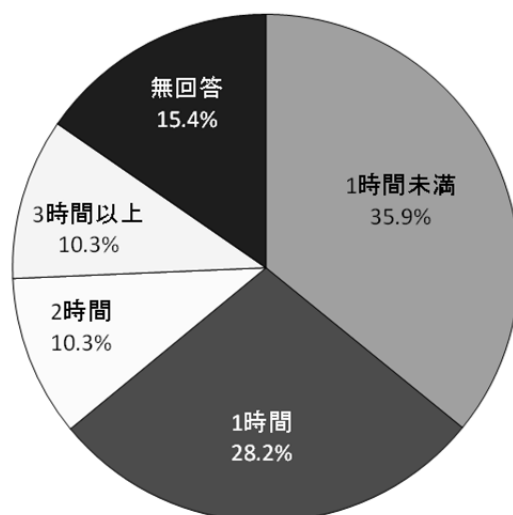
1時間未満

0.0%



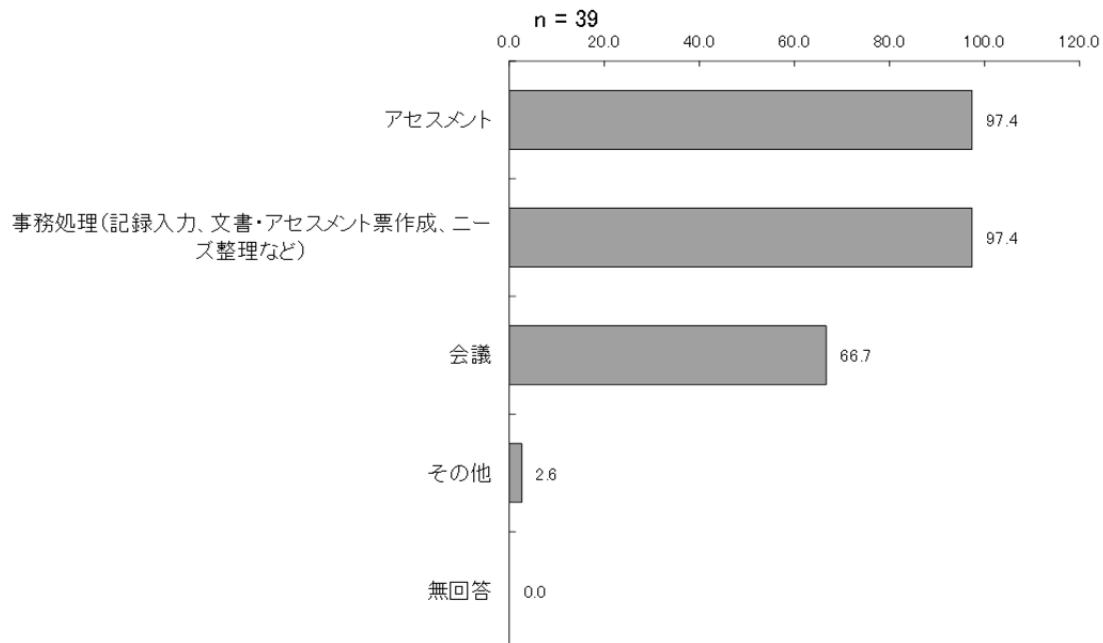
②地域定着支援台帳作成のための情報収集(アセスメント)に要した移動時間

4-2 地域定着支援台帳作成のための情報収集(アセスメント)に  
要した移動時間 n = 39

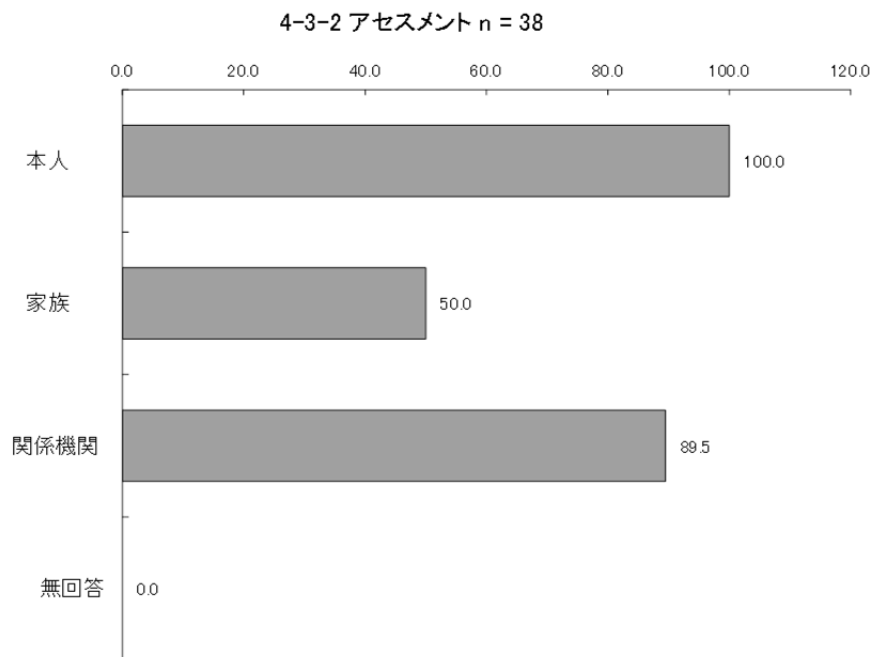


③地域定着支援台帳作成のための情報収集(アセスメント)の際に行った業務

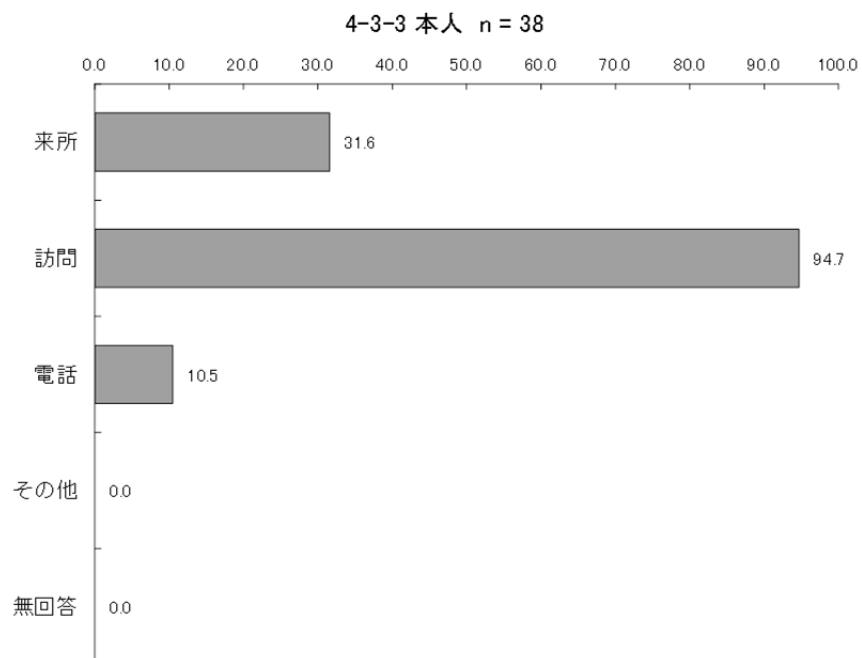
4-3 地域定着支援台帳作成のための情報収集(アセスメント)の際に行った業務  
n = 39



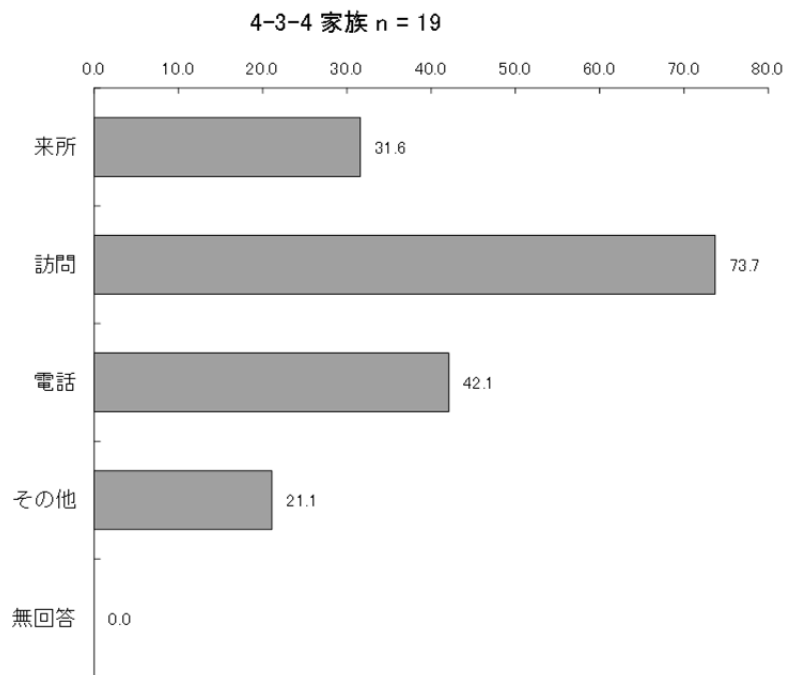
1) 誰にアセスメントしたか



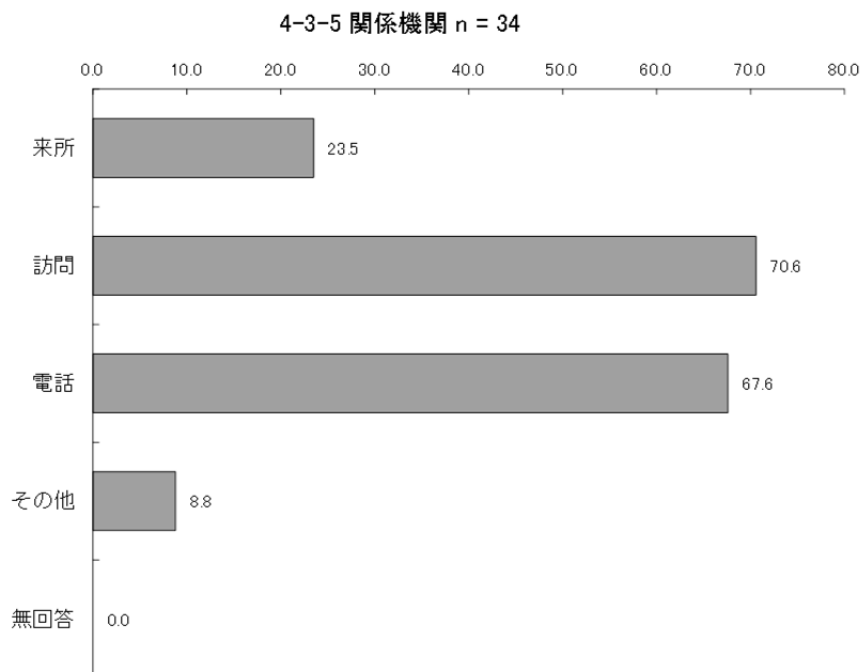
2) 本人



### 3) 家族

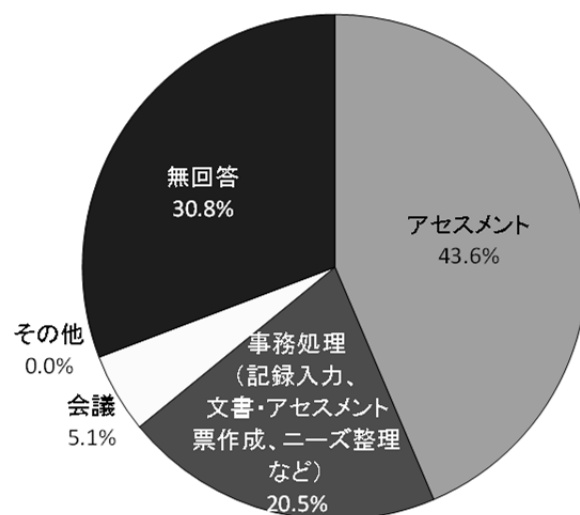


### 4) 関係機関



④最も時間がかかったと思う業務(アセスメント)

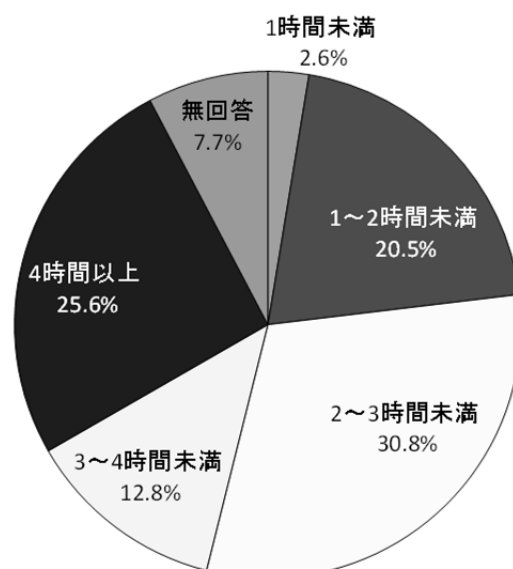
4-4 最も時間がかかったと思う業務(アセスメント)  
n = 39



(6) 地域定着支援台帳作成

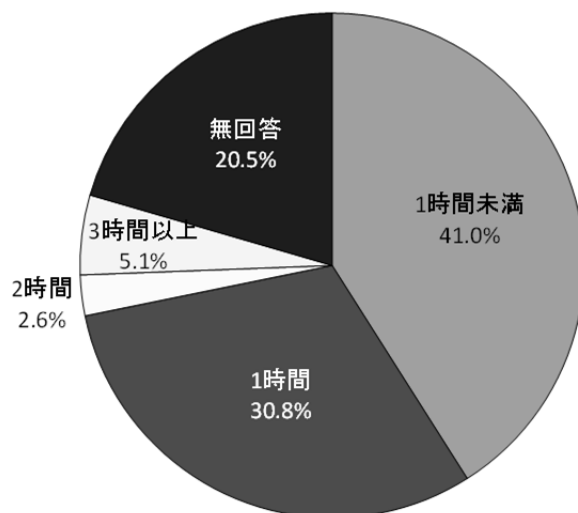
①地域定着支援台帳作成に要した支援時間

5-1 地域定着支援台帳作成に要した支援時間  
n = 39



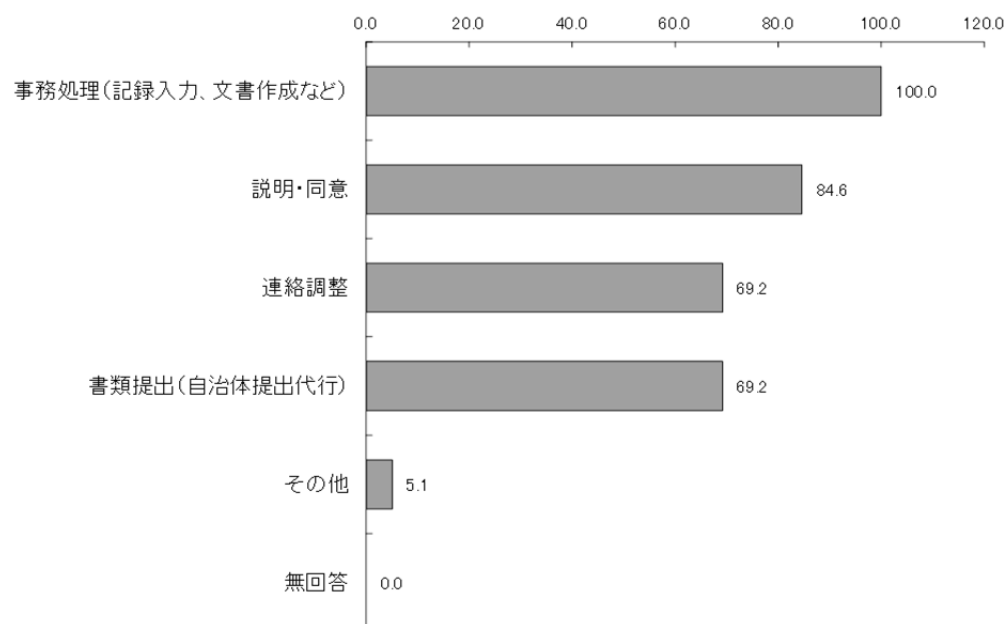
## ②地域定着支援台帳作成に要した移動時間

5-2 地域定着支援台帳作成に要した移動時間  
n = 39



## ③地域定着支援台帳作成の際に行った業務

5-3 地域定着支援台帳作成の際に行った業務 n = 39

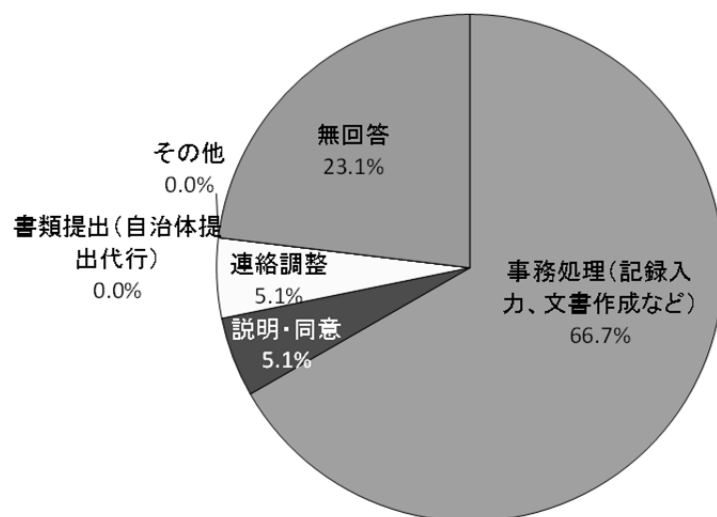




④最も時間がかかったと思う業務(地域定着支援台帳作成)

5-4 最も時間がかかったと思う業務(地域定着支援台帳作成)

n = 39

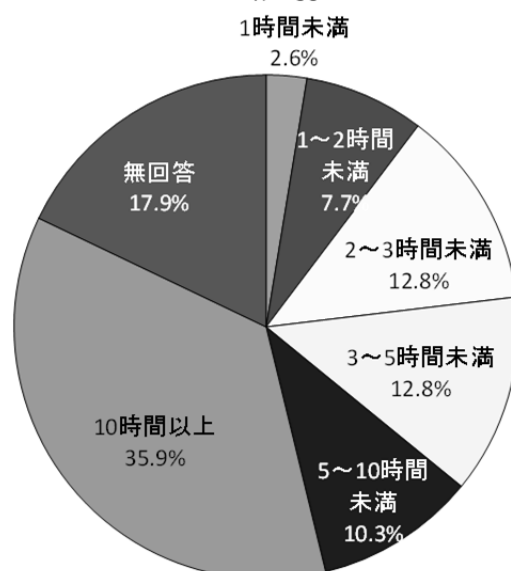


(7) 地域定着支援台帳での6ヵ月間の具体的な支援

①地域定着支援台帳での6ヵ月間の具体的な支援時間

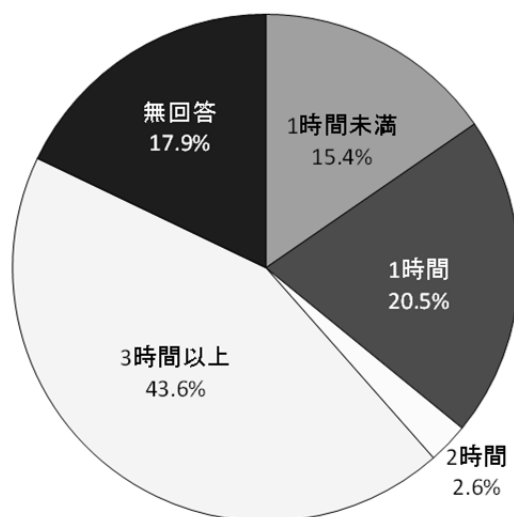
6-1 地域定着支援台帳での6ヵ月間の具体的な支援時間

n = 39



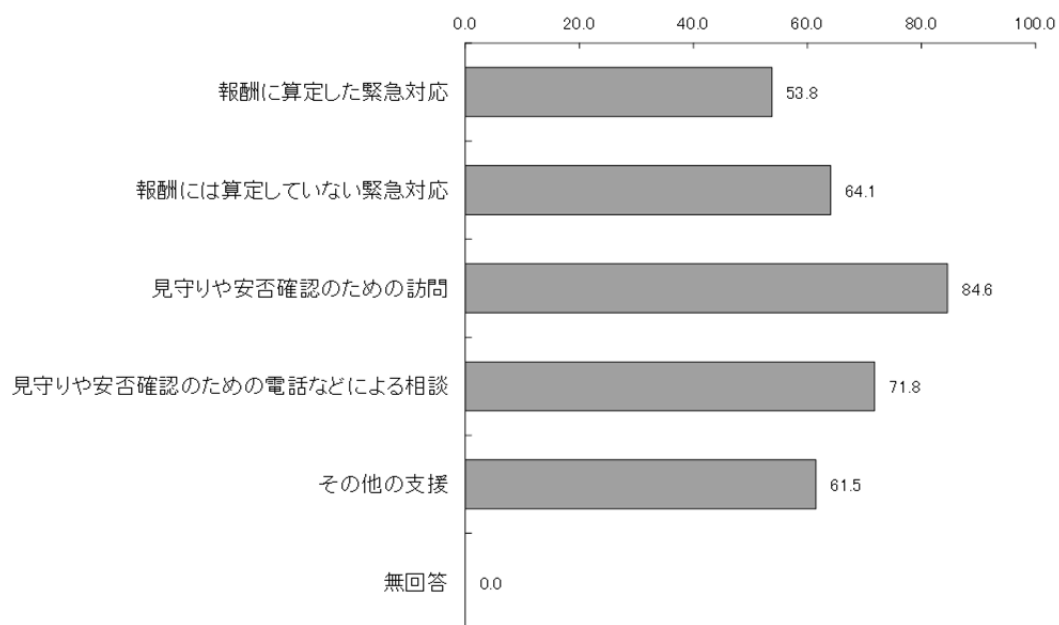
## ②地域定着支援台帳での6ヵ月間の具体的な移動時間

6-2 地域定着支援台帳での6ヵ月間の具体的な移動時間  
n = 39



## ③地域定着支援台帳の6ヵ月間の具体的な支援業務

6-3 地域定着支援台帳の6ヵ月間の具体的な支援業務 n = 39



|    |                                                                                                                                            |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | Q6-4-1 報酬に算定した緊急対応 支援内容                                                                                                                    |
| 1  | (1)サービス利用に関する相談・調整のための訪問。<br>(2)利用契約のための訪問。<br>(3)モニタリング訪問。                                                                                |
| 2  | (1)家族の体調不良により、本人が精神的に不安定となり、HH 事業所も駆けつけることが出来ず、訪問した。<br>(2)必要な書類を紛失しており、本人がパニックになり、電話をかけてきたため緊急で対応。                                        |
| 3  | (1)緊急的な受診援助、入院援助、入院時の定期訪問。<br>(2)通信機器(電話・TV など)の復旧にかかる支援。<br>(3)老朽化した住宅の水まわり、建具のトラブル対応及び関係機関への連絡・調整。                                       |
| 4  | (1)交際男性とのケンカによる訴え、相談への対応(訪問)。<br>(2)ガス代の支払いが遅れたことによるガス会社への連絡・調整対応。<br>(3)本人の救急搬送に伴う病院同行、家族への緊急連絡。                                          |
| 5  | (1)腹痛のため緊急入院した際、必要物品の準備をし、病院訪問した。<br>(2)夜間、体調不良と電話があり、受診に同行した。<br>(3)自宅のトイレの水が止まらなるとパニック状態で電話があり、自宅訪問した。                                   |
| 6  | (1)本人よりトイレがあふれたと電話を受ける。居室へ駆けつけ水道の元栓を閉めた後、管理人へ連絡。至急直すようお願いし、修理にも立ち会った。<br>(2)本人より整形外科に入院したとの電話があり、ご家族が動けなかったため、必要なものを持って病院へ駆けつけた。<br>(3)治療・ |
| 7  | (1)郵送された書類の内容が分からない。<br>(2)外から嫌な臭いや人の声が聞こえる。                                                                                               |
| 8  | アパートの隣室住人の騒音により不穏になり、警察に保護された。警察から迎いの依頼があり対応した。                                                                                            |
| 9  | リストカット、OD による緊急対応。QQ 同行。日中に起こる出来事を受けた精神的不安(深夜)。                                                                                            |
| 10 | 急な通院同行、緊急入院した時の付添等。                                                                                                                        |
| 11 | 緊急通報システムから連絡を頂き、様子伺いのため訪問。                                                                                                                 |
| 12 | 子どもが熱を出し、病院へ同行した。                                                                                                                          |
| 13 | 自殺者の対応、捜索。                                                                                                                                 |
| 14 | 出血していた場合、地域の病院に連れて行き処置をしてもらう。メールや電話でもどうにもならず、訪問した時。                                                                                        |
| 15 | 状態不安定な時に状態把握と対応、家族との協議。障害者手帳紛失による再発行の手続き支援(紛失のままでは本人の不安が高まっていたため)。本人状態が不安定、悪化のために受診代行。主治医、PSW との協議。                                        |
| 16 | 精神的不調により、病院への同行、話の傾聴。                                                                                                                      |
| 17 | 体調不良による受診支援。                                                                                                                               |
| 18 | 電子コンロが故障し、アパート(部屋)のブレーカーがとんでしまった。漏電によるトラブルの対処のため訪問し、業者や不動産関係の連絡調整を行う。                                                                      |
| 19 | 病気の訴えがあり、近くの病院へ同行。                                                                                                                         |
| 20 | 夫婦げんかによる不穏な時の仲裁など。                                                                                                                         |
| 21 | 本人からの要望により、事業所におもむいての不安感に対する緊急対応。※面接を行う中で気持ちの整理。                                                                                           |

|    |                                                                                                                                                       |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | Q6-4-2 報酬には算定していない緊急対応 支援内容                                                                                                                           |
| 1  | (1)家の改修についての業者の立ち会い。<br>(2)同法人のサービス利用中の相談対応。<br>(3)服薬管理に関して、相談、薬剤師・PSW と訪問、説明。<br>(4)家族への緊急支援。                                                        |
| 2  | (1)気分が悪いので来て欲しいと電話があり、訪問した。<br>(2)熱が出たので来て欲しいと電話があり、訪問した。<br>(3)クーラーが付かないので来て欲しい。<br>(4)テレビが映らないので来て欲しい。<br>(5)電球が切れたので来て欲しい。<br>(6)腰痛のため湿布を買ってきて欲しい。 |
| 3  | (1)治療上必要な器具の購入申請のため、区の生活支援課及び器具の製造会社との期限の交渉と調整。日程が差し迫ってからの本人からの連絡のため緊急と判断するが、本人と顔を合わせていないため算定せず。<br>(2)勤務時間外の電話対応。本人には会わず。<br>(3)電話での安否確認・            |
| 4  | (1)電球の取り替え<br>(2)同行して地域の散策                                                                                                                            |
| 5  | (1)不安定になった時の日中、夜間、休日の電話対応。<br>(2)本人死亡後の葬儀段取り、相続に関する手続き支援。<br>(3)自立生活援助事業(社協)の死亡後の処理支援。                                                                |
| 6  | 「体調不良で調理できないので、子供の食事を作って欲しい」という内容が多く、ヘルパー事業所に可能な限り臨時で対応してもらっている。                                                                                      |
| 7  | 家の窓ガラスを本人が割ってしまい、緊急で自宅訪問し、ダンボールで対応するよう作業を行った。                                                                                                         |
| 8  | 緊急を要するメールの内容で訪問すると落ち着いていた場合。                                                                                                                          |
| 9  | 今後、緊急対応に繋がると予測される課題・問題の状況確認及び解決に向けた支援。                                                                                                                |
| 10 | 市外からの電話相談(家出・外泊)                                                                                                                                      |
| 11 | 状態把握するために家庭訪問                                                                                                                                         |
| 12 | 窃盗で現行犯逮捕。地元の警察との調整対応。                                                                                                                                 |
| 13 | 体調不良により寝込んでいる連絡があったため様子確認に。                                                                                                                           |
| 14 | 体調不良時の受診同行支援。相談支援に依頼がなく、関わりのある地域活動支援のスタッフに依頼があり対応。                                                                                                    |
| 15 | 電話での対応時間                                                                                                                                              |
| 16 | 入院中の病院訪問                                                                                                                                              |
| 17 | 不穏時の電話対応                                                                                                                                              |
| 18 | 不調時のメールのやり取り(聴覚障害のため)                                                                                                                                 |
| 19 | 部屋のカギを無くしたときの対応(連絡調整)                                                                                                                                 |
| 20 | 訪問を行えない時の電話対応。※本人との電話でのやり取り、関係機関との調整。                                                                                                                 |

|    |                                               |
|----|-----------------------------------------------|
| 21 | 本人が地域定着の更新を不安と言った。1ヶ月後に脳梗塞を発症した様子で訪問し往診を手配した。 |
| 22 | 本人不安定の際の見守りのための訪問                             |
| 23 | 夜間、休日の電話やメール対応。                               |
| 24 | 夜間の電話、緊急性がない不安感に関する相談であったため、話を聴くと落ち着いた。       |
| 25 | 夜間電話での不安の解消。                                  |

|    |                                                                                                                                           |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | Q6-4-3 見守りや安否確認のための訪問 支援内容                                                                                                                |
| 1  | (1)2週間に1回定期訪問(退院後や課題・問題のフォローがある場合は、1週間に1回)。<br>(2)体調・服薬確認、生活支援全体の相談(金銭管理、食事内容、郵便物内容確認、関係機関への調整など)<br>(3)見守り支援に協力していただいている。ヤクルト、郵便局、商店の店主・ |
| 2  | (1)ピアサポーターが2週間に一度自宅訪問し、ゲームや散歩をして過ごしている。<br>(2)定期的に自宅訪問実施。                                                                                 |
| 3  | (1)精神科病院からの退院後2ヶ月は毎週訪問し、安否確認。<br>(2)3ヶ月目からは2週間に1回の訪問。日中活動へのお誘いを含めながら話をする。<br>(3)心身の状態に異変があったその後は、重点的に見守りを行った。                             |
| 4  | (1)部屋の整理整頓について。<br>(2)職場の人間関係について。<br>(3)金銭管理について。<br>(4)本人からの愚痴、悩みなどを聞き、助言。                                                              |
| 5  | (1)本人の状態把握。<br>(2)生活状況の確認。<br>(3)叔母の悩みの相談。<br>(4)服薬確認。                                                                                    |
| 6  | 2ヶ月に1回程度の自宅訪問による家族調整(心理教育)。月に2回障害福祉サービス事業所に出向いての本人との面接。                                                                                   |
| 7  | 2週間に1回ピアサポーターの訪問を行っている。                                                                                                                   |
| 8  | プラン予定。来所がない時など。                                                                                                                           |
| 9  | ヘルパー事業所との連携は、密にとっている。ほぼ毎日ヘルパーがケアに入っている。                                                                                                   |
| 10 | モニタリング訪問時、生活状況や近況確認                                                                                                                       |
| 11 | 夏期、クーラーを使用しているが、電気メーターを見る事で安否確認で見回ってくれている不動産屋との連携による訪問。                                                                                   |
| 12 | 緊急通報システムから連絡を頂き、様子伺いのため訪問。                                                                                                                |
| 13 | 近くを通った際に様子確認。                                                                                                                             |
| 14 | 計画相談の中でモニタリングを実施                                                                                                                          |
| 15 | 月1回の訪問。金銭の使用状況、生活の心配事を確認。                                                                                                                 |
| 16 | 月二回の定期訪問:(1)就労シフト表の確認及び月の予定確認(月初)。<br>(2)モニタリング(月の下旬頃、その月の振り返り)                                                                           |

|    |                                                                                      |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 17 | 子供が通う放課後等児童デイサービスの職員からの連絡や、家庭児童相談室のスタッフからの電話連絡等の内容に応じて、自宅訪問して状況確認を行っている。そのため頻度等バラバラ。 |
| 18 | 支援者（ヘルパーや保健師など）が入らない時の子どもとの生活（子育て）について支援。                                            |
| 19 | 週1回、決めた曜日・時間に家庭訪問をしている。本人と対面と会話をし、近況報告を聞いたり、困っていることはないかの聞き取りをしている。                   |
| 20 | 週1回、定期訪問を行っている。体調面・生活面全般をふまえ、必要な支援を行っている。                                            |
| 21 | 状態把握するために家庭訪問                                                                        |
| 22 | 生活状況の確認・生活支援。                                                                        |
| 23 | 前科7犯で全て窃盗事件であったため、釈放後、金銭の使い方について本人と確認しながら出し入れを決めていた。又、家事援助で週3回居宅支援を入れた。              |
| 24 | 体調不良の訴え（電話）に対して状態確認と不安解消。ヘルパー利用での状況把握。                                               |
| 25 | 調子の悪いときにあえてそれを目的としては表さない形での訪問。                                                       |
| 26 | 日頃からの関わりで対応                                                                          |
| 27 | 訪問し、本人の様子を確認。困っていることがあっても言い出せない方なので、声かけをしている。                                        |
| 28 | 訪問して状況確認                                                                             |
| 29 | 本人からの訴えによるもののみ訪問をしている。                                                               |
| 30 | 本人については当然だが親の様子も気がかりなため、時折訪問して話を聞いていた。                                               |
| 31 | 毎回1回事業所に訪問し、本人の状況を確認。本人と面接をして生活状況を確認。                                                |
| 32 | 毎月、計画相談のモニタリングをして状況把握を行い、関係を維持してきた。                                                  |
| 33 | 民生委員との訪問                                                                             |

|   |                                                                                                                    |
|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|   | Q6-4-4 見守りや安否確認のための電話などによる相談 支援内容                                                                                  |
| 1 | (1)その時の課題・問題に応じて、他支援者が支援に入らない夜間・土日に電話による確認・相談。<br>(2)台風などの自然災害時に確認・相談。                                             |
| 2 | (1)体調不良→関係者への連絡。<br>(2)幻聴や外からの臭いへの不安。                                                                              |
| 3 | (1)同法人サービス利用キャンセル等の電話対応、サービス利用の促し。<br>(2)夜間の電話の家族への対応。<br>(3)関係機関からの要請による対応。                                       |
| 4 | (1)訪問前に必ず電話を入れ、状況をお聞きした後訪問する。<br>(2)突発的な受診の前後に確認の電話を入れる。<br>(3)書類を見落としがちな方なので、書類が届く前後での確認と届いていない場合の「すいすい」への連絡のお願い。 |
| 5 | (1)本人からの体調や生活上の相談。<br>(2)訪問予定確認のために電話をする。                                                                          |
| 6 | (1)本人不安定な時に、状態把握のための家族への電話。<br>(2)自宅に届いた郵便物や手続きの相談。                                                                |
| 7 | 1ヶ月連絡がなければ、状況確認のメールを送る。                                                                                            |

|    |                                                                                    |
|----|------------------------------------------------------------------------------------|
| 8  | 24 時間対応であることを伝えてあるが、今のところ発信なし。                                                     |
| 9  | なかなか訪問できない時などは電話で様子伺い。                                                             |
| 10 | ひとりでの生活の中で感じる寂しさをまぎらわすためのたわいもない話を聞く。                                               |
| 11 | モニタリング実施等                                                                          |
| 12 | 安否だけでも知りたいこと、話す気分ではない時はすぐに電話を切ってもいいのでと調子の良いときに本人と打ち合わせをし、何日も動静がわからなくなるという事を回避している。 |
| 13 | 委託相談の中で初めは1週間に2度、電話での連絡を取り合った。                                                     |
| 14 | 寒い季節になると気分の落ち込みがみられる傾向のため、状況確認の電話、ヘルパーの利用状況確認のための電話。                               |
| 15 | 居宅介護が入る日など、訪問しても音がない場合等、各関係機関と連絡を取り合いながら本人の連絡先へかけて確認を行っている。                        |
| 16 | 考えたことをすぐに言わないと分からなくなる、忘れてしまう等の理由により、発信がある都度の電話対応。                                  |
| 17 | 状態把握するために家庭訪問                                                                      |
| 18 | 随時、メールや電話による相談があれば対応している。                                                          |
| 19 | 生活費や人間関係での困りごと、トラブルについて、必要に応じて本人より相談が入り、対応。                                        |
| 20 | 体調不良の訴え(電話)に対して状態確認と不安解消。ヘルパー利用での状況把握。                                             |
| 21 | 日頃からの関わりで対応                                                                        |
| 22 | 不安の現れかこだわりが強く収集癖があるため、毎週1度は家庭訪問をし、物を盗んでいないか確認をしていた。                                |
| 23 | 訪問介護やヘルパーより電話にて相談                                                                  |
| 24 | 本人から本当に困った時しか電話が来なかった。電話の着信後、訪問し実態把握を行った。                                          |
| 25 | 本人が電話連絡を取ることが頻回なため、今のところこちらからは定期的な電話は行っていない。                                       |
| 26 | 本人の方からはかけてこない。状況を尋ねたり、姉たちの訪問状況やしてもらっていることを聞いて確認をとっている。                             |
| 27 | 毎日本人より電話があり、また1ヶ月に一度関係機関で話し合いを持ち、支援方法の確認を行う。                                       |
| 28 | 予定を変更する場合は、最近では自らメールをするようになり、メールは有効。                                               |

|   |                                                                                                                                                 |
|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|   | Q6-4-5 その他の支援 支援内容                                                                                                                              |
| 1 | (1)家族との連絡調整。<br>(2)地域移行支援からの関わりで本人の状況を把握しているため、区分認定調査への立ち会い。<br>(3)退院の調整(関係機関・カンファレンスの連絡調整等)                                                    |
| 2 | (1)関係機関(行政・民生委員・病院・サービス事業所・保健師)との調整、会議。サービス利用に関する支援、書類作成、提出。<br>(2)民生委員へ障害理解に関する支援。<br>(3)別居のきょうだいへの近況報告、家族(妻・精神障害)への支援。<br>(4)以前通所していた元作業所職員への |
| 3 | (1)月一回の精神科通院への通院同行。<br>(2)買い物支援。<br>(3)活動支援(定期来所による外出機会の確保、作品作りを通じての状態把握や余暇の提供)。                                                                |

|    |                                                                                  |
|----|----------------------------------------------------------------------------------|
|    | (4)服薬カレンダーを利用した服薬管理。                                                             |
| 4  | (1)行政手続き、医療機関の同行や受診の調整。<br>(2)障害福祉サービスについての利用調整。                                 |
| 5  | (1)墓参り、買い物、受診同行。<br>(2)手続きの代行。                                                   |
| 6  | (1)役場での事務手続きに同行。<br>(2)ゴミの処分方法の問い合わせ、ゴミ出し支援。<br>(3)日用品の買い物に同行。<br>(4)金銭管理のアドバイス。 |
| 7  | ご本人に対して支援者でネットワークを作り見守る。市外のため同じ地域の民生委員にも入って頂き、地域の行事などにも参加できるよう声かけと同行などをお願いした。    |
| 8  | セルフヘルプグループに参加して頂いている。                                                            |
| 9  | ベッド購入の申請、同席                                                                      |
| 10 | 家事援助によるヘルパー派遣、内容の確認をし、調整をする。お弁当を週1回とっている。(配達してくれるところを探す。状況の確認)                   |
| 11 | 外出する機会や会社との接点を保つため、買い物支援や外食等も一緒にしている。                                            |
| 12 | 関係機関との連絡調整                                                                       |
| 13 | 元々予定時間に訪問しても不在であることが多く、約束事ができない人だったので、当初はこちらから突然訪問を繰り返し、存在を認識してもらう形を取った。         |
| 14 | 受診の同行支援                                                                          |
| 15 | 障害福祉サービス事業所への技術指導、及び、支援の足並みが乱れぬよう、SW ごとのプランを作成し、本人、Fa、サービス事業所で共有した。              |
| 16 | 直接的支援事業所(居宅B型)等の現状報告。                                                            |
| 17 | 電化製品や布団等、一人で持ち帰れない生活必需品の購入、引っ越し。                                                 |
| 18 | 弁当手配や家内の片付けなど少し。遠方の Fa との情報共有。                                                   |
| 19 | 保証人との情報共有、通所事業所との情報共有、連絡調整                                                       |
| 20 | 本人が一人暮らしに不安を持っているため、交流する場を設定し対応した。                                               |
| 21 | 本人に毎月事務所に来所して頂き、相談にのっていた。                                                        |
| 22 | 本人の仕事場との会議実施(適宜)                                                                 |
| 23 | 本人の通院に同行し、主治医から本人の健康状態を聞き取り、関係機関と連絡を取り合っている。                                     |
| 24 | 約束事を守ってタバコを吸っているかの確認。薬の飲み忘れや多量服薬がないか、訪問看護・ヘルパーと連携をしながらの確認。                       |

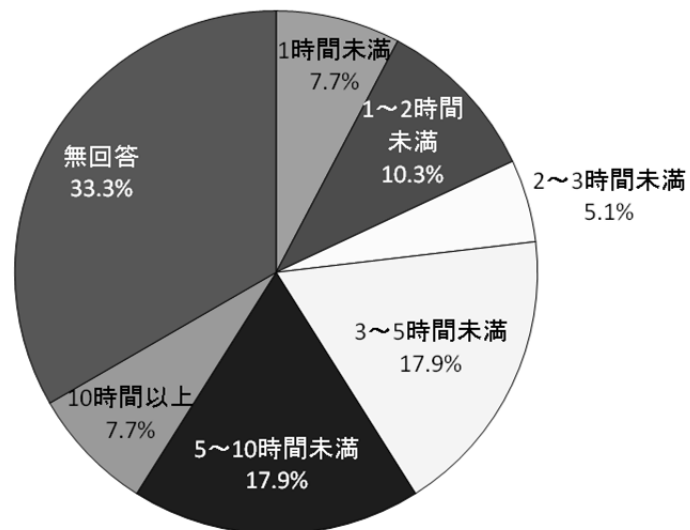


(8) その他 計画相談に関する業務

① その他計画相談に関する業務に要した支援時間

7-1 その他計画相談に関する業務に要した支援時間

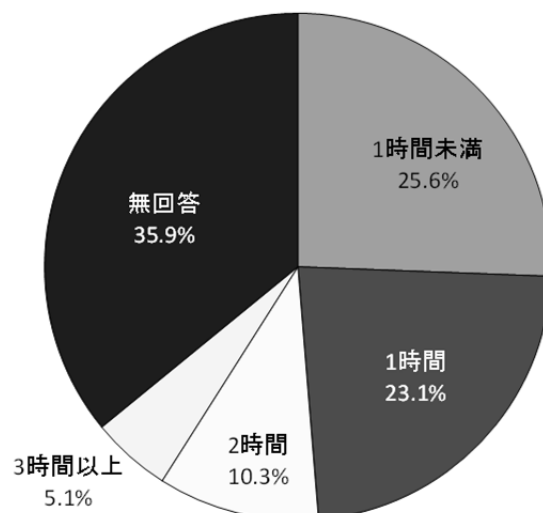
n = 39



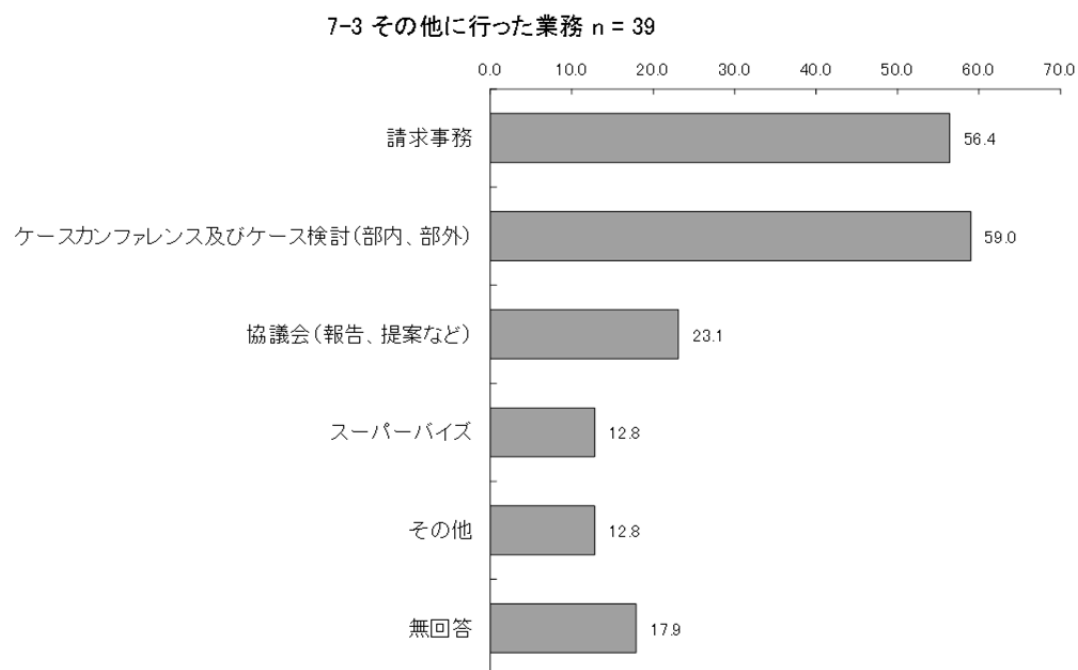
② その他計画相談に関する業務に要した移動時間

7-2 その他計画相談に関する業務に要した移動時間

n = 39



### ③その他に行った業務



### (9) 地域移行支援で連携(チーム)をとった関係機関

